

志木市男女共同参画に関する市民意識調査報告書

令和7年3月

目次

1 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査期間	1
(3) 調査方法	1
(4) 回収状況	1
(5) 報告書の見方	1
(6) 調査項目の構成	2
2 調査結果	3
(1) 回答者の基本属性	3
(2) 男女平等感について	12
(3) 子育てや介護について	21
(4) 家事について	24
(5) 子どもの教育について	39
(6) 就業について	40
(7) ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について	50
(8) 社会参画について	51
(9) 防災について	53
(10) DV（ドメスティック・バイオレンス）／女性に対する暴力について	54
(11) セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）について	62
(12) 人権・相談について	70
(13) 男女共同参画社会実現のための施策について	86
(14) 男女共同参画推進についてのご意見	104
調査票	107

1 調査の概要

(1) 調査の目的

志木市では、「志木市男女共同参画推進条例」及び「志木市男女共同参画基本計画」に基づき、性別にとらわれることなく、能力と個性を生かして共にいきいきと暮らせる「男女共同参画社会の実現」を目指し、各課題に取り組んでいます。

本調査は、令和7年度に策定する第7次の「志木市男女共同参画基本計画」の基礎資料とすることを目的として実施しました。

(2) 調査期間

令和6年9月24日（火）～10月18日（金）

(3) 調査方法

調査地域は市全域としました。また、調査の対象は、市内在住の18歳以上の男女として、無作為に1,000名(男女各500人)を抽出しました。

なお、調査票は郵送により配布し、郵送またはインターネットにより回収を行いました。

(4) 回収状況

本調査の回収数、回収率は以下の通りです。

配布数	回収数	回収率
1,000 件	303 件	30.3%

(5) 報告書の見方

- ・ 図表中の「n」は、該当設問における有効回答者総数を表します。
- ・ 集計表の回答比率は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合があります。
- ・ 複数回答の質問は、各々の回答数を回答者数で除した値であり、回答比率の合計が100%になりません。
- ・ 回答者数が30未満と小さいものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめます。

(6) 調査項目の構成

調査項目の構成は以下のとおりです。

(1) 回答者の基本属性
(2) 男女平等感について
(3) 子育てや介護について
(4) 家事について
(5) 子どもの教育について
(6) 就業について
(7) ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について
(8) 社会参画について
(9) 防災について
(10) DV（ドメスティック・バイオレンス）／女性に対する暴力について
(11) セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）について
(12) 人権・相談について
(13) 男女共同参画社会実現のための施策について
(14) 男女共同参画推進についてのご意見

2 調査結果

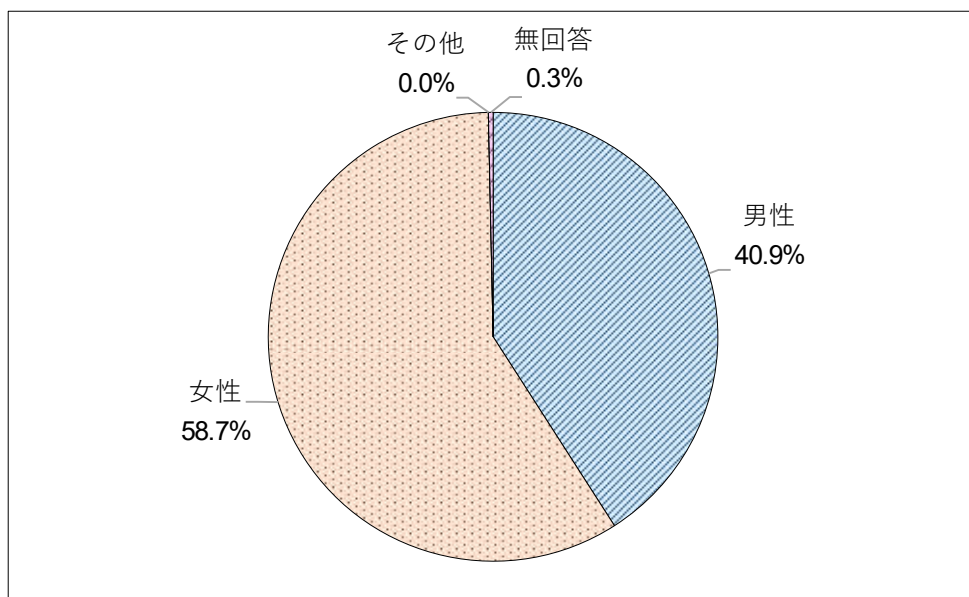
(1) 回答者の基本属性

問1 あなたの性別をお聞かせください。

1. 男性 2. 女性 3. その他()

※多様性の観点から「3. その他」を選択肢に加えています。

性別は、「男性」が40.9%、「女性」が58.7%となっています。

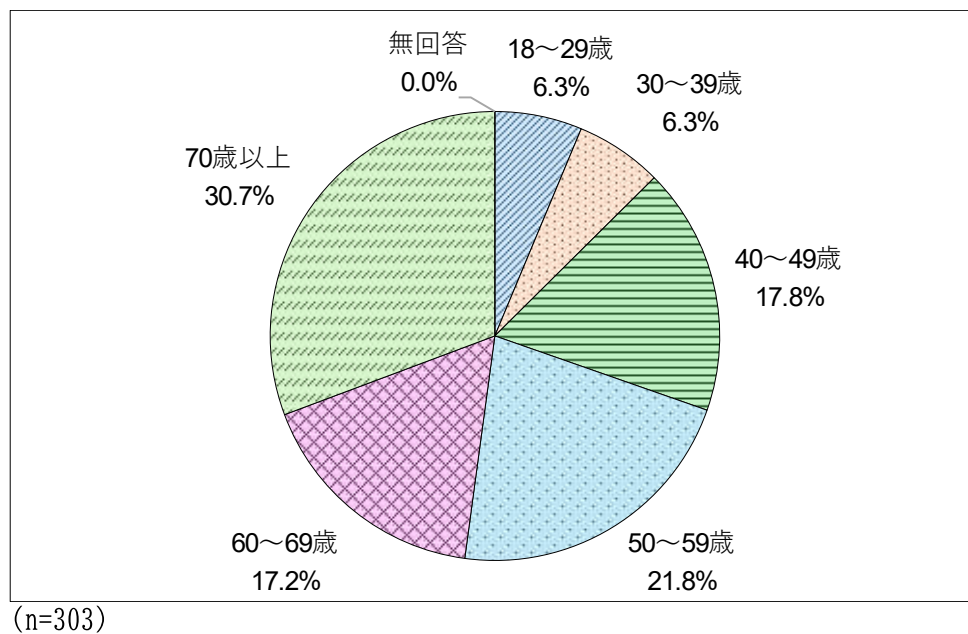


(n=303)

問2 あなたの年齢は次のどれにあたりますか。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18～29歳 | 3. 40～49歳 | 5. 60～69歳 |
| 2. 30～39歳 | 4. 50～59歳 | 6. 70歳以上 |

年齢は、「70歳以上」が30.7%、次いで「50～59歳」が21.8%となっています。

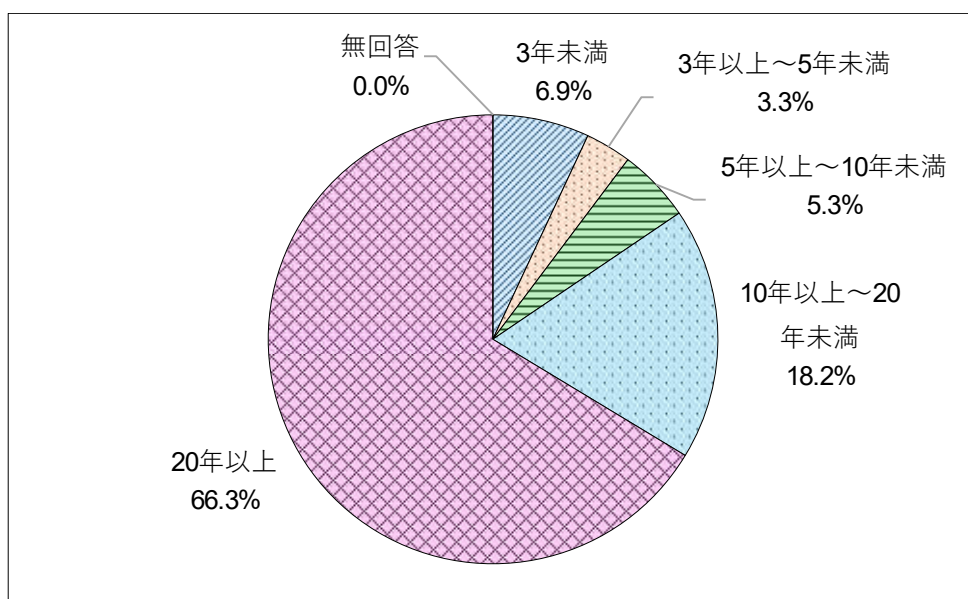


問3 あなたは志木市に何年間住んでいますか。

1. 3年未満
2. 3年以上～5年未満
3. 5年以上～10年未満
4. 10年以上～20年未満
5. 20年以上

居住期間は、「20年以上」が最も割合が高く66.3%、次いで「10年以上～20年未満」が18.2%となっています。

年代別に「20年以上」の割合を見ると、30～39歳で26.3%と少なく、18～29歳と40～49歳は約42%と50%を下回っています。また、50～59歳と60～69歳で60%台となり、70歳以上では93.5%となるなど、年代が上昇するにつれて転入・転出が少ない傾向がみられます。



(n=303)

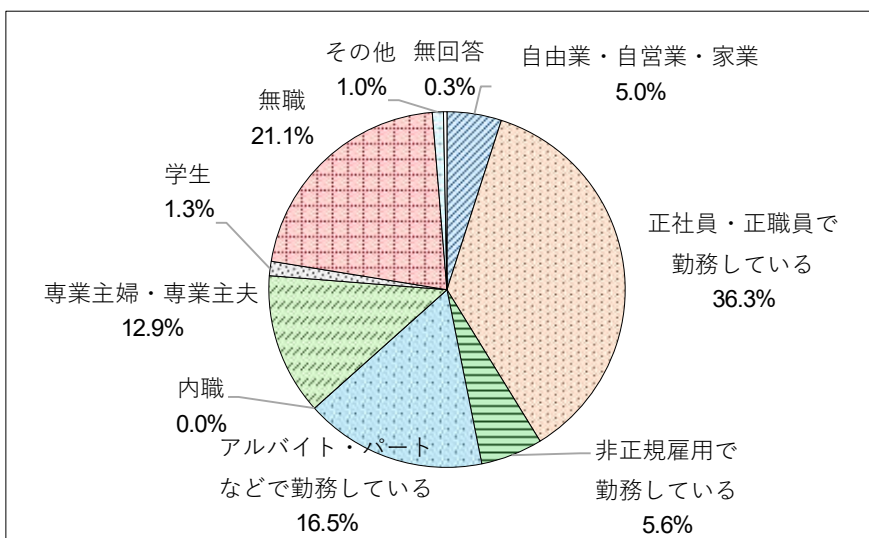
問3 居住年数	1	2	3	4	5	無回答	回答者数	
	3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上			
全体	6.9	3.3	5.3	18.2	66.3	0.0	303	
性別	男性	6.5	2.4	3.2	18.5	69.4	0.0	124
	女性	7.3	3.9	6.7	18.0	64.0	0.0	178
	その他	-	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	26.3	10.5	5.3	15.8	42.1	0.0	19
	30～39歳	36.8	10.5	15.8	10.5	26.3	0.0	19
	40～49歳	7.4	9.3	1.9	38.9	42.6	0.0	54
	50～59歳	4.5	1.5	9.1	19.7	65.2	0.0	66
	60～69歳	3.8	0.0	5.8	23.1	67.3	0.0	52
	70歳以上	0.0	0.0	2.2	4.3	93.5	0.0	93

問4 あなたの主な職業は次のどれにあたりますか。

1. 自由業・自営業・家業(農業・会社経営など)
2. 正社員・正職員で勤務している
3. 非正規雇用で勤務している(臨時・派遣などであるが常勤とほぼ同様な勤務条件である)
4. アルバイト・パートなどで勤務している(常勤とは異なる勤務条件である)
5. 内職
6. 専業主婦・専業主夫
7. 学生
8. 無職
9. その他(具体的に)

職業は、「正社員・正職員で勤務している」が最も多く 36.3%、次いで「無職」が 21.1%、「アルバイト・パートなどで勤務している」が 16.5%などとなっています。

「正社員・正職員で勤務している」の割合を性別に見ると、男性が 48.4%、女性が 28.1%となっています。また、「専業主婦・専業主夫」の割合を性別に見ると、男性が 0.0%、女性が 21.9%となっています。



(n=303)

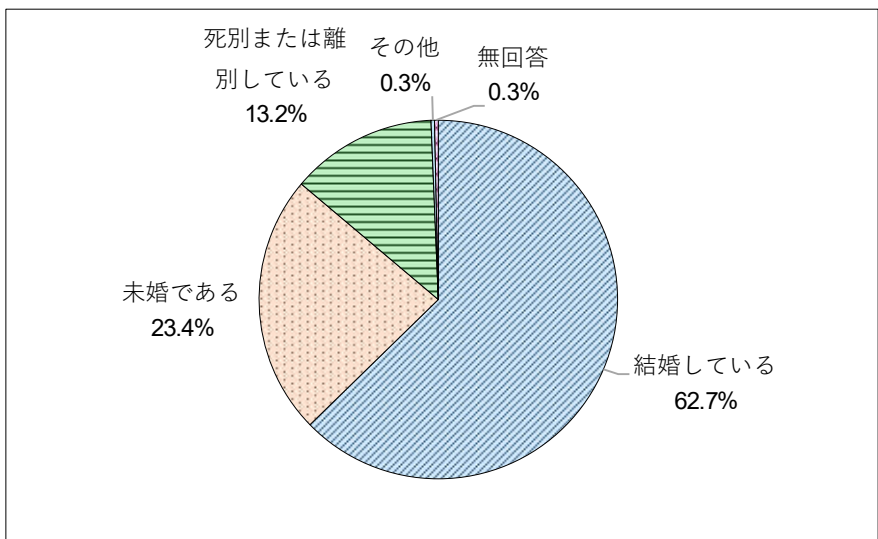
問4 職業	1 業自由業・自営業・家	2 務正社員・正職員で勤	3 て非正規雇用で勤務し	4 なアルバイト・パート	5 内職	6 専業主婦・専業主夫	7 学生	8 無職	9 その他	無回答	回答者数
全体	5.0	36.3	5.6	16.5	0.0	12.9	1.3	21.1	1.0	0.3	303
性別	男性	7.3	48.4	4.8	8.1	0.0	0.0	28.2	0.8	0.0	124
	女性	3.4	28.1	6.2	21.9	0.0	21.9	0.6	16.3	1.1	178
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	0.0	52.6	0.0	21.1	0.0	0.0	21.1	5.3	0.0	19
	30～39歳	0.0	73.7	5.3	5.3	0.0	10.5	0.0	5.3	0.0	19
	40～49歳	9.3	61.1	7.4	13.0	0.0	0.0	9.3	0.0	0.0	54
	50～59歳	0.0	53.0	10.6	22.7	0.0	10.6	0.0	3.0	0.0	66
	60～69歳	7.7	30.8	5.8	23.1	0.0	19.2	0.0	13.5	0.0	52
	70歳以上	6.5	2.2	2.2	11.8	0.0	21.5	0.0	51.6	3.2	1.1

問5 あなたは現在、結婚(事実婚も含む)していますか。

- 1. 結婚している
- 2. 未婚である
- 3. 死別または離別している
- 4. その他(具体的に)

パートナーの有無は、「結婚している」が最も割合が高く 62.7%、次いで「未婚である」が 23.4% となっています。

年代別に「未婚である」割合を見ると、18～29歳の未婚者が 94.7%、30～39歳と 40～49歳の未婚者が 30%台と、若年齢での未婚者が多くなっています。50～59歳は 28.8%ですが、60～69歳は 9.6%であり、60歳を境にして大きな差異があります。40～49歳、50～59歳の年代が現在の状態で推移すると、未婚の高齢者が現在よりも多くなると考えられます。高齢の単独世帯が多くなることで、まちづくりやコミュニティ等への影響が懸念されます。



(n=303)

問5 婚姻	1 結婚 している	2 未婚 である	3 い死 別 また は 離 別 し て	4 そ の 他	無 回 答	回 答 者 数
全体	62.7	23.4	13.2	0.3	0.3	303
性別	男性	66.1	26.6	6.5	0.8	124
	女性	60.1	21.3	18.0	0.0	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	5.3	94.7	0.0	0.0	19
	30～39歳	63.2	31.6	5.3	0.0	19
	40～49歳	57.4	35.2	5.6	0.0	54
	50～59歳	59.1	28.8	10.6	1.5	66
	60～69歳	76.9	9.6	13.5	0.0	52
	70歳以上	72.0	4.3	23.7	0.0	93

問5-1 問5で「1. 結婚している」と答えた方のみ伺います。

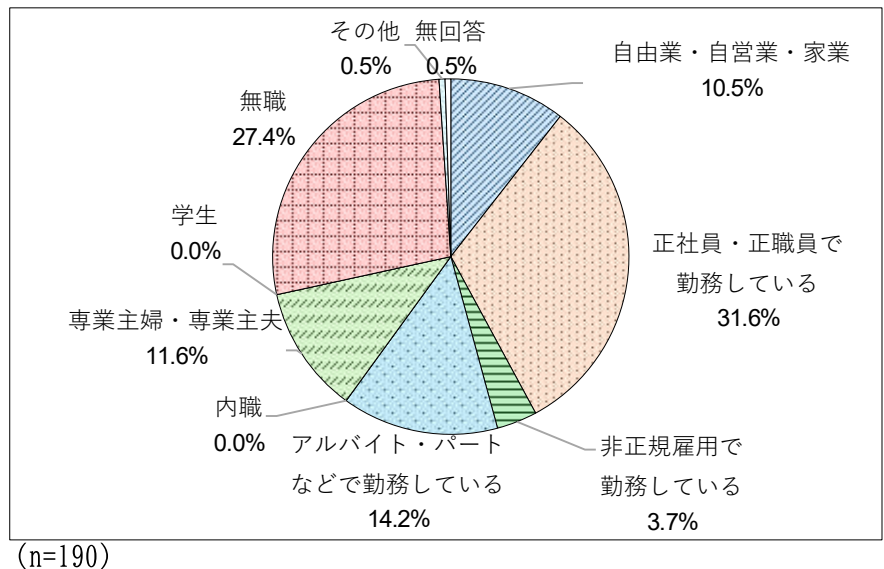
あなたのパートナーの職業は次のどれにあたりますか。

1. 自由業・自営業・家業(農業・会社経営など)
2. 正社員・正職員で勤務している
3. 非正規雇用で勤務している(臨時・派遣などであるが常勤とほぼ同様な勤務条件である)
4. アルバイト・パートなどで勤務している(常勤とは異なる勤務条件である)
5. 内職
6. 専業主婦・専業主夫
7. 学生
8. 無職
9. その他(具体的に)

パートナーの職業は、「正社員・正職員で勤務している」が31.6%で最も多く、次いで「無職」が27.4%となっています。

男性のパートナーは「アルバイト・パートなどで勤務している」が26.8%、次いで「無職」が25.6%、「専業主婦・専業主夫」が20.7%となっています。

女性のパートナーは「正社員・正職員で勤務している」が43.9%、次いで「無職」が28.0%、「自由業・自営業・家業」が12.1%となっています。



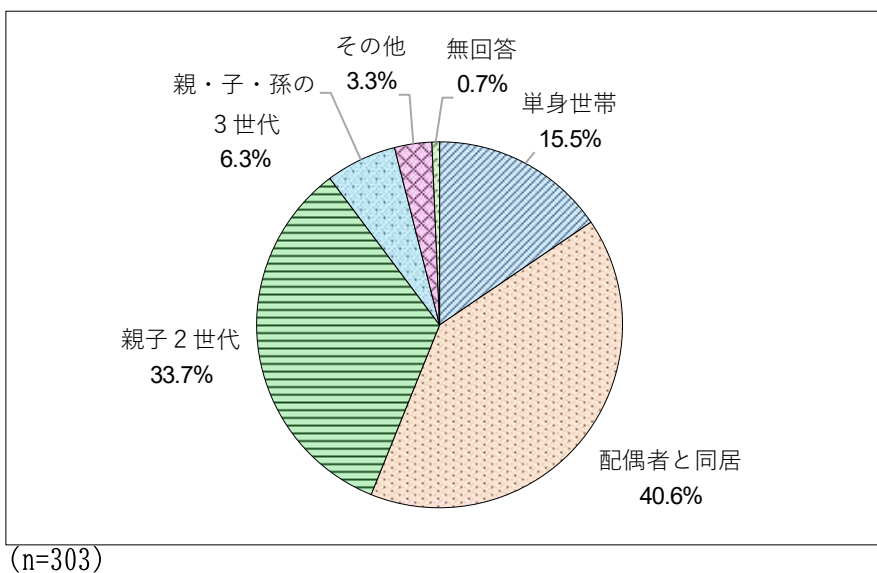
問5-1 パートナーの職業	1 業自由業・自営業・家	2 務正社員・正職員で勤	3 て非正規雇用で勤務し	4 なアルバイト・パート	5 内職	6 専業主婦・専業主夫	7 学生	8 無職	9 その他	無回答	回答者数	
全体	10.5	31.6	3.7	14.2	0.0	11.6	0.0	27.4	0.5	0.5	190	
性別	男性	8.5	15.9	2.4	26.8	0.0	20.7	0.0	25.6	0.0	0.0	82
	女性	12.1	43.9	4.7	4.7	0.0	4.7	0.0	28.0	0.9	0.9	107
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
	30～39歳	8.3	91.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12
	40～49歳	19.4	48.4	6.5	22.6	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	31
	50～59歳	2.6	66.7	5.1	17.9	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	39
	60～69歳	12.5	20.0	2.5	25.0	0.0	20.0	0.0	17.5	2.5	0.0	40
	70歳以上	9.0	0.0	3.0	4.5	0.0	14.9	0.0	67.2	0.0	1.5	67

問6 あなたが現在一緒に住んでいるご家族の構成は次のどれにあたりますか。

1. 単身世帯
2. 配偶者と同居
3. 親子2世代
4. 親・子・孫の3世代
5. その他(具体的に)

家族構成は、「配偶者と同居」が40.6%、次いで「親子2世代」が33.7%となっています。

年代別に見ると、18～59歳までは「親子2世代」が多く、60歳以上では「配偶者と同居」が多くなっています。なお、30～39歳は「配偶者と同居」と「親子2世代」がともに36.8%となっています。また、「親・子・孫の3世代」は、50～59歳で他の年代に比べて比較的多くなっています。



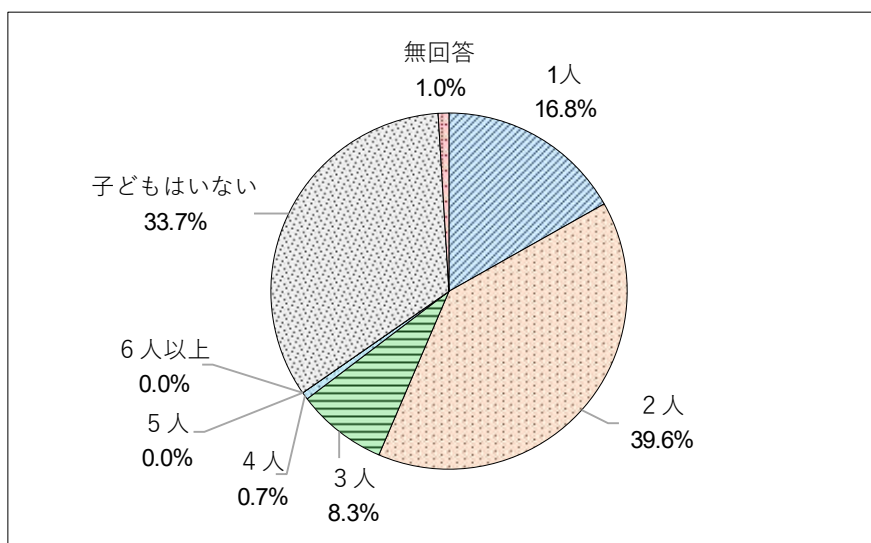
問6 家族構成	1 単身世帯	2 配偶者と同居	3 親子2世代	4 親・子・孫の3世代	5 その他	無回答	回答者数	
全体	15.5	40.6	33.7	6.3	3.3	0.7	303	
性別	男性	13.7	43.5	33.9	4.8	2.4	1.6	124
	女性	16.3	38.8	33.7	7.3	3.9	0.0	178
	その他	-	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	31.6	5.3	42.1	10.5	10.5	0.0	19
	30～39歳	15.8	36.8	36.8	5.3	5.3	0.0	19
	40～49歳	11.1	29.6	51.9	5.6	0.0	1.9	54
	50～59歳	15.2	22.7	43.9	12.1	6.1	0.0	66
	60～69歳	17.3	53.8	28.8	0.0	0.0	0.0	52
	70歳以上	14.0	60.2	16.1	5.4	3.2	1.1	93

問7 あなたには子どもが何人いますか(同居、別居を問いません)。

1. 1人 3. 3人 5. 5人 7. 子どもはいない
 2. 2人 4. 4人 6. 6人以上

子どもの人数は、「2人」が39.6%、次いで「子どもはいない」が33.7%となっています。

「子どもはいない」の割合を年代別に見ると、年齢が上がるにしたがってその割合が減少する傾向にあります。40～49歳で51.9%（約半数）、30～39歳で68.4%（約3分の2）となっており、子どものいない人の割合が多くなっています。



(n=303)

問7 子どもの数	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	子どもはいない	無回答	回答者数
全体	16.8	39.6	8.3	0.7	0.0	0.0	33.7	1.0	303
性別	男性	15.3	37.9	8.9	0.8	0.0	36.3	0.8	124
	女性	17.4	41.0	7.9	0.6	0.0	32.0	1.1	178
	その他	-	-	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	19
	30～39歳	15.8	15.8	0.0	0.0	0.0	68.4	0.0	19
	40～49歳	22.2	20.4	3.7	0.0	0.0	51.9	1.9	54
	50～59歳	19.7	31.8	9.1	1.5	0.0	34.8	3.0	66
	60～69歳	19.2	48.1	15.4	0.0	0.0	17.3	0.0	52
	70歳以上	14.0	64.5	9.7	1.1	0.0	10.8	0.0	93

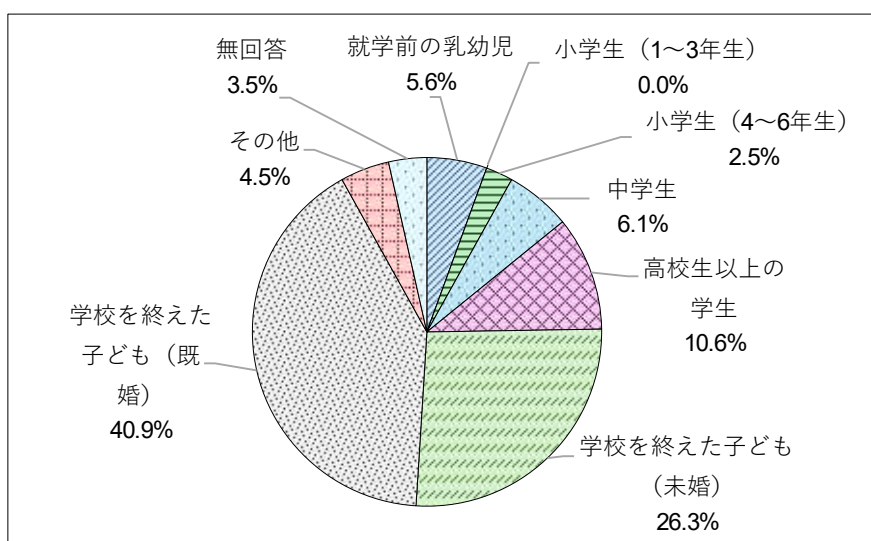
問7-1 問7で1～6と答えた、子どもがいる方のみにお聞きします。

あなたの一番下の子どもは次のどれにあたりますか。

- | | | |
|---------------|------------------|------------------|
| 1. 就学前の乳幼児 | 4. 中学生 | 7. 学校を終えた子ども(既婚) |
| 2. 小学生(1～3年生) | 5. 高校生以上の学生 | 8. その他 |
| 3. 小学生(4～6年生) | 6. 学校を終えた子ども(未婚) | (具体的に) |

一番下の子どもの年齢は、「学校を終えた子ども(既婚)」が40.9%、次いで「学校を終えた子ども(未婚)」が26.3%となっています。

年代別では、50歳以上になると“学校を終えた子ども”が多くなっています。



(n=198)

問7-1 一番下の子	1 就学前の乳幼児	2 小学生(1～3年生)	3 小学生(4～6年生)	4 中学生	5 高校生以上の学生	6 学校を終えた子ども(未婚)	7 学校を終えた子ども(既婚)	8 その他	無回答	回答者数	
全体	5.6	0.0	2.5	6.1	10.6	26.3	40.9	4.5	3.5	198	
性別	男性	7.7	0.0	1.3	7.7	16.7	14.1	47.4	2.6	2.6	78
	女性	4.2	0.0	3.4	5.0	6.7	34.5	37.0	5.9	3.4	119
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	30～39歳	83.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6
	40～49歳	24.0	0.0	16.0	28.0	24.0	8.0	0.0	0.0	0.0	25
	50～59歳	0.0	0.0	0.0	12.2	34.1	43.9	7.3	2.4	0.0	41
	60～69歳	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	48.8	46.5	2.3	0.0	43
70歳以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3	69.9	8.4	8.4	83	

(2) 男女平等感について

問8 あなたは次にあげるア～キの分野とクの社会全体について、男女の地位は平等になっていると思いますか。ア～クの項目ごとに、1から6の中からあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

男女の平等感について、最も平等に感じている項目は「家庭の中では」で、「平等になっている」と「やや平等になっている」を合わせると52.8%となっています。一方、最も不平等に感じている項目は「政治の場では」となっています。

性別で見ると、全ての項目で男性の方が平等と感じている割合が高くなっています。また、「法律や制度の上では」での「平等になっている」と「やや平等になっている」を合わせた値は、男性が36.3%、女性が15.2%であり、20%以上の乖離が生じています。



(n=303)

■ア 家庭の中では

問8 ア. 家庭 の中では		1 平等 になっ ている	2 るや や平 等に なっ てい	3 どち らと もい えな い	4 いや 不平 等に なっ て	5 不平 等に なっ てい る	6 わか らな い	無回 答	回答 者数
全体		31.0	21.8	16.8	13.9	8.6	3.6	4.3	303
性別	男性	40.3	18.5	18.5	10.5	4.8	4.8	2.4	124
	女性	24.7	24.2	15.7	16.3	11.2	2.8	5.1	178
	その他	-	-	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	47.4	10.5	26.3	10.5	0.0	0.0	5.3	19
	30～39歳	52.6	26.3	10.5	5.3	0.0	5.3	0.0	19
	40～49歳	22.2	29.6	24.1	11.1	11.1	1.9	0.0	54
	50～59歳	30.3	19.7	19.7	21.2	4.5	3.0	1.5	66
	60～69歳	34.6	19.2	17.3	7.7	11.5	7.7	1.9	52
	70歳以上	26.9	21.5	9.7	16.1	11.8	3.2	10.8	93

■イ 学校の中では

問8 イ. 学校 の中では		1 平等 になっ ている	2 るや や平 等に なっ てい	3 どち らと もい えな い	4 いや 不平 等に なっ て	5 不平 等に なっ てい る	6 わか らな い	無回 答	回答 者数
全体		13.9	19.1	24.4	2.3	1.0	24.1	15.2	303
性別	男性	16.9	18.5	21.0	0.8	0.8	27.4	14.5	124
	女性	11.8	19.7	27.0	3.4	1.1	21.9	15.2	178
	その他	-	-	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	21.1	26.3	36.8	0.0	0.0	5.3	10.5	19
	30～39歳	26.3	21.1	21.1	5.3	5.3	15.8	5.3	19
	40～49歳	9.3	29.6	31.5	5.6	1.9	16.7	5.6	54
	50～59歳	15.2	24.2	25.8	0.0	0.0	25.8	9.1	66
	60～69歳	15.4	13.5	26.9	1.9	0.0	32.7	9.6	52
	70歳以上	10.8	10.8	16.1	2.2	1.1	28.0	31.2	93

■ウ 職場の中では

問8 ウ. 職場 の中では		1 平等 になっ ている	2 るや や平 等にな って い	3 ど ちら とも いえ ない	4 い る や 不 平 等 にな って	5 不 平 等 にな って いる	6 わ か ら な い	無 回 答	回 答 者 数
全体		12.5	21.5	19.1	18.2	10.6	9.6	8.6	303
性 別	男性	12.9	29.0	16.9	15.3	5.6	10.5	9.7	124
	女性	12.4	16.3	20.8	20.2	14.0	9.0	7.3	178
	その他	-	-	-	-	-	-	-	0
年 齢	18～29歳	21.1	31.6	10.5	31.6	0.0	5.3	0.0	19
	30～39歳	31.6	31.6	10.5	21.1	5.3	0.0	0.0	19
	40～49歳	5.6	27.8	27.8	29.6	7.4	1.9	0.0	54
	50～59歳	15.2	24.2	30.3	15.2	6.1	7.6	1.5	66
	60～69歳	21.2	17.3	19.2	17.3	17.3	5.8	1.9	52
	70歳以上	4.3	14.0	9.7	10.8	15.1	20.4	25.8	93

■エ 政治の場では

問8 エ. 政治 の場では		1 平等 になっ ている	2 るや や平 等にな って い	3 ど ちら とも いえ ない	4 い る や 不 平 等 にな って	5 不 平 等 にな って いる	6 わ か ら な い	無 回 答	回 答 者 数
全体		3.6	6.9	18.8	26.4	27.7	8.3	8.3	303
性 別	男性	6.5	9.7	20.2	28.2	21.0	5.6	8.9	124
	女性	1.7	5.1	18.0	25.3	32.6	10.1	7.3	178
	その他	-	-	-	-	-	-	-	0
年 齢	18～29歳	0.0	5.3	26.3	26.3	26.3	10.5	5.3	19
	30～39歳	15.8	5.3	21.1	21.1	31.6	5.3	0.0	19
	40～49歳	1.9	1.9	31.5	35.2	24.1	1.9	3.7	54
	50～59歳	7.6	10.6	22.7	24.2	21.2	10.6	3.0	66
	60～69歳	0.0	5.8	13.5	36.5	30.8	7.7	5.8	52
	70歳以上	2.2	8.6	9.7	18.3	32.3	10.8	18.3	93

■オ 地域活動の場では

問8 オ. 地域活動の場では		1 平等 になっている	2 やや 平等に なってい る	3 どちら ともい えない	4 やや 不平等 になっ てい る	5 不平等 になっ てい る	6 わから ない	無回 答	回答 者数
全体		8.9	12.5	33.7	14.5	6.3	17.2	6.9	303
性別	男性	10.5	12.9	33.1	11.3	5.6	18.5	8.1	124
	女性	7.9	12.4	34.3	16.9	6.7	16.3	5.6	178
	その他	-	-	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	21.1	5.3	26.3	10.5	0.0	31.6	5.3	19
	30～39歳	31.6	10.5	21.1	15.8	10.5	10.5	0.0	19
	40～49歳	1.9	13.0	48.1	14.8	7.4	13.0	1.9	54
	50～59歳	7.6	18.2	30.3	15.2	4.5	21.2	3.0	66
	60～69歳	5.8	13.5	40.4	9.6	13.5	13.5	3.8	52
	70歳以上	8.6	9.7	28.0	17.2	3.2	17.2	16.1	93

■カ 社会通念や風潮では

問8 カ. 社会通念や風潮では		1 平等 になっている	2 やや 平等に なってい る	3 どちら ともい えない	4 やや 不平等 になっ てい る	5 不平等 になっ てい る	6 わから ない	無回 答	回答 者数
全体		5.0	16.5	18.2	29.4	17.5	5.9	7.6	303
性別	男性	8.1	22.6	14.5	26.6	14.5	4.8	8.9	124
	女性	2.8	12.4	20.8	31.5	19.7	6.7	6.2	178
	その他	-	-	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	0.0	31.6	26.3	21.1	15.8	0.0	5.3	19
	30～39歳	15.8	21.1	26.3	21.1	15.8	0.0	0.0	19
	40～49歳	3.7	18.5	22.2	35.2	14.8	1.9	3.7	54
	50～59歳	6.1	24.2	12.1	30.3	15.2	7.6	4.5	66
	60～69歳	5.8	13.5	17.3	25.0	28.8	3.8	5.8	52
	70歳以上	3.2	7.5	17.2	31.2	15.1	10.8	15.1	93

■キ 法律や制度の上では

問8 キ. 法律 や制度の上では		1 平等 になっている	2 るや や平等 になって いてい	3 どちら ともい えない	4 いや や不 平等に なっ て	5 不 平等 にな って いる	6 わ か ら な い	無 回 答	回 答 者 数
全体		9.6	14.2	29.0	19.1	12.5	8.3	7.3	303
性 別	男性	16.1	20.2	29.0	16.1	6.5	4.8	7.3	124
	女性	5.1	10.1	29.2	21.3	16.9	10.7	6.7	178
	その他	-	-	-	-	-	-	-	0
年 齢	18～29歳	0.0	26.3	26.3	31.6	5.3	5.3	5.3	19
	30～39歳	5.3	10.5	31.6	21.1	26.3	5.3	0.0	19
	40～49歳	9.3	13.0	37.0	20.4	16.7	1.9	1.9	54
	50～59歳	15.2	18.2	28.8	12.1	13.6	9.1	3.0	66
	60～69歳	3.8	15.4	26.9	26.9	9.6	11.5	5.8	52
	70歳以上	11.8	9.7	25.8	16.1	9.7	10.8	16.1	93

■ア～キを含め、社会全体では

問8 ク. ア～ キを含め、社会 全体では		1 平等 になっている	2 るや や平等 になって いてい	3 どちら ともい えない	4 いや や不 平等に なっ て	5 不 平等 にな って いる	6 わ か ら な い	無 回 答	回 答 者 数
全体		4.3	12.9	28.4	27.7	14.9	5.3	6.6	303
性 別	男性	8.1	19.4	31.5	21.8	9.7	4.0	5.6	124
	女性	1.7	8.4	26.4	32.0	18.5	6.2	6.7	178
	その他	-	-	-	-	-	-	-	0
年 齢	18～29歳	5.3	31.6	15.8	36.8	5.3	0.0	5.3	19
	30～39歳	10.5	26.3	15.8	31.6	10.5	5.3	0.0	19
	40～49歳	3.7	9.3	35.2	27.8	18.5	1.9	3.7	54
	50～59歳	6.1	16.7	27.3	27.3	13.6	4.5	4.5	66
	60～69歳	3.8	11.5	26.9	26.9	21.2	5.8	3.8	52
	70歳以上	2.2	6.5	31.2	25.8	12.9	8.6	12.9	93

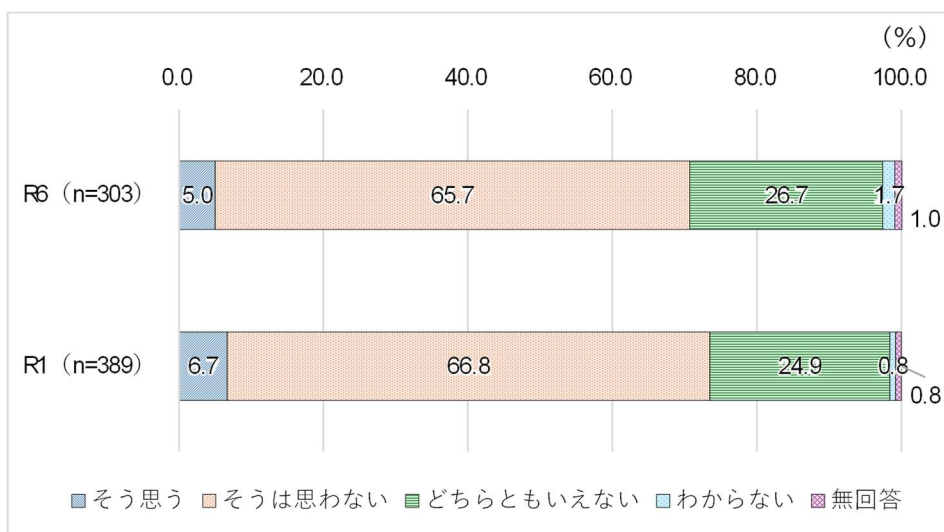
問9 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方について、あなたはどのように思いますか。
 次の中から、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- 1. そう思う
- 2. そうは思わない
- 3. どちらともいえない
- 4. わからない

「男性は仕事、女性は家庭」という考え方について、「そうは思わない」が65.7%、次いで「どちらともいえない」が26.7%となっています。

令和元年度調査と比較すると「そう思う」と「そうは思わない」の割合がともに微減しています。

「そうは思わない」の割合を性別に見ると、男性が59.7%、女性が70.2%であり、男性の割合が女性より10ポイント以上低くなっています。



(n=303)

問9 「男性は仕事、女性は家庭」について		1 そう 思う	2 そう は思 わな い	3 ど ち ら と も い え な い	4 わ か ら な い	無 回 答	回 答 者 数
全体		5.0	65.7	26.7	1.7	1.0	303
性別	男性	8.1	59.7	29.0	2.4	0.8	124
	女性	2.8	70.2	25.3	1.1	0.6	178
	その他	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	5.3	68.4	26.3	0.0	0.0	19
	30～39歳	5.3	78.9	15.8	0.0	0.0	19
	40～49歳	0.0	63.0	35.2	1.9	0.0	54
	50～59歳	4.5	77.3	15.2	1.5	1.5	66
	60～69歳	0.0	71.2	28.8	0.0	0.0	52
	70歳以上	10.8	52.7	31.2	3.2	2.2	93

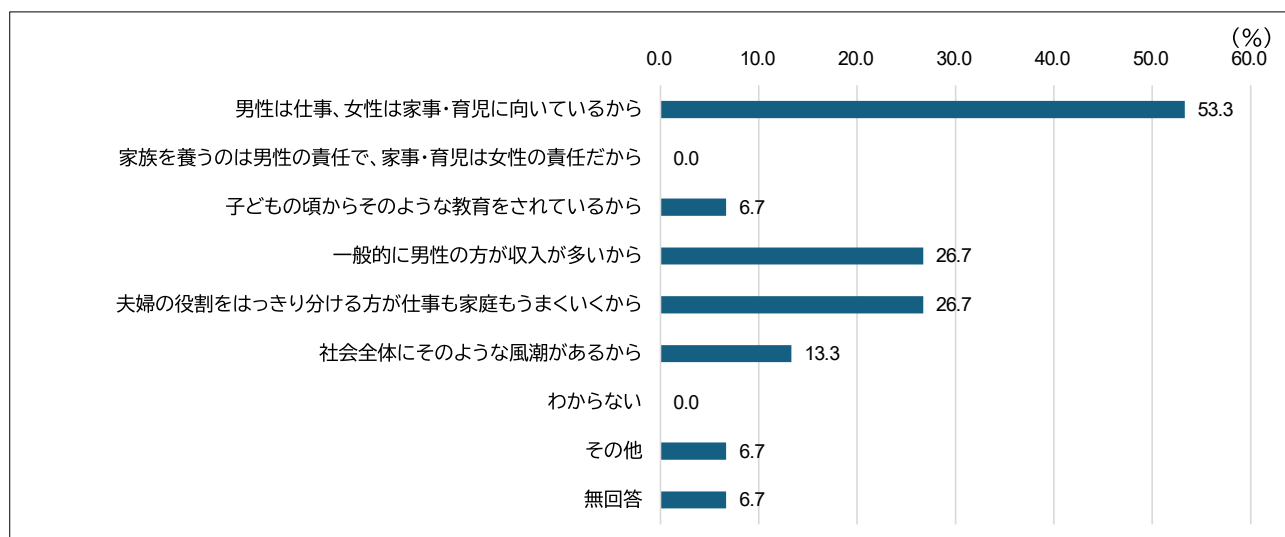
問9-1 問9で「1. そう思う」と答えた方にお聞きします。

そう思う理由は何ですか。次の中から、あてはまるものを2つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|---------------------------------|---------------------------------|
| 1. 男性は仕事、女性は家事・育児に向いているから | 5. 夫婦の役割をはっきり分ける方が仕事も家庭もうまくいくから |
| 2. 家族を養うのは男性の責任で、家事・育児は女性の責任だから | 6. 社会全体にそのような風潮があるから |
| 3. 子どもの頃からそのような教育をされているから | 7. わからない |
| 4. 一般的に男性の方が収入が多いから | 8. その他(具体的に) |

「男性は仕事、女性は家庭」という考え方について、「そう思う」と回答した理由として、「男性は仕事、女性は家事・育児に向いているから」が53.3%となっています。

※回答者数は15名であり、基数が不足しているため参考扱いとする。



(n=15)

問9-1 「そう思う」理由	1	2	3	4	5	6	7	8	無回答	回答者数	
全体	53.3	0.0	6.7	26.7	26.7	13.3	0.0	6.7	6.7	15	
性別	男性	40.0	0.0	0.0	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	10.0	10
	女性	80.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	5
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
	30～39歳	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
	40～49歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	50～59歳	66.7	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	3
	60～69歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	70歳以上	40.0	0.0	10.0	30.0	20.0	10.0	0.0	10.0	10.0	10

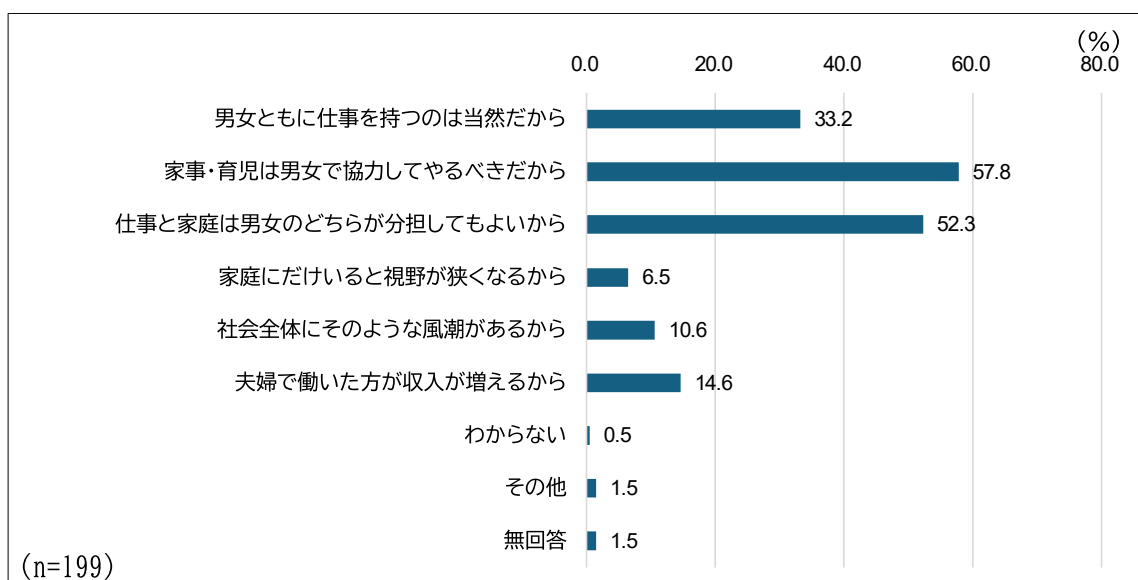
問9-2 問9で「2. そうは思わない」と答えた方にお聞きします。

そう思わない理由は何ですか。次の中から、あてはまるものを2つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|----------------------|
| 1. 男女ともに仕事を持つのは当然だから | 5. 社会全体にそのような風潮があるから |
| 2. 家事・育児は男女で協力してやるべきだから | 6. 夫婦で働いた方が収入が増えるから |
| 3. 仕事と家庭は男女のどちらが分担してもよいから | 7. わからない |
| 4. 家庭にだけいると視野が狭くなるから | 8. その他(具体的に) |

「男性は仕事、女性は家庭」という考え方について、「そうは思わない」と回答した理由として、「家事・育児は男女で協力してやるべきだから」が57.8%、次いで「仕事と家庭は男女のどちらが分担してもよいから」が52.3%となっています。

性別では、「家事・育児は男女で協力してやるべきだから」の割合を見ると、男性は50.0%、女性は62.4%であり、協力の意識については、男性の方が女性よりも低い傾向にある。一方、「男女ともに仕事を持つのは当然だから」の割合を見ると、男性が40.5%、女性が28.8%となっています。



問9-2 「そうは 思わない」理由	1	2	3	4	5	6	7	8	無回答	回答者数
	つ男の女はとも 当然に仕事を 持	か協家事 力して・育 児は男 女で	よ仕事と家 庭は男 女の よ い か ら	野家庭に だけ い る か ら	な社 会全 体 に そ の よ う	入夫 婦 で 働 い た 方 が 収	わ か ら な い	そ の 他		
全体	33.2	57.8	52.3	6.5	10.6	14.6	0.5	1.5	1.5	199
性別	男性	40.5	50.0	54.1	5.4	9.5	18.9	0.0	0.0	74
	女性	28.8	62.4	51.2	7.2	11.2	12.0	0.8	2.4	125
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	23.1	69.2	61.5	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	13
	30～39歳	33.3	46.7	60.0	0.0	20.0	13.3	0.0	6.7	15
	40～49歳	32.4	64.7	50.0	5.9	8.8	23.5	2.9	2.9	34
	50～59歳	29.4	56.9	64.7	7.8	9.8	11.8	0.0	0.0	51
	60～69歳	24.3	73.0	45.9	8.1	16.2	8.1	0.0	2.7	37
	70歳以上	46.9	42.9	40.8	8.2	8.2	16.3	0.0	2.0	49

(3) 子育てや介護について

問10 子育てや介護は、女性に負担が偏る傾向にあります。あなたはこれについてどのように思いますか。次の中から、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

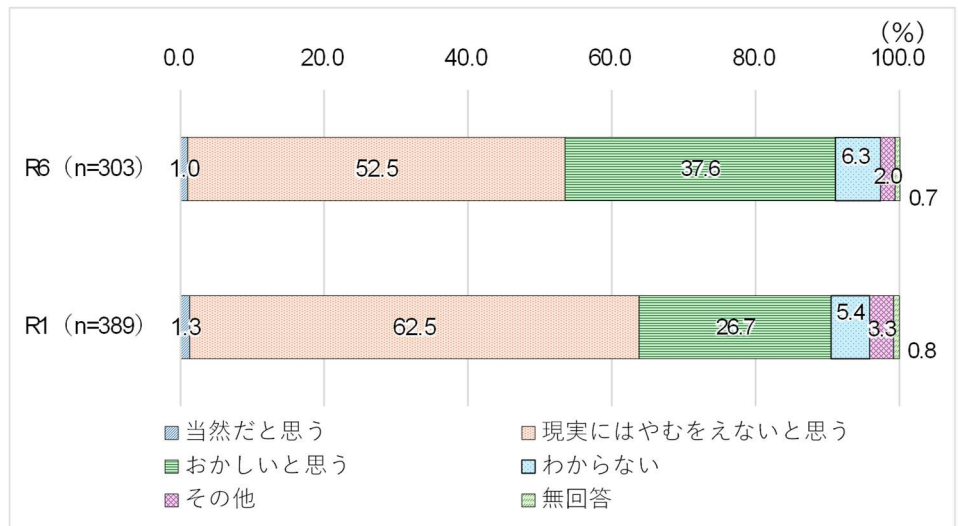
- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 当然だと思う | 4. わからない |
| 2. 現実にはやむをえないと思う | 5. その他(具体的に) |
| 3. おかしいと思う | |

子育てや介護を女性が主に行っていることが多い現状については、「現実にはやむをえないと思う」が52.5%、次いで「おかしいと思う」が37.6%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「現実にはやむをえないと思う」の割合が10ポイント減少し、「おかしいと思う」の割合が約11ポイント増加しており、性別による固定的役割分担意識に改善の傾向が見られます。一方、「現実にはやむをえないと思う」が男女ともに依然として最も多くなっていることから、更なる普及・啓発が求められます。

また、「現実にはやむをえないと思う」の割合を年代別で見ると、70歳以上で67.7%となっています。

さらに、「おかしいと思う」の割合を性別で見ると、男性が29.0%、女性が43.8%であり、女性のほうが約15ポイント多くなっています。



問10 子育てや介護の女性負担	1 当然だと思う	2 現実にはやむをえないと思う	3 おかしいと思う	4 わからない	5 その他	無回答	回答者数	
全体	1.0	52.5	37.6	6.3	2.0	0.7	303	
性別	男性	0.8	59.7	29.0	8.1	1.6	124	
	女性	1.1	47.8	43.8	5.1	2.2	178	
	その他	-	-	-	-	-	0	
年齢	18～29歳	0.0	31.6	63.2	5.3	0.0	19	
	30～39歳	0.0	57.9	42.1	0.0	0.0	19	
	40～49歳	0.0	48.1	38.9	7.4	3.7	1.9	54
	50～59歳	1.5	45.5	47.0	4.5	1.5	0.0	66
	60～69歳	1.9	44.2	44.2	7.7	1.9	0.0	52
	70歳以上	1.1	67.7	20.4	7.5	2.2	1.1	93

問11 現在の法律では、男性も育児休業や介護休業を女性と同様に取得できるようになっています。あなたは男性が育児休業や介護休業を取得することについて、どのように思いますか。あなた自身、またはあなたの家族のこととしてお答えください。次の中から、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

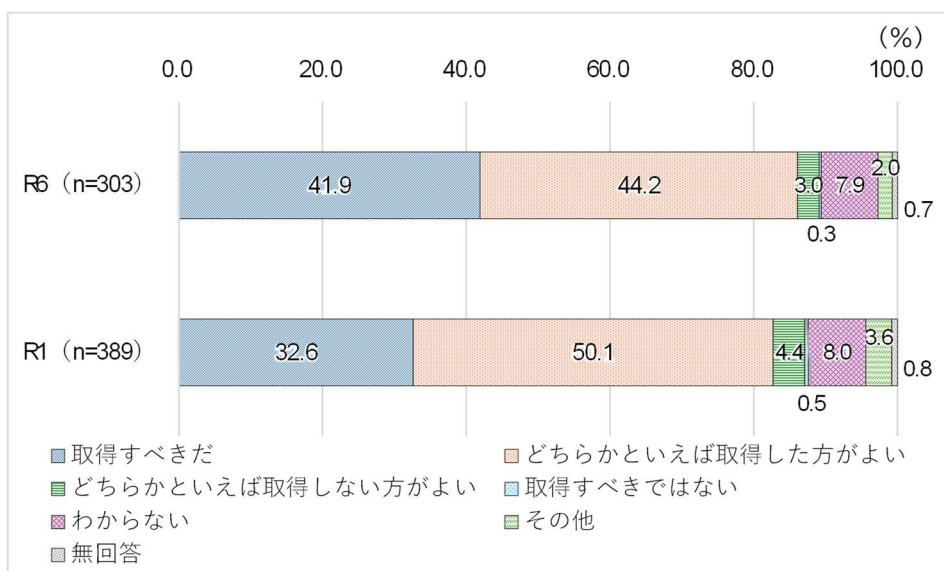
- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 取得すべきだ | 4. 取得すべきではない |
| 2. どちらかといえば取得した方がよい | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば取得しない方がよい | 6. その他(具体的に) |

男性が育児休業や介護休業を取得することについては、「どちらかといえば取得した方がよい」が44.2%、次いで「取得すべきだ」が41.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると「取得すべきだ」の割合が約9ポイント増加しており、男性の育児・介護への参加を肯定する意識が向上しています。

「取得すべきだ」の割合を性別で見ると、男性が43.5%、女性が41.0%であり、男性のほうが多くなっています。

「取得すべきだ」の割合を年代別で見ると、40歳未満は約6割となっています。



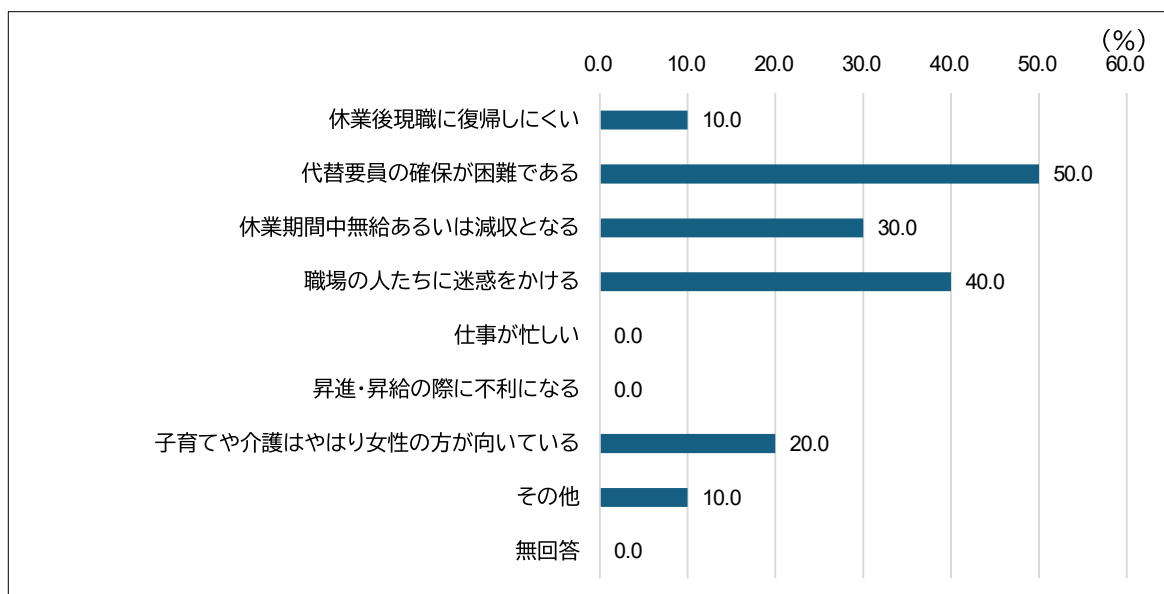
問11 男性の育児休業、介護休業取得	1 取得すべきだ	2 どちらかといえば取得した方がよい	3 どちらかといえば取得しない方がよい	4 取得すべきではない	5 わからない	6 その他	無回答	回答者数
全体	41.9	44.2	3.0	0.3	7.9	2.0	0.7	303
性別	男性	43.5	41.1	5.6	0.0	7.3	0.8	124
	女性	41.0	46.6	1.1	0.0	8.4	2.8	178
	その他	-	-	-	-	-	-	-
年齢	18～29歳	57.9	31.6	10.5	0.0	0.0	0.0	19
	30～39歳	68.4	21.1	5.3	0.0	0.0	5.3	19
	40～49歳	25.9	55.6	1.9	0.0	13.0	1.9	54
	50～59歳	45.5	48.5	1.5	0.0	1.5	1.5	66
	60～69歳	51.9	38.5	1.9	0.0	7.7	0.0	52
	70歳以上	34.4	45.2	3.2	1.1	12.9	3.2	0.0

問11-1 問11で「3. どちらかといえば取得しない方がよい」または「4. 取得すべきではない」と答えた方にお聞きします。そう思う理由は何ですか。次の中から、あてはまるものを2つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 休業後現職に復帰しにくい | 5. 仕事が忙しい |
| 2. 代替要員の確保が困難である | 6. 昇進・昇給の際に不利になる |
| 3. 休業期間中無給あるいは減収となる | 7. 子育てや介護はやはり女性の方が向いている |
| 4. 職場の人たちに迷惑をかける | 8. その他(具体的に) |

男性の育児休業や介護休業の取得について「どちらかといえば取得しない方がよい」「取得すべきではない」と回答した理由として、「代替要員の確保が困難である」が50.0%となっています。

※回答者数は10名であり、基数が不足しているため参考扱いとする。



(n=10)

問11-1 取得しないほうがよいと思う理由	1 に休業後現職に復帰し	2 難代替要員の確保が困	3 い休業期間中無給ある	4 を職場の人たちに迷惑	5 仕事が忙しい	6 利昇進・昇給の際に不	7 り子育てや介護はやはり	8 その他	無回答	回答者数	
全体	10.0	50.0	30.0	40.0	0.0	0.0	20.0	10.0	0.0	10	
性別	男性	14.3	57.1	28.6	42.9	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	7
	女性	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2
	30～39歳	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	1
	40～49歳	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	1
	50～59歳	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
	60～69歳	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
	70歳以上	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	4

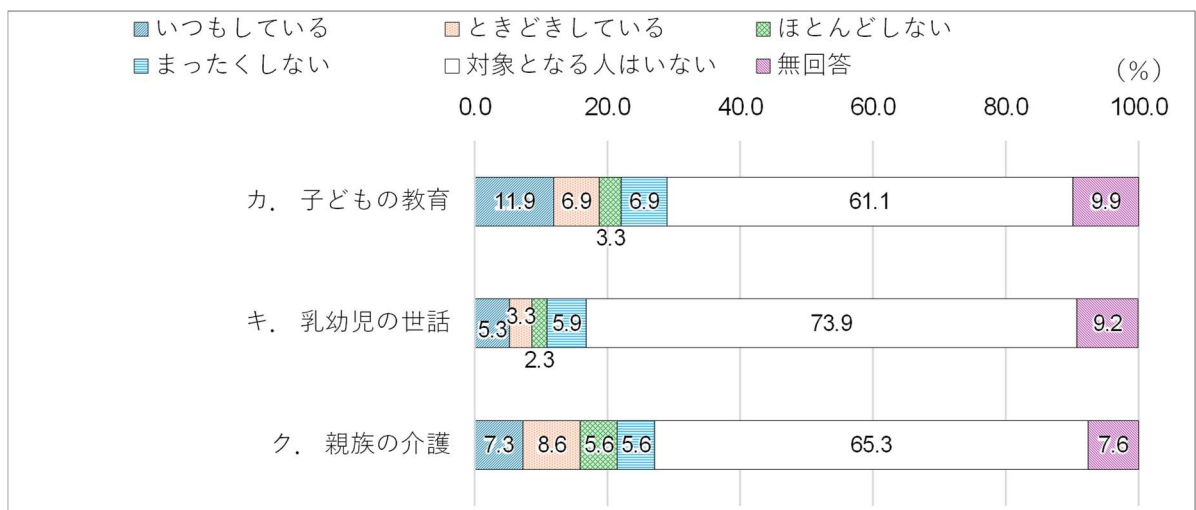
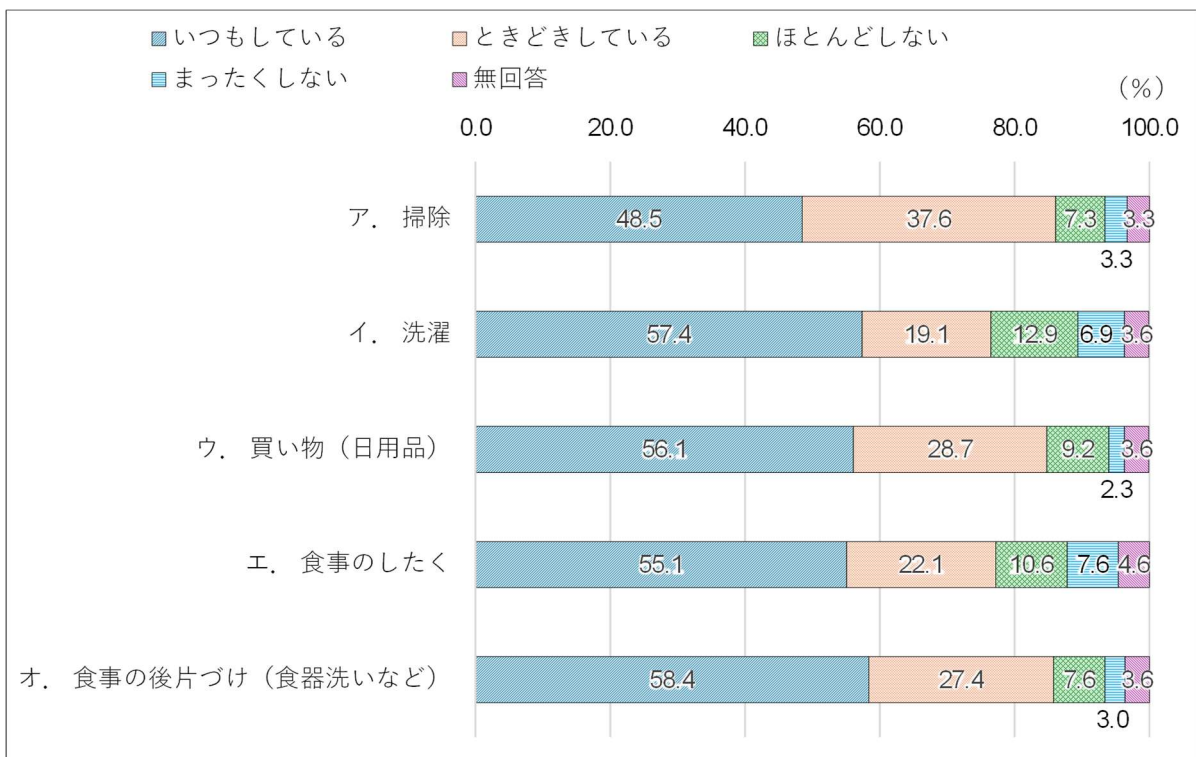
(4) 家事について

問12 あなたはご家庭の家事や育児・介護をどの程度行っていますか。

ア～クの項目ごとに、1 から 4、または、1 から 5 の中からあてはまる番号を 1 つ選んで○をつけてください。

家事、育児、介護をどの程度行っているかについて、「いつもしている」では、「食事の後片づけ（食器洗いなど）」が 58.4%、次いで「洗濯」が 57.4%、「買い物（日用品）」が 56.1%となっています。

「いつもしている」の割合を性別で見ると、全ての項目で女性の方が多くっており、特に「掃除」及び「洗濯」、「食事のしたく」では、40%以上の乖離が生じています。



(n=303)

■ア 掃除

問12 ア. 掃除		1 いつもしている	2 ときどきしている	3 ほとんどしない	4 まったくしない	無回答	回答者数
全体		48.5	37.6	7.3	3.3	3.3	303
性別	男性	24.2	54.0	12.9	5.6	3.2	124
	女性	65.2	26.4	3.4	1.7	3.4	178
	その他	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	36.8	42.1	15.8	5.3	0.0	19
	30～39歳	36.8	47.4	10.5	5.3	0.0	19
	40～49歳	48.1	38.9	7.4	1.9	3.7	54
	50～59歳	53.0	40.9	0.0	3.0	3.0	66
	60～69歳	51.9	32.7	9.6	3.8	1.9	52
	70歳以上	48.4	34.4	8.6	3.2	5.4	93

■イ 洗濯

問12 イ. 洗濯		1 いつもしている	2 ときどきしている	3 ほとんどしない	4 まったくしない	無回答	回答者数
全体		57.4	19.1	12.9	6.9	3.6	303
性別	男性	28.2	29.8	23.4	14.5	4.0	124
	女性	77.5	11.8	5.6	1.7	3.4	178
	その他	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	36.8	26.3	36.8	0.0	0.0	19
	30～39歳	52.6	36.8	5.3	5.3	0.0	19
	40～49歳	55.6	18.5	14.8	7.4	3.7	54
	50～59歳	54.5	27.3	10.6	3.0	4.5	66
	60～69歳	65.4	11.5	11.5	9.6	1.9	52
	70歳以上	61.3	12.9	10.8	9.7	5.4	93

■ウ 買い物（日用品）

問12 ウ. 買い物（日用品）		1 いつもしている	2 ときどきしている	3 ほとんどしない	4 まったくしない	無回答	回答者数
全体		56.1	28.7	9.2	2.3	3.6	303
性別	男性	35.5	42.7	13.7	4.0	4.0	124
	女性	70.8	18.5	6.2	1.1	3.4	178
	その他	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	36.8	31.6	31.6	0.0	0.0	19
	30～39歳	52.6	31.6	15.8	0.0	0.0	19
	40～49歳	57.4	27.8	9.3	1.9	3.7	54
	50～59歳	62.1	27.3	6.1	1.5	3.0	66
	60～69歳	63.5	25.0	5.8	1.9	3.8	52
	70歳以上	51.6	31.2	7.5	4.3	5.4	93

■エ 食事のしたく

問12 エ. 食事のしたく		1 いつもしている	2 ときどきしている	3 ほとんどしない	4 まったくしない	無回答	回答者数
全体		55.1	22.1	10.6	7.6	4.6	303
性別	男性	24.2	35.5	19.4	16.1	4.8	124
	女性	76.4	12.9	4.5	1.7	4.5	178
	その他	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	47.4	21.1	26.3	0.0	5.3	19
	30～39歳	47.4	26.3	15.8	10.5	0.0	19
	40～49歳	50.0	31.5	9.3	5.6	3.7	54
	50～59歳	56.1	22.7	9.1	9.1	3.0	66
	60～69歳	63.5	17.3	9.6	5.8	3.8	52
	70歳以上	55.9	18.3	8.6	9.7	7.5	93

■オ 食事の後片づけ（食器洗いなど）

問12 オ. 食事の後片づけ（食器洗いなど）		1 いつもしている	2 ときどきしている	3 ほとんどしない	4 まったくしない	無回答	回答者数
全体		58.4	27.4	7.6	3.0	3.6	303
性別	男性	41.9	34.7	13.7	5.6	4.0	124
	女性	69.7	22.5	3.4	1.1	3.4	178
	その他	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	52.6	36.8	5.3	5.3	0.0	19
	30～39歳	36.8	47.4	15.8	0.0	0.0	19
	40～49歳	55.6	33.3	5.6	1.9	3.7	54
	50～59歳	65.2	16.7	10.6	4.5	3.0	66
	60～69歳	63.5	25.0	3.8	3.8	3.8	52
	70歳以上	58.1	26.9	7.5	2.2	5.4	93

■カ 子どもの教育

問12 カ. 子どもの教育		1 いつもしている	2 ときどきしている	3 ほとんどしない	4 まったくしない	5 対象となる人はいない	無回答	回答者数
全体		11.9	6.9	3.3	6.9	61.1	9.9	303
性別	男性	1.6	13.7	7.3	5.6	60.5	11.3	124
	女性	19.1	2.2	0.6	7.9	61.2	9.0	178
	その他	-	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	0.0	0.0	0.0	15.8	84.2	0.0	19
	30～39歳	21.1	5.3	0.0	10.5	63.2	0.0	19
	40～49歳	22.2	7.4	3.7	13.0	46.3	7.4	54
	50～59歳	18.2	15.2	6.1	4.5	47.0	9.1	66
	60～69歳	9.6	5.8	1.9	9.6	69.2	3.8	52
	70歳以上	3.2	3.2	3.2	1.1	69.9	19.4	93

■キ 乳幼児の世話

問12 キ. 乳幼児の世話		1 いつもしている	2 ときどきしている	3 ほとんどしない	4 まったくしない	5 い対象となる人はいない	無回答	回答者数
全体		5.3	3.3	2.3	5.9	73.9	9.2	303
性別	男性	3.2	8.1	4.0	4.8	69.4	10.5	124
	女性	6.7	0.0	1.1	6.7	77.0	8.4	178
	その他	-	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	0.0	0.0	0.0	15.8	84.2	0.0	19
	30～39歳	26.3	0.0	0.0	10.5	63.2	0.0	19
	40～49歳	9.3	9.3	1.9	9.3	63.0	7.4	54
	50～59歳	3.0	3.0	3.0	3.0	77.3	10.6	66
	60～69歳	1.9	3.8	1.9	7.7	80.8	3.8	52
	70歳以上	3.2	1.1	3.2	2.2	74.2	16.1	93

■ク 親族の介護

問12 ク. 親族の介護		1 いつもしている	2 ときどきしている	3 ほとんどしない	4 まったくしない	5 い対象となる人はいない	無回答	回答者数
全体		7.3	8.6	5.6	5.6	65.3	7.6	303
性別	男性	6.5	6.5	8.9	4.8	64.5	8.9	124
	女性	7.9	10.1	3.4	6.2	65.7	6.7	178
	その他	-	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	0.0	0.0	0.0	15.8	78.9	5.3	19
	30～39歳	0.0	15.8	5.3	15.8	63.2	0.0	19
	40～49歳	5.6	3.7	9.3	9.3	66.7	5.6	54
	50～59歳	7.6	15.2	9.1	3.0	59.1	6.1	66
	60～69歳	15.4	19.2	5.8	3.8	51.9	3.8	52
	70歳以上	6.5	1.1	2.2	2.2	74.2	14.0	93

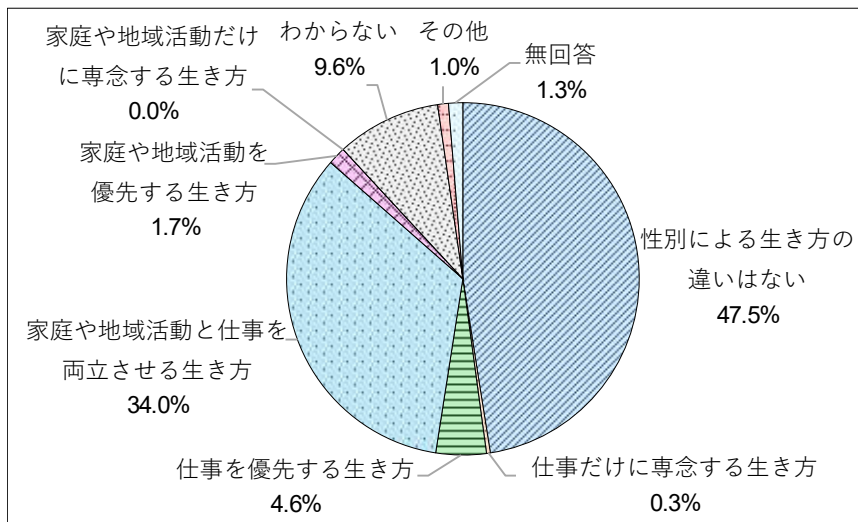
(問13-1～問13-3は、すべての方がお答えください)

問13-1 男性の生き方として、あなたが望ましいと思うのはどのような生き方ですか。次の中から、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 性別による生き方の違いはない | 5. 家庭や地域活動を優先する生き方 |
| 2. 仕事だけに専念する生き方 | 6. 家庭や地域活動だけに専念する生き方 |
| 3. 仕事を優先する生き方 | 7. わからない |
| 4. 家庭や地域活動と仕事を両立させる生き方 | 8. その他(具体的に) |

男性の生き方として望ましいと思うものは、「性別による生き方の違いはない」が47.5%、「家庭や地域活動と仕事を両立させる生き方」が34.0%となっています。

「性別による生き方の違いはない」の割合を年代別で見ると、60歳未満では50%以上となっています。



(n=303)

問13-1 男性の生き方	1 性別による生き方の違いはない	2 仕事だけに専念する	3 仕事を優先する	4 家庭や地域活動と仕事を両立させる	5 家庭や地域活動を優先する	6 家庭や地域活動だけに専念する	7 わからない	8 その他	無回答	回答者数
全体	47.5	0.3	4.6	34.0	1.7	0.0	9.6	1.0	1.3	303
性別	男性	41.1	0.0	7.3	34.7	4.0	10.5	0.8	1.6	124
	女性	52.2	0.6	2.8	33.7	0.0	8.4	1.1	1.1	178
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	63.2	0.0	0.0	31.6	0.0	5.3	0.0	0.0	19
	30～39歳	52.6	0.0	5.3	31.6	0.0	5.3	0.0	5.3	19
	40～49歳	59.3	0.0	1.9	25.9	3.7	0.0	7.4	0.0	54
	50～59歳	53.0	0.0	1.5	33.3	1.5	0.0	6.1	3.0	66
	60～69歳	44.2	0.0	5.8	32.7	0.0	0.0	15.4	1.9	52
	70歳以上	34.4	1.1	8.6	40.9	2.2	0.0	11.8	0.0	1.1

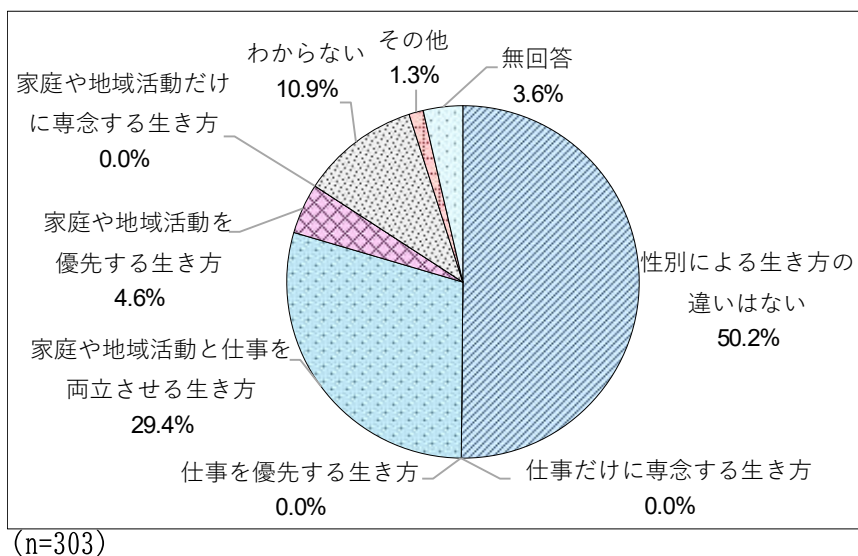
問13-2 女性の生き方として、あなたが望ましいと思うのはどのような生き方ですか。次の中から、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 性別による生き方の違いはない | 5. 家庭や地域活動を優先する生き方 |
| 2. 仕事だけに専念する生き方 | 6. 家庭や地域活動だけに専念する生き方 |
| 3. 仕事を優先する生き方 | 7. わからない |
| 4. 家庭や地域活動と仕事を両立させる生き方 | 8. その他(具体的に) |

女性の生き方として望ましいと思うものは、「性別による生き方の違いはない」が50.2%、「家庭や地域活動と仕事を両立させる生き方」が29.4%となっています。

「性別による生き方の違いはない」の割合を性別で見ると、男性が42.7%、女性が55.6%であり、女性のほうが多くなっています。

「性別による生き方の違いはない」の割合を年代別で見ると、60歳未満では60%前後となっています。



問13-2 女性の生き方	1 性別による 生き方の 違いはない	2 仕事だけ に専念す る	3 仕事を 優先する 生き方	4 家庭や地 域活動と 仕事を両 立させる 生き方	5 家庭や地 域活動を 優先する 生き方	6 家庭や地 域活動だ けに専念 する生き 方	7 わから ない	8 その他	無 回 答	回 答 者 数
全体	50.2	0.0	0.0	29.4	4.6	0.0	10.9	1.3	3.6	303
性別	男性	42.7	0.0	0.0	29.0	6.5	12.9	0.8	8.1	124
	女性	55.6	0.0	0.0	29.8	3.4	9.0	1.7	0.6	178
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	68.4	0.0	0.0	26.3	0.0	5.3	0.0	0.0	19
	30～39歳	63.2	0.0	0.0	21.1	5.3	10.5	0.0	0.0	19
	40～49歳	59.3	0.0	0.0	27.8	3.7	7.4	0.0	1.9	54
	50～59歳	57.6	0.0	0.0	27.3	6.1	3.0	3.0	3.0	66
	60～69歳	44.2	0.0	0.0	30.8	1.9	17.3	3.8	1.9	52
	70歳以上	36.6	0.0	0.0	33.3	6.5	16.1	0.0	7.5	93

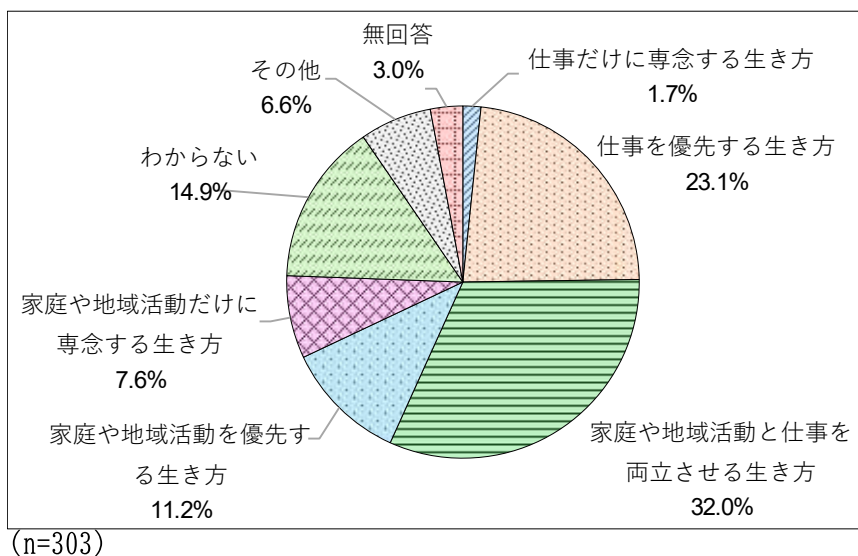
問13-3 現在のあなた自身の生き方は、下記のどの項目に一番近いと思いますか。次の中から、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 仕事だけに専念する生き方 | 5. 家庭や地域活動だけに専念する生き方 |
| 2. 仕事を優先する生き方 | 6. わからない |
| 3. 家庭や地域活動と仕事を両立させる生き方 | 7. その他(具体的に) |
| 4. 家庭や地域活動を優先する生き方 | |

現在の自分自身の生き方は、「家庭や地域活動と仕事を両立させる生き方」が32.0%、「仕事を優先する生き方」が23.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「家庭や地域活動と仕事を両立させる生き方」が約7ポイント増加しています。

性別では、男性は「仕事を優先する生き方」が33.9%、女性は「家庭や地域活動と仕事を両立させる生き方」が32.6%でそれぞれ最も多く、男女で差異があります。



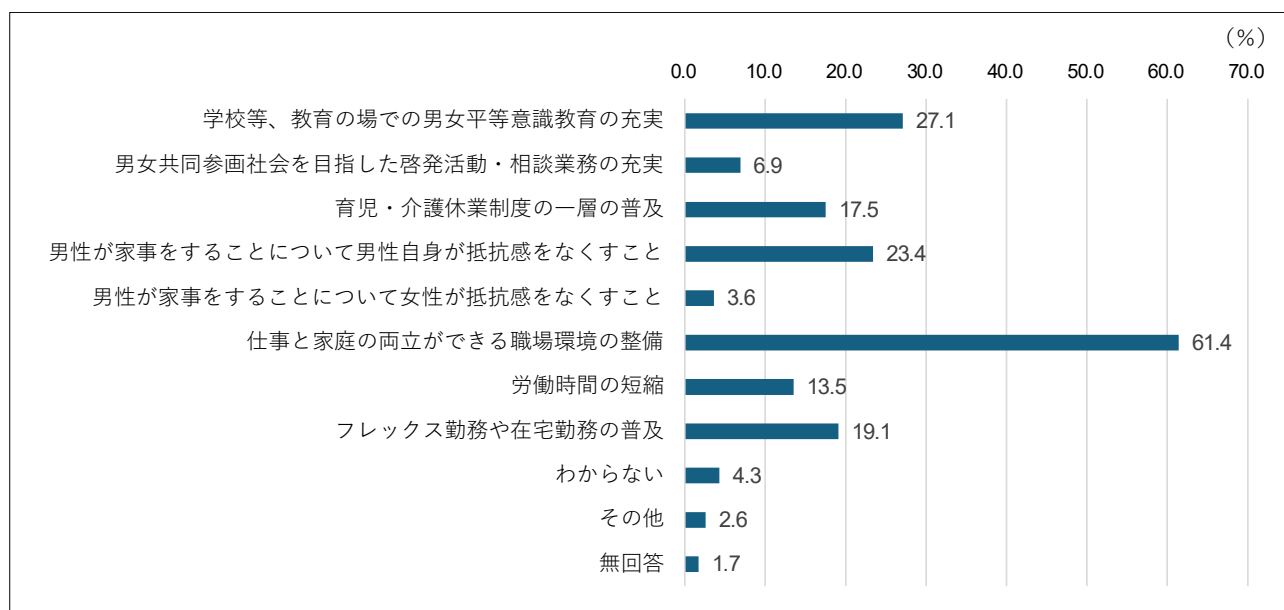
問13-3 自身の生き方	1 仕事だけに専念する	2 仕事を優先する	3 家庭や地域活動と仕事を両立させる	4 家庭や地域活動を優先する	5 家庭や地域活動だけに専念する	6 わからない	7 その他	無回答	回答者数	
全体	1.7	23.1	32.0	11.2	7.6	14.9	6.6	3.0	303	
性別	男性	1.6	33.9	31.5	9.7	13.7	3.2	4.0	124	
	女性	1.7	15.7	32.6	12.4	11.2	9.0	2.2	178	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	0	
年齢	18～29歳	0.0	52.6	15.8	0.0	21.1	5.3	5.3	19	
	30～39歳	5.3	26.3	42.1	5.3	10.5	5.3	0.0	19	
	40～49歳	3.7	29.6	38.9	11.1	9.3	3.7	1.9	54	
	50～59歳	1.5	30.3	40.9	6.1	10.6	4.5	3.0	66	
	60～69歳	0.0	19.2	32.7	11.5	13.5	9.6	13.5	0.0	52
	70歳以上	1.1	9.7	22.6	18.3	12.9	23.7	6.5	5.4	93

問14 あなたは男女が共に仕事と家庭を両立していくためには、どのようなことが必要だと思えますか。
次の中から、あてはまるものを2つまで選んで○をつけてください。

1. 学校等、教育の場での男女平等意識教育の充実
2. 男女共同参画社会を目指した啓発活動・相談業務の充実
3. 育児・介護休業制度の一層の普及
4. 男性が家事をすることについて男性自身が抵抗感をなくすこと
5. 男性が家事をすることについて女性が抵抗感をなくすこと
6. 仕事と家庭の両立ができる職場環境の整備
7. 労働時間の短縮
8. フレックス勤務や在宅勤務の普及
9. わからない
10. その他(具体的に)

男女が共に仕事と家庭を両立していくために必要なことについて、「仕事と家庭の両立ができる職場環境の整備」が61.4%で最も多く、次いで「学校等、教育の場での男女平等意識教育の充実」が27.1%となっています。

「仕事と家庭の両立ができる職場環境の整備」の割合を年代別で見ると、30～39歳が78.9%で最も多くなっています。また、すべての年代で50%以上となっています。



(n=303)

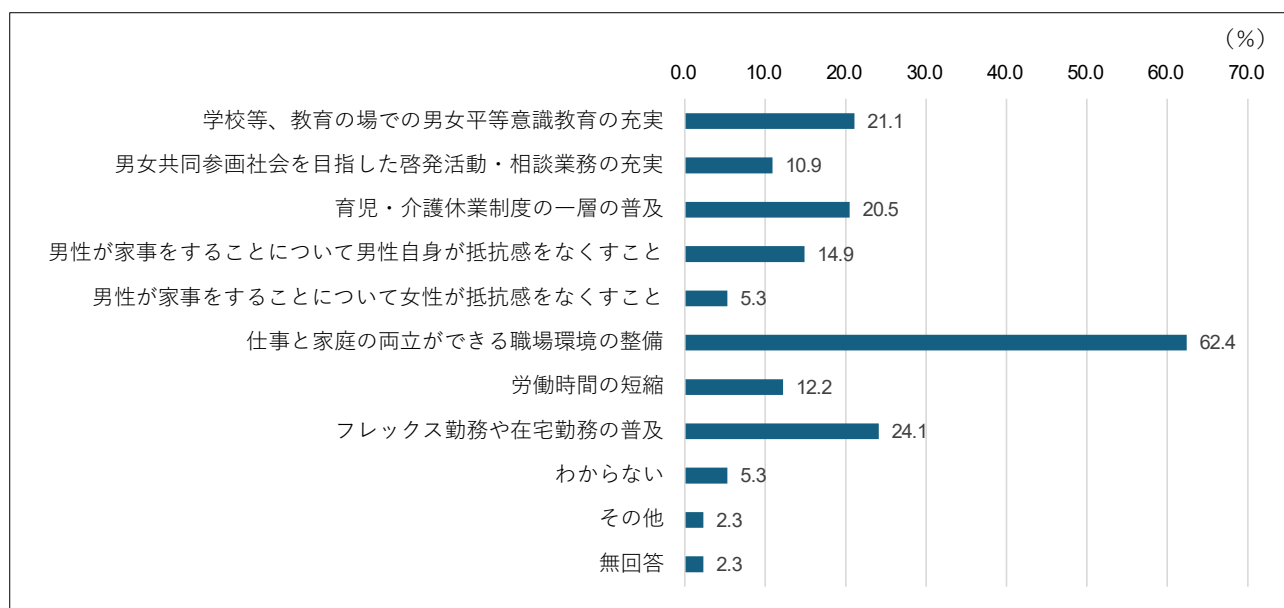
問14 仕事と家庭の両立	1 のの学校等の充実に男女平等意識の教育	2 相談業務の充実	3 育児・介護休業制度の普及	4 とが抵抗を感じて男性自身こ	5 抗感なく女性を拒否すること	6 備できる仕事と職場環境の両立が	7 労働時間の短縮	8 宅勤務の普及	9 わからない	10 その他	無回答	回答者数
全体	27.1	6.9	17.5	23.4	3.6	61.4	13.5	19.1	4.3	2.6	1.7	303
性別	男性	25.0	12.1	22.6	13.7	60.5	17.7	21.0	3.2	1.6	2.4	124
	女性	28.7	3.4	14.0	30.3	62.4	10.7	18.0	4.5	3.4	1.1	178
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	31.6	0.0	21.1	26.3	63.2	31.6	15.8	5.3	0.0	0.0	19
	30～39歳	21.1	10.5	26.3	10.5	78.9	15.8	31.6	0.0	5.3	0.0	19
	40～49歳	20.4	9.3	14.8	20.4	55.6	14.8	33.3	1.9	1.9	1.9	54
	50～59歳	18.2	4.5	19.7	25.8	65.2	16.7	18.2	1.5	7.6	1.5	66
	60～69歳	38.5	3.8	13.5	28.8	69.2	13.5	17.3	1.9	0.0	0.0	52
70歳以上	31.2	9.7	17.2	22.6	2.2	53.8	6.5	10.8	9.7	1.1	3.2	93

問15 あなたは女性が就業などの社会参画をしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。
次の中から、あてはまるものを2つまで選んで○をつけてください。

1. 学校等、教育の場での男女平等意識教育の充実
2. 男女共同参画社会を目指した啓発活動・相談業務の充実
3. 育児・介護休業制度の一層の普及
4. 男性が家事をすることについて男性自身が抵抗感をなくすこと
5. 男性が家事をすることについて女性が抵抗感をなくすこと
6. 仕事と家庭の両立ができる職場環境の整備
7. 労働時間の短縮
8. フレックス勤務や在宅勤務の普及
9. わからない
10. その他(具体的に)

女性が就業などの社会参画をしていくために必要なことについて、「仕事と家庭の両立ができる職場環境の整備」が62.4%、次いで「フレックス勤務や在宅勤務の普及」が24.1%となっています。

性別・年代別に見ても、「仕事と家庭の両立ができる職場環境の整備」の割合が最も高くなっています。



(n=303)

問15 女性の社会参画に必要なこと	1 のの学校等の男女平等教育の充実	2 相談業務の充実	3 育児の一層の普及	4 とが抵抗を感じて男性自身こ	5 抗感なく女性を拒	6 備できる仕事と職場環境の両立が	7 労働時間の短縮	8 宅勤務の普及	9 わからない	10 その他	無回答	回答者数	
全体	21.1	10.9	20.5	14.9	5.3	62.4	12.2	24.1	5.3	2.3	2.3	303	
性別	男性	24.2	12.1	21.0	12.1	8.1	59.7	12.9	22.6	4.8	1.6	4.0	124
	女性	19.1	10.1	20.2	16.9	3.4	64.6	11.8	25.3	5.1	2.8	1.1	178
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	26.3	10.5	21.1	10.5	0.0	57.9	26.3	31.6	5.3	0.0	0.0	19
	30～39歳	36.8	21.1	15.8	0.0	0.0	78.9	5.3	36.8	0.0	0.0	0.0	19
	40～49歳	13.0	18.5	22.2	14.8	5.6	59.3	9.3	37.0	3.7	0.0	1.9	54
	50～59歳	19.7	4.5	19.7	18.2	9.1	62.1	18.2	24.2	3.0	4.5	1.5	66
	60～69歳	23.1	7.7	17.3	21.2	5.8	71.2	5.8	30.8	1.9	3.8	0.0	52
70歳以上	21.5	10.8	22.6	12.9	4.3	57.0	11.8	8.6	10.8	2.2	5.4	93	

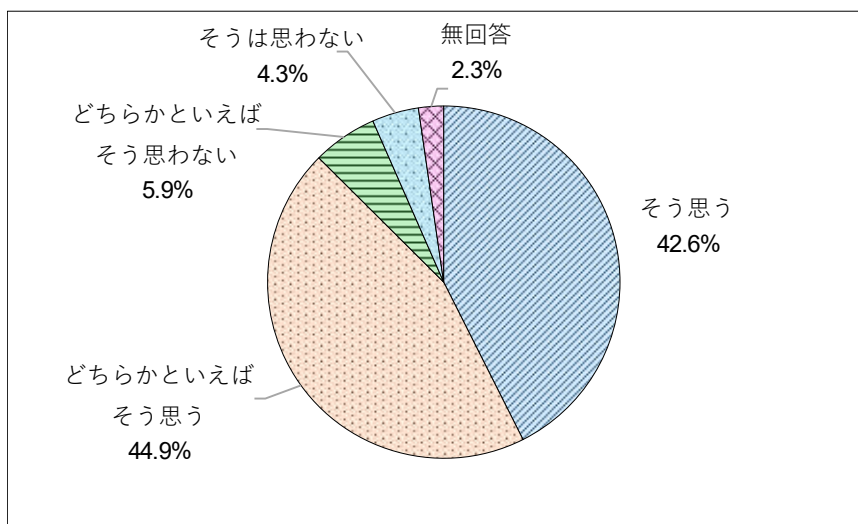
問16 育児や介護、家事などに女性のほうがより多くの時間を費やしていることが、職業生活において女性の活躍が進まない要因の一つだという意見がありますが、あなたはこの意見について、どう思いますか。次の中から、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そうは思わない

育児や介護、家事に費やす時間の多さが、職業生活において女性の活躍が進まない要因の一つという意見については、「そう思う」が42.6%、「どちらかといえばそう思う」が44.9%、合わせて“そう思う”が87.5%となっています。

性別で見ると、“そう思う”は男性が85.4%、女性が89.3%であり、男女とも高い割合になっています。

年代別で見ても、“そう思う”が80%以上となっており、各年代とも高い割合になっています。(18～29歳、30～39歳は回答数が19件のため参考扱い)



(n=303)

問16 育児や介護、家事などへの女性の負担		1 そう思う	2 どちらかといえば そう思う	3 どちらかといえば そう思わない	4 そうは思わない	無回答	回答者数
全体		42.6	44.9	5.9	4.3	2.3	303
性別	男性	43.5	41.9	6.5	5.6	2.4	124
	女性	42.1	47.2	5.6	2.8	2.2	178
	その他	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	47.4	42.1	5.3	5.3	0.0	19
	30～39歳	26.3	42.1	15.8	15.8	0.0	19
	40～49歳	38.9	50.0	7.4	1.9	1.9	54
	50～59歳	42.4	45.5	4.5	6.1	1.5	66
	60～69歳	51.9	40.4	5.8	1.9	0.0	52
	70歳以上	41.9	45.2	4.3	3.2	5.4	93

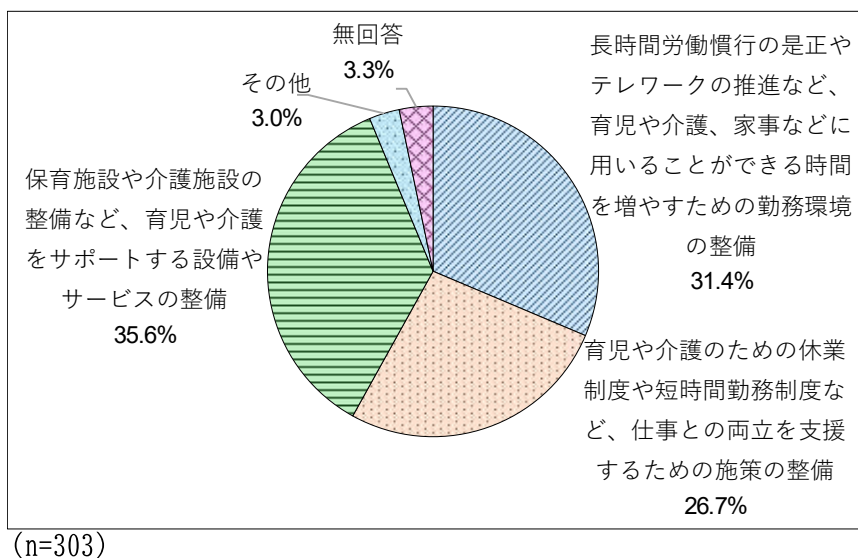
問17 育児や介護、家事などに費やす時間を男女間でバランスのとれたものとし、職業生活における女性の活躍をさらに推進するためには、特にどのような支援が必要だと思いますか。次の中から、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

1. 長時間労働慣行の是正やテレワークの推進など、育児や介護、家事などに用いることができる時間を増やすための勤務環境の整備
2. 育児や介護のための休業制度や短時間勤務制度など、仕事との両立を支援するための施策の整備
3. 保育施設や介護施設の整備など、育児や介護をサポートする設備やサービスの整備
4. その他(具体的に)

育児や介護、家事に費やす時間を男女間でバランスのとれたものとし、女性の活躍をさらに推進するためには、「保育施設や介護施設の整備など、育児や介護をサポートする設備やサービスの整備」が35.6%、「長時間労働慣行の是正やテレワークの推進など、育児や介護、家事などに用いることができる時間を増やすための勤務環境の整備」が31.4%となっています。

性別で見ると、「保育施設や介護施設の整備など、育児や介護をサポートする設備やサービスの整備」は女性のほうが多く、「長時間労働慣行の是正やテレワークの推進など、育児や介護、家事などに用いることができる時間を増やすための勤務環境の整備」は男性のほうが多くなっています。

年代別では、「保育施設や介護施設の整備など、育児や介護をサポートする設備やサービスの整備」は子育て世代と高齢者世代で多くなっています。



問17 育児や介護、家事などのバランス		1	2	3	4	無回答	回答者数
		長時間労働の推進など、正や育児のための勤務環境を整備する	育児や介護の両立を支援するなどの施策の整備	保育施設や介護施設やサ―ビスの整備	その他		
全体		31.4	26.7	35.6	3.0	3.3	303
性別	男性	33.9	27.4	33.1	3.2	2.4	124
	女性	29.8	26.4	37.6	2.8	3.4	178
	その他	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	21.1	26.3	52.6	0.0	0.0	19
	30～39歳	36.8	21.1	36.8	5.3	0.0	19
	40～49歳	38.9	22.2	33.3	3.7	1.9	54
	50～59歳	36.4	24.2	31.8	6.1	1.5	66
	60～69歳	34.6	28.8	34.6	1.9	0.0	52
	70歳以上	22.6	31.2	36.6	1.1	8.6	93

(5) 子どもの教育について

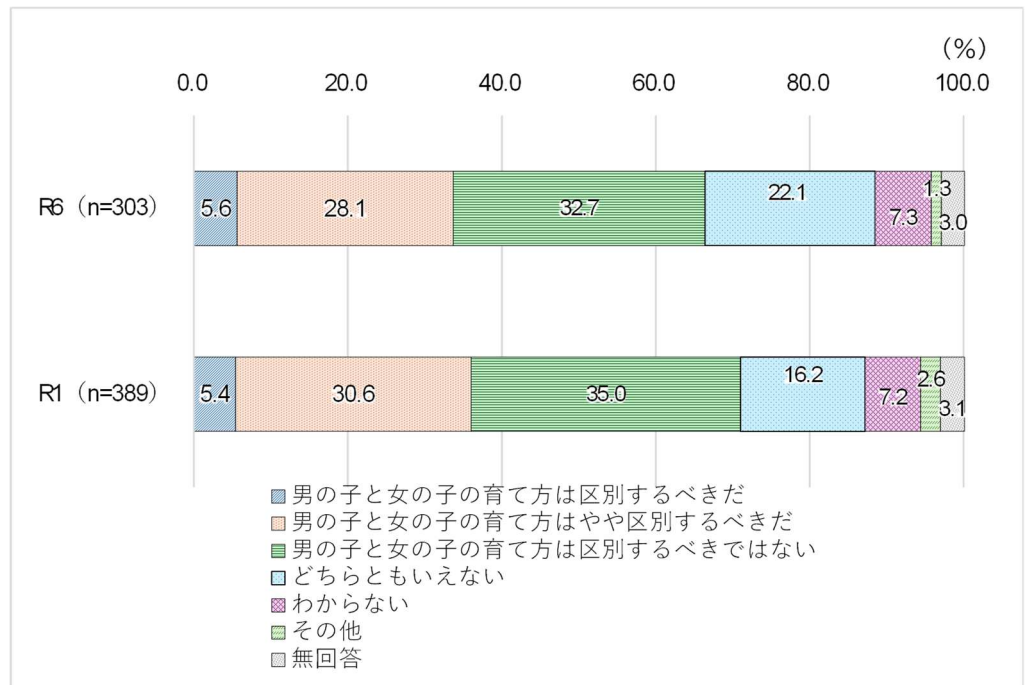
問18 あなた自身が子育てをする場合、「男の子の育て方」と「女の子の育て方」を区別した方がいいと思いますか。次の中から、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

1. 男の子と女の子の育て方は区別するべきだ
2. 男の子と女の子の育て方はやや区別するべきだ
3. 男の子と女の子の育て方は区別するべきではない
4. どちらともいえない
5. わからない
6. その他(具体的に)

子育てにおいて「男の子」と「女の子」を区別した方がいいかについては、「男の子と女の子の育て方は区別するべきではない」が32.7%、次いで「男の子と女の子の育て方はやや区別するべきだ」が28.1%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「男の子と女の子の育て方は区別するべきではない」、「男の子と女の子の育て方はやや区別するべきだ」は、ともに減少しており、「どちらともいえない」が増加しています。

「男の子と女の子の育て方は区別するべきではない」の割合を年代別で見ると、概ね各年代とも最も多くなっています。(18～29歳、30～39歳は回答数が19件のため参考扱い)



問18 男の子と女の子の育て方		1	2	3	4	5	6	無回答	回答者数
		だて男 方は子 区と 別女 すの る子 べの き育	べて男 き方 だは子 やと や女 区の 別子 すの る育	でて男 は方 なは子 い区 と別 女 すの る子 べの き育	ど ち ら と も い え な い	わ か ら な い	そ の 他		
全体		5.6	28.1	32.7	22.1	7.3	1.3	3.0	303
性別	男性	9.7	33.9	32.3	14.5	7.3	0.0	2.4	124
	女性	2.8	24.2	33.1	27.5	7.3	2.2	2.8	178
	その他	-	-	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	0.0	57.9	10.5	15.8	10.5	5.3	0.0	19
	30～39歳	5.3	36.8	47.4	5.3	5.3	0.0	0.0	19
	40～49歳	5.6	29.6	33.3	25.9	3.7	0.0	1.9	54
	50～59歳	9.1	21.2	27.3	24.2	13.6	1.5	3.0	66
	60～69歳	7.7	32.7	34.6	17.3	3.8	3.8	0.0	52
	70歳以上	3.2	21.5	36.6	25.8	6.5	0.0	6.5	93

(6) 就業について

問19 あなたは女性が職業を持つことについてどのように思いますか。あなた自身、またはあなたの家族のこととしてお答えください。

次の中から、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

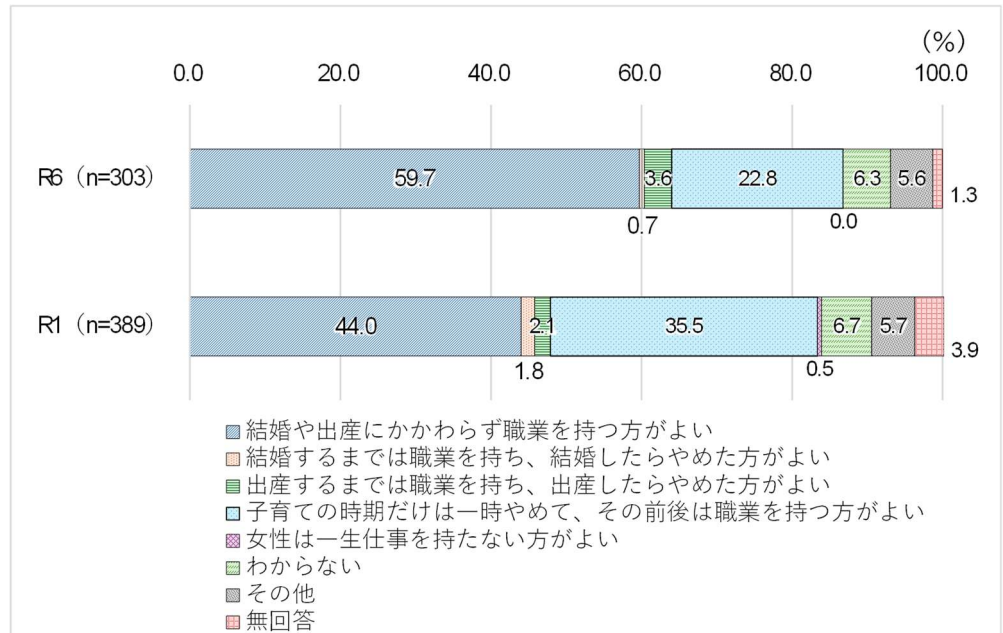
- | | |
|------------------------------|----------------------------------|
| 1. 結婚や出産にかかわらず職業を持つ方がよい | 4. 子育ての時期だけは一時やめて、その前後は職業を持つ方がよい |
| 2. 結婚するまでは職業を持ち、結婚したらやめた方がよい | 5. 女性は一生仕事を持たない方がよい |
| 3. 出産するまでは職業を持ち、出産したらやめた方がよい | 6. わからない |
| | 7. その他(具体的に) |

女性が職業を持つことについては、「結婚や出産にかかわらず職業を持つ方がよい」が59.7%、「子育ての時期だけは一時やめて、その前後は職業を持つ方がよい」が22.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「結婚や出産にかかわらず職業を持つ方がよい」が増加し、「子育ての時期だけは一時やめて、その前後は職業を持つ方がよい」が減少しています。

「結婚や出産にかかわらず職業を持つ方がよい」の割合を性別で見ると、男性が57.3%、女性が61.8%であり、女性のほうが多くなっています。

また、年代別に見ると、30～39歳、40～49歳、60～69歳で約68%になっています。



問19 女性が職業を持つこと	1	2	3	4	5	6	7	無回答	回答者数
全体	59.7	0.7	3.6	22.8	0.0	6.3	5.6	1.3	303
性別									
男性	57.3	0.8	3.2	25.8	0.0	5.6	5.6	1.6	124
女性	61.8	0.6	3.9	20.8	0.0	6.2	5.6	1.1	178
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	0
年齢									
18～29歳	57.9	0.0	5.3	26.3	0.0	10.5	0.0	0.0	19
30～39歳	68.4	0.0	5.3	15.8	0.0	0.0	10.5	0.0	19
40～49歳	68.5	0.0	3.7	11.1	0.0	7.4	7.4	1.9	54
50～59歳	54.5	0.0	3.0	22.7	0.0	7.6	10.6	1.5	66
60～69歳	69.2	0.0	1.9	25.0	0.0	0.0	3.8	0.0	52
70歳以上	51.6	2.2	4.3	29.0	0.0	8.6	2.2	2.2	93

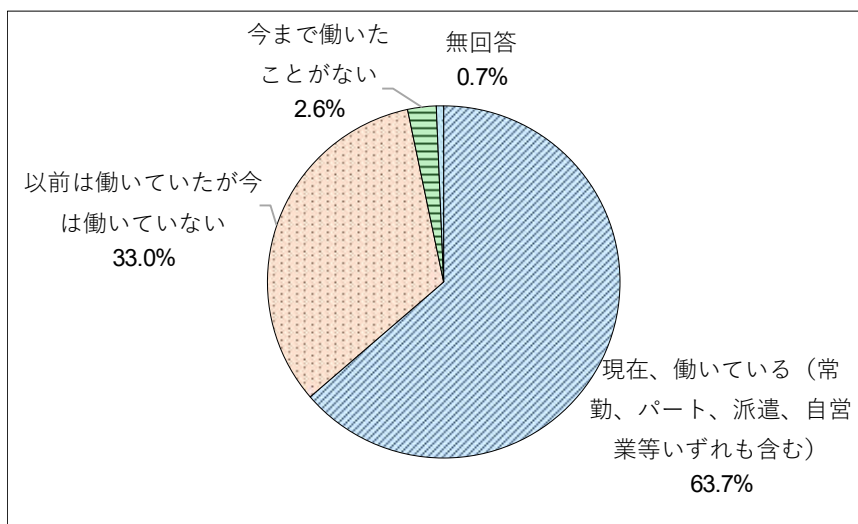
問20 あなたは現在、仕事に就いていますか。

次の中から、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

1. 現在、働いている(常勤、パート、派遣、自営業等いずれも含む)
2. 以前は働いていたが今は働いていない
3. 今まで働いたことがない

就業状況については、「現在、働いている(常勤、パート、派遣、自営業等いずれも含む)」が63.7%、次いで「以前は働いていたが今は働いていない」が33.0%となっています。

「現在、働いている」の割合を性別で見ると、男性が69.4%、女性が59.6%となっています。



(n=303)

問20 就業状況	1 遣(現 も含 含む) 常勤、働 自営業、い 等パート、て いずれる れ派遣	2 今以 前は 働い てい てい ない が	3 な今 まで 働い たこ とが	無 回 答	回 答 者 数	
全体	63.7	33.0	2.6	0.7	303	
性別	男性	69.4	28.2	1.6	0.8	124
	女性	59.6	36.5	3.4	0.6	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18~29歳	89.5	5.3	5.3	0.0	19
	30~39歳	84.2	15.8	0.0	0.0	19
	40~49歳	90.7	5.6	3.7	0.0	54
	50~59歳	84.8	13.6	0.0	1.5	66
	60~69歳	65.4	32.7	1.9	0.0	52
	70歳以上	22.6	72.0	4.3	1.1	93

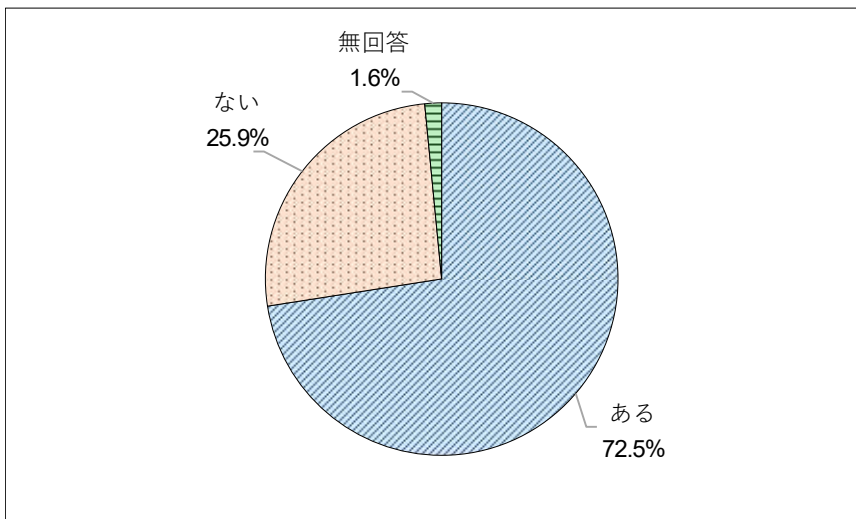
問20-1 問20で「1. 現在、働いている」と答えた方にお聞きします。あなたは今までに、仕事をやめたり中断したり、あるいは転職したことはありますか。どちらかに○をつけてください。

1. ある

2. ない

現在働いている人の退職や転職等の経験の有無については、「ある」が72.5%、「ない」が25.9%となっています。

「ある」の割合を性別で見ると、男性が68.6%、女性が76.4%となっています。



(n=193)

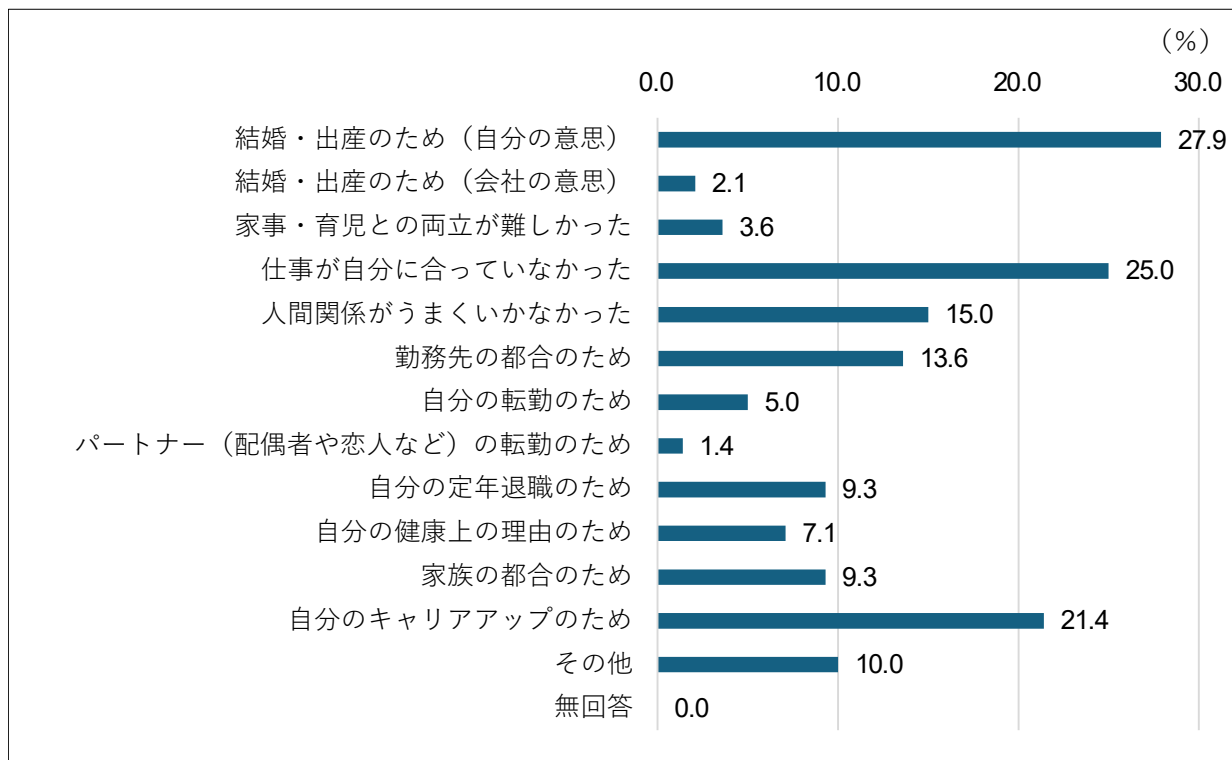
問20-1 仕事を辞めたり、転職したことの有無		1 ある	2 ない	無回答	回答者数
全体		72.5	25.9	1.6	193
性別	男性	68.6	27.9	3.5	86
	女性	76.4	23.6	0.0	106
	その他	-	-	-	0
年齢	18～29歳	58.8	41.2	0.0	17
	30～39歳	68.8	31.3	0.0	16
	40～49歳	83.7	16.3	0.0	49
	50～59歳	67.9	30.4	1.8	56
	60～69歳	79.4	14.7	5.9	34
	70歳以上	61.9	38.1	0.0	21

問20-1-ア 問20-1 で「1. ある」と答えた方にお聞きします。その主な理由は何ですか。次の中から、あてはまるものを2つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1. 結婚・出産のため(自分の意思) | 8. パートナー(配偶者や恋人など)の転勤のため |
| 2. 結婚・出産のため(会社の意思) | 9. 自分の定年退職のため |
| 3. 家事・育児との両立が難しかった | 10. 自分の健康上の理由のため |
| 4. 仕事が自分に合っていなかった | 11. 家族の都合のため |
| 5. 人間関係がうまくいかなかった | 12. 自分のキャリアアップのため |
| 6. 勤務先の都合のため | 13. その他(具体的に) |
| 7. 自分の転勤のため | |

退職や転職の理由は、「結婚・出産のため(自分の意思)」が27.9%、「仕事が自分に合っていなかった」が25.0%となっています。

性別では、男性は「仕事が自分に合っていなかった」が30.5%で、女性は「結婚・出産のため(自分の意思)」が43.2%で、それぞれ最も多くなっています。



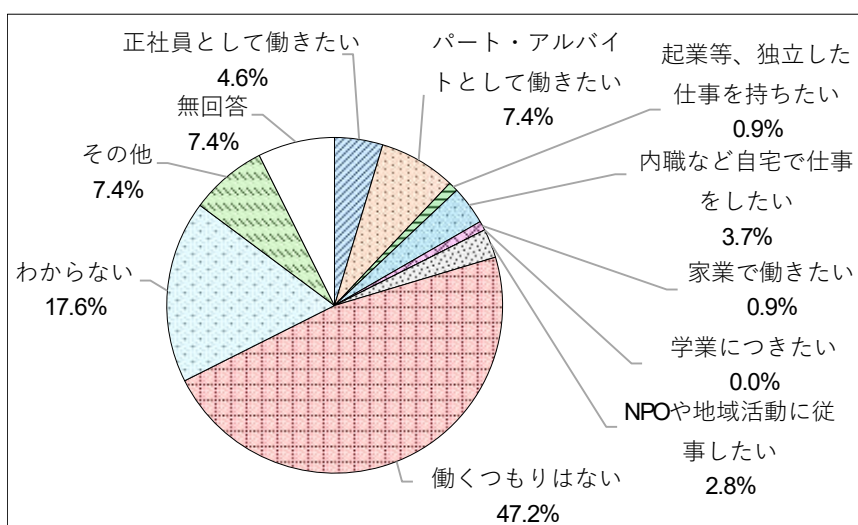
(n=140)

問20-1-ア 仕事を辞めたこと等の理由	1 (結婚・出産のため 自分の意思)	2 (結婚・出産のため 会社の意思)	3 家事・育児との両立 が難しかった	4 仕事で自分に合っ ていなかった	5 人間関係がうまく いかなかった	6 勤務先の都合のため	7 自分の転職のため	8 パートナー(配偶者 や恋人など)のため	9 自分の定年退職のため	10 自分の健康上の理由 のため	11 家族の都合のため	12 自分のキャリアアップ のため	13 その他	無回答	回答者数	
全体	27.9	2.1	3.6	25.0	15.0	13.6	5.0	1.4	9.3	7.1	9.3	21.4	10.0	0.0	140	
性別	男性	6.8	0.0	0.0	30.5	20.3	22.0	5.1	0.0	18.6	6.8	3.4	28.8	10.2	0.0	59
	女性	43.2	3.7	6.2	21.0	11.1	7.4	4.9	2.5	2.5	7.4	13.6	16.0	9.9	0.0	81
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	0.0	0.0	0.0	50.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	30.0	0.0	10	
	30～39歳	18.2	0.0	9.1	18.2	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	63.6	18.2	0.0	11	
	40～49歳	24.4	0.0	7.3	31.7	17.1	14.6	2.4	0.0	2.4	4.9	9.8	22.0	9.8	0.0	41
	50～59歳	36.8	2.6	2.6	23.7	15.8	15.8	10.5	2.6	0.0	13.2	10.5	21.1	2.6	0.0	38
	60～69歳	33.3	3.7	0.0	18.5	18.5	18.5	0.0	3.7	22.2	3.7	14.8	11.1	14.8	0.0	27
	70歳以上	30.8	7.7	0.0	7.7	15.4	15.4	7.7	0.0	46.2	15.4	0.0	7.7	0.0	0.0	13

問20-2 問20で「2. 以前は働いていたが今は働いていない」または「3. 今まで働いたことがない」と答えた方にお聞きします。あなたは今後どのような仕事や活動に従事したいと思いますか。次の中から、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 正社員として働きたい | 6. 学業につきたい |
| 2. パート・アルバイトとして働きたい | 7. NPO や地域活動に従事したい |
| 3. 起業等、独立した仕事をもちたい | 8. 働くつもりはない |
| 4. 内職など自宅で仕事をしたい | 9. わからない |
| 5. 家業で働きたい | 10. その他(具体的に) |

今後の仕事や活動の希望については、「働くつもりはない」が47.2%、「パート・アルバイトとして働きたい」が7.4%となっています。また、「わからない」は17.6%でした。



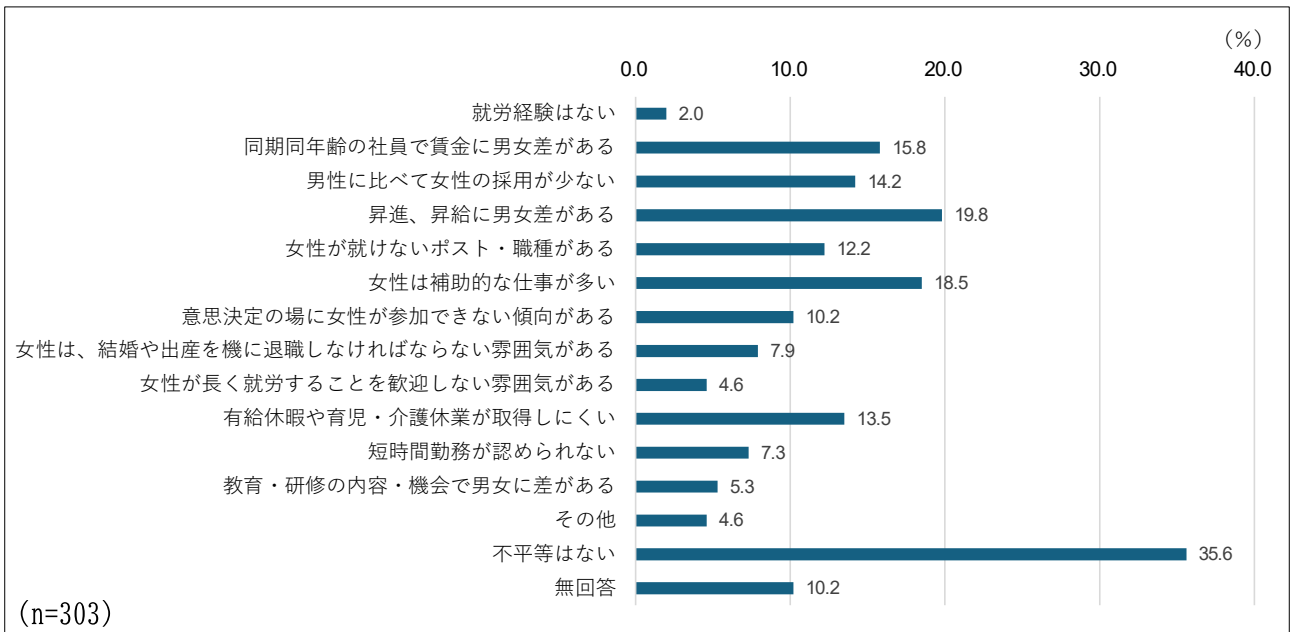
(n=108)

問20-2 働いていない人の就労意向	1 正社員として働きた	2 パート・アルバイトとして働きた	3 起業等、独立した仕事をもちたい	4 内職など自宅で仕事をしたい	5 家業で働きた	6 学業につきたい	7 NPOや地域活動に従事したい	8 働くつもりはない	9 わからない	10 その他	無回答	回答者数	
全体	4.6	7.4	0.9	3.7	0.9	0.0	2.8	47.2	17.6	7.4	7.4	108	
性別	男性	2.7	5.4	0.0	8.1	0.0	0.0	5.4	56.8	10.8	2.7	8.1	37
	女性	5.6	8.5	1.4	1.4	1.4	0.0	1.4	42.3	21.1	9.9	7.0	71
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	2	
	30～39歳	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	3	
	40～49歳	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	5	
	50～59歳	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	55.6	22.2	0.0	9
	60～69歳	0.0	22.2	0.0	5.6	5.6	0.0	5.6	44.4	5.6	0.0	11.1	18
	70歳以上	2.8	1.4	1.4	2.8	0.0	0.0	2.8	59.2	15.5	7.0	7.0	71

問21 あなたの職場では、仕事の内容や待遇面で、女性に対して不平等なことがありますか(ありましたか)。次の中から、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 就労経験はない
2. 同期同年齢の社員で賃金に男女差がある
3. 男性に比べて女性の採用が少ない
4. 昇進、昇給に男女差がある
5. 女性が就けないポスト・職種がある
6. 女性は補助的な仕事が多い
7. 意思決定の場に女性が参加できない傾向がある
8. 女性は、結婚や出産を機に退職しなければならない雰囲気がある
9. 女性が長く就労することを歓迎しない雰囲気がある
10. 有給休暇や育児・介護休業が取得しにくい
11. 短時間勤務が認められない
12. 教育・研修の内容・機会などで男女に差がある
13. その他(具体的に)
14. 不平等はない

仕事の内容や待遇面における女性に対する不平等については、54.2%の方に不平等なことがある(あった)と考えられます(全体(100%)から、「不平等はない」の35.6%と「無回答」の10.2%(合わせて45.8%)を除いた値)。不平等の内容としては、「昇進、昇給に男女差がある」が19.8%、「女性は補助的な仕事が多い」が18.5%などとなっています。



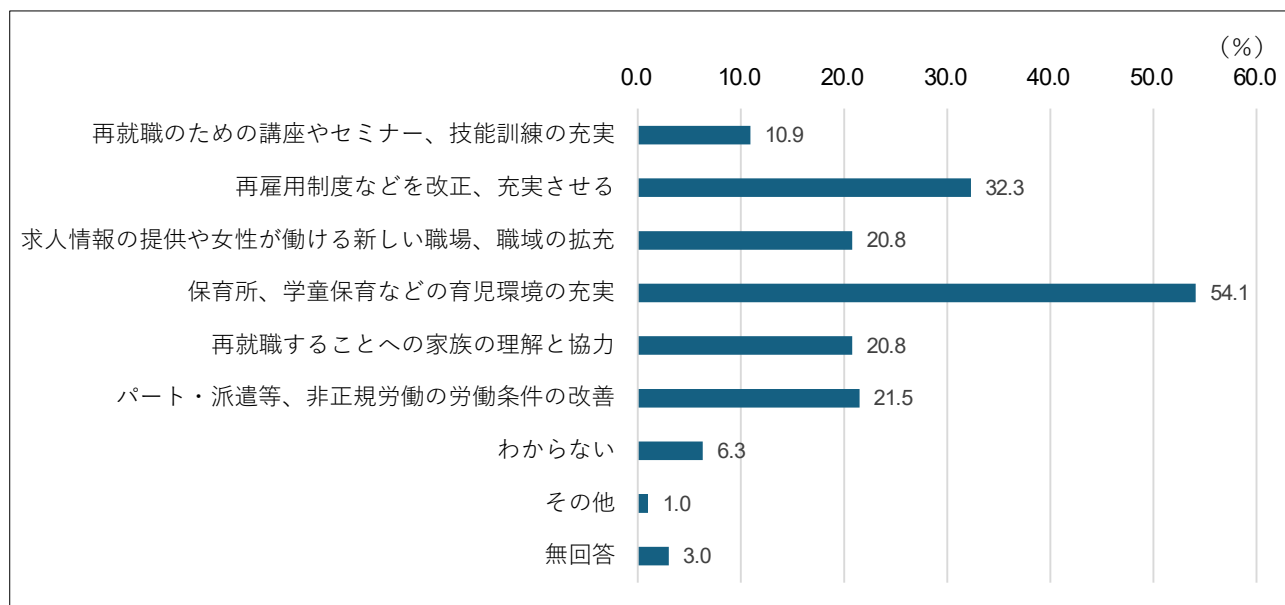
問21 職場で女性への不平等の有無	1 就労経験はない	2 賃同期同年齢の社員で男女差がある	3 採用男性に比べて女性の採用が少ない	4 昇進、昇給に男女差がある	5 ト女性が職種が就けないポスト	6 が女性はい補助的な仕事	7 が参加決定の場に女性向性	8 ばを女性には、結婚や出産を機に退職しない雰囲気がある	9 こ女性が長く就労することを歓迎しない雰囲気がある	10 い護有休業が取得しにくい	11 れな短時間勤務が認められない	12 る機会教育・研修の内容・機会などで男女に差がある	13 その他	14 不平等はない	無回答	回答者数	
全体	2.0	15.8	14.2	19.8	12.2	18.5	10.2	7.9	4.6	13.5	7.3	5.3	4.6	35.6	10.2	303	
性別	男性	0.8	11.3	21.0	13.7	11.3	15.3	8.9	2.4	1.6	8.9	4.0	0.8	4.8	37.9	12.9	124
	女性	2.8	19.1	9.6	24.2	12.9	20.8	11.2	11.8	6.7	16.9	9.6	8.4	4.5	34.3	7.9	178
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
年齢	18~29歳	0.0	5.3	0.0	10.5	5.3	5.3	5.3	5.3	0.0	5.3	5.3	5.3	5.3	84.2	0.0	19
	30~39歳	0.0	0.0	5.3	0.0	10.5	5.3	10.5	5.3	0.0	15.8	5.3	5.3	15.8	52.6	0.0	19
	40~49歳	3.7	13.0	14.8	16.7	7.4	11.1	7.4	1.9	0.0	11.1	9.3	3.7	9.3	38.9	7.4	54
	50~59歳	0.0	19.7	16.7	19.7	18.2	19.7	10.6	4.5	4.5	16.7	10.6	4.5	1.5	36.4	3.0	66
	60~69歳	1.9	21.2	21.2	23.1	11.5	21.2	13.5	15.4	7.7	19.2	1.9	3.8	3.8	32.7	5.8	52
	70歳以上	3.2	17.2	12.9	25.8	12.9	25.8	10.8	10.8	7.5	10.8	7.5	7.5	2.2	21.5	23.7	93

問22 あなたは結婚や出産などで退職した女性が、再就職しやすい環境をつくるためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から、あてはまるものを2つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|----------------------------------|--------------------------|
| 1. 再就職のための講座やセミナー、技能訓練の充実 | 5. 再就職することへの家族の理解と協力 |
| 2. 再雇用制度などを改正、充実させる | 6. パート・派遣等、非正規労働の労働条件の改善 |
| 3. 求人情報の提供や女性が働ける新しい職場、
職域の拡充 | 7. わからない |
| 4. 保育所、学童保育などの育児環境の充実 | 8. その他(具体的に) |

結婚や出産などで退職した女性にとっての再就職しやすい環境づくりについては、「保育所、学童保育などの育児環境の充実」が54.1%、「再雇用制度などを改正、充実させる」が32.3%となっています。

性別・年代別に見ても、「保育所、学童保育などの育児環境の充実」が多くなっており、特に30～39歳では73.7%となっています。



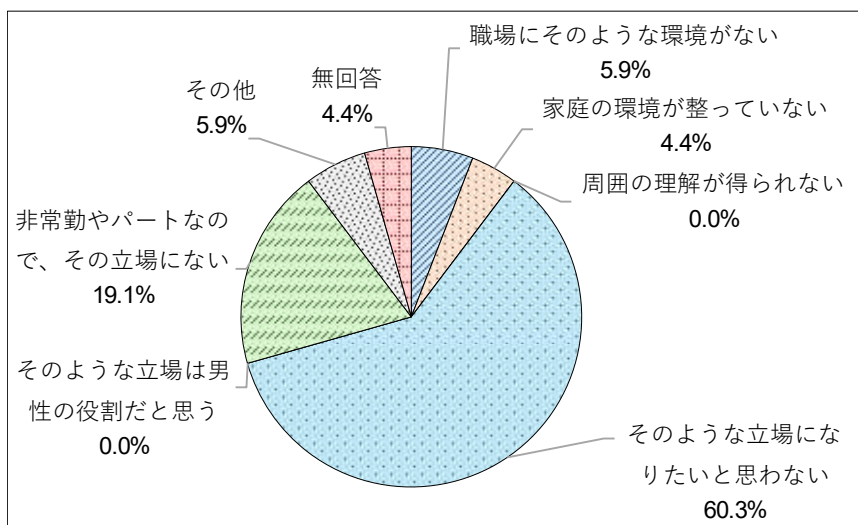
(n=303)

問22 結婚等で退職した女性の再就職	1 練や再 のセ就 充ミ職 実ナの 、た め 技の講 能訓座	2 正再 充雇 用実 制度 さな を改	3 場性 が人 職働 域情 の報 のの 拡新 充提 し供 いや 職女	4 ど保 の育 育所 児 環 境 学 童 の保 育 充 実な	5 家再 族就 の職 理 解 と 協 力 へ の	6 の正 改規 善 パ ー ト ・ 派 遣 等 の 派 遣 等 、 条 件 非	7 わ か ら な い	8 そ の 他	無 回 答	回 答 者 数
全体	10.9	32.3	20.8	54.1	20.8	21.5	6.3	1.0	3.0	303
性別	男性	10.5	41.1	18.5	50.8	16.9	17.7	7.3	0.8	124
	女性	11.2	26.4	22.5	56.7	23.6	24.2	5.6	1.1	178
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	5.3	36.8	31.6	63.2	21.1	15.8	5.3	0.0	19
	30～39歳	10.5	47.4	26.3	73.7	10.5	26.3	0.0	0.0	19
	40～49歳	14.8	31.5	22.2	55.6	20.4	18.5	3.7	0.0	54
	50～59歳	7.6	31.8	24.2	57.6	30.3	18.2	4.5	3.0	66
	60～69歳	9.6	36.5	17.3	63.5	19.2	25.0	1.9	1.9	52
	70歳以上	12.9	26.9	16.1	39.8	17.2	23.7	12.9	0.0	6.5

問23-1 問23で「3. そう思わない」または「4. そう思うが、なれない」と答えた方にお聞きします。その主な理由は何ですか。次の中から、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 職場にそのような環境がない | 5. そのような立場は男性の役割だと思う |
| 2. 家庭の環境が整っていない | 6. 非常勤やパートなので、その立場にない |
| 3. 周囲の理解が得られない | 7. その他(具体的に) |
| 4. そのような立場になりたいと思わない | |

管理職など組織の意思決定に加わる立場への意向がない・なれない理由については、「そのような立場になりたいと思わない」が60.3%、「非常勤やパートなので、その立場にない」が19.1%となっています。



(n=68)

問23-1 管理職等を希望しない理由	1 職場にそのような環境がない	2 家庭の環境が整っていない	3 周囲の理解が得られない	4 そのような立場にない	5 その役割だと思う	6 非常勤やパートにない	7 その他	無回答	回答者数
全体	5.9	4.4	0.0	60.3	0.0	19.1	5.9	4.4	68
性別	男性	-	-	-	-	-	-	-	0
	女性	5.9	4.4	0.0	60.3	0.0	19.1	5.9	68
	その他	-	-	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	0.0	0.0	0.0	85.7	0.0	14.3	0.0	7
	30～39歳	0.0	0.0	0.0	83.3	0.0	0.0	16.7	6
	40～49歳	14.3	0.0	0.0	64.3	0.0	14.3	0.0	14
	50～59歳	5.6	11.1	0.0	44.4	0.0	33.3	0.0	18
	60～69歳	8.3	0.0	0.0	58.3	0.0	25.0	8.3	12
	70歳以上	0.0	9.1	0.0	54.5	0.0	9.1	18.2	11

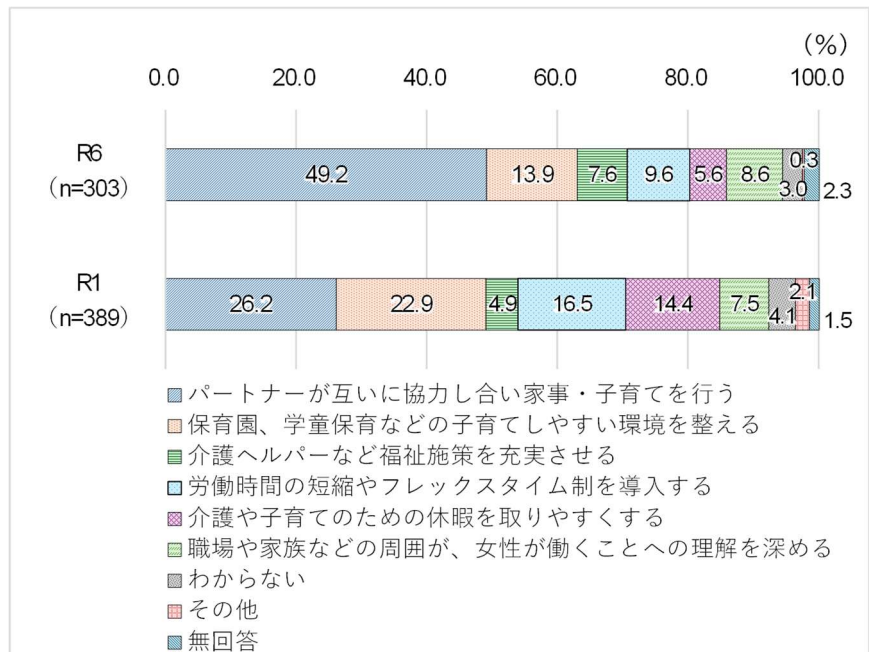
(7) ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

問24 あなたは男女が共に仕事と家庭を両立していくためには、どのようなことが最も必要だと思いますか。次の中から、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

1. パートナーが互いに協力し合い家事・子育てを行う
2. 保育園、学童保育などの子育てしやすい環境を整える
3. 介護ヘルパーなど福祉施策を充実させる
4. 労働時間の短縮やフレックスタイム制を導入する
5. 介護や子育てのための休暇を取りやすくする
6. 職場や家族などの周囲が、女性が働くことへの理解を深める
7. わからない
8. その他(具体的に)

男女が共に仕事と家庭を両立するために必要なことについては、「パートナーが互いに協力し合い家事・子育てを行う」が49.2%、「保育園、学童保育などの子育てしやすい環境を整える」が13.9%となっています。

「パートナーが互いに協力し合い家事・子育てを行う」の割合を性別で見ると、男性が43.5%、女性が53.4%で、女性のほうが多くなっています。



問24 仕事と家庭を両立するために必要なこと	1 パートナーが互いに協力し合い家事・子育てを行う	2 保育園、学童保育などの子育てしやすい環境を整える	3 介護ヘルパーなど福祉施策を充実させる	4 労働時間の短縮やフレックスタイム制を導入する	5 介護や子育てのための休暇を取りやすくする	6 職場や家族などの周囲が、女性が働くことへの理解を深める	7 わからない	8 その他	無回答	回答者数	
全体	49.2	13.9	7.6	9.6	5.6	8.6	3.0	0.3	2.3	303	
性別	男性	43.5	18.5	8.9	11.3	5.6	7.3	2.4	0.8	1.6	124
	女性	53.4	10.7	6.7	8.4	5.6	9.6	3.4	0.0	2.2	178
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	68.4	15.8	0.0	5.3	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0	19
	30～39歳	42.1	21.1	0.0	26.3	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0	19
	40～49歳	53.7	14.8	5.6	11.1	9.3	3.7	0.0	0.0	1.9	54
	50～59歳	51.5	16.7	7.6	6.1	4.5	7.6	3.0	1.5	1.5	66
	60～69歳	36.5	7.7	17.3	11.5	7.7	17.3	1.9	0.0	0.0	52
	70歳以上	49.5	12.9	6.5	7.5	3.2	8.6	6.5	0.0	5.4	93

(8) 社会参画について

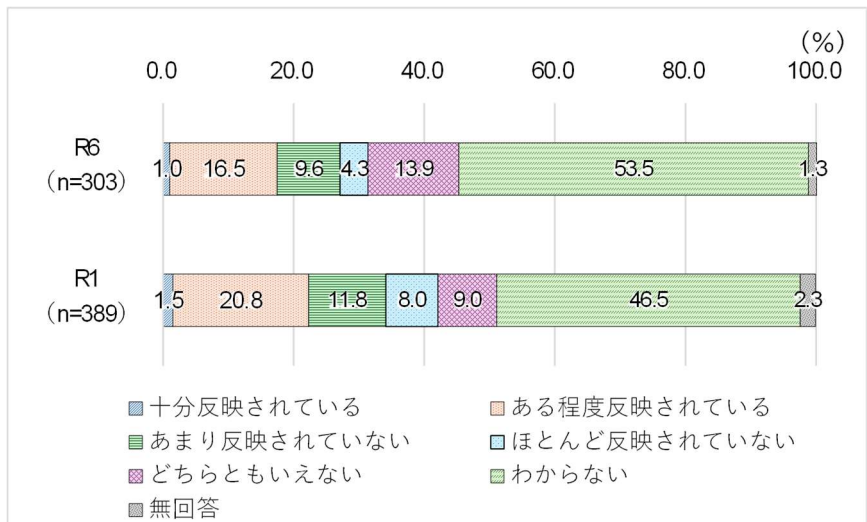
問25 あなたは市の施策について女性の意見や考え方がどの程度反映されていると思いますか。次の中から、あてはるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 十分反映されている | 4. ほとんど反映されていない |
| 2. ある程度反映されている | 5. どちらともいえない |
| 3. あまり反映されていない | 6. わからない |

市の施策における女性の意見や考え方の反映については、「わからない」が53.5%、「十分反映されている」「ある程度反映されている」を合わせた割合は17.5%、「あまり反映されていない」「ほとんど反映されていない」を合わせた値は13.9%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「十分反映されている」「ある程度反映されている」、「あまり反映されていない」「ほとんど反映されていない」の項目で減少しています。

年代別では、30～59歳、70歳以上で、「十分反映されている」「ある程度反映されている」の割合が、「あまり反映されていない」「ほとんど反映されていない」の割合を上回っています。



問25 市の施策への女性の意見の反映	1 十分反映されている	2 ある程度反映されている	3 あまり反映されている	4 ほとんど反映されている	5 どちらともいえない	6 わからない	無回答	回答者数	
全体	1.0	16.5	9.6	4.3	13.9	53.5	1.3	303	
性別	男性	1.6	23.4	13.7	2.4	8.1	49.2	1.6	124
	女性	0.6	11.8	6.7	5.6	18.0	56.7	0.6	178
	その他	-	-	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	5.3	10.5	21.1	0.0	5.3	57.9	0.0	19
	30～39歳	0.0	21.1	5.3	0.0	21.1	52.6	0.0	19
	40～49歳	0.0	18.5	9.3	7.4	16.7	46.3	1.9	54
	50～59歳	3.0	19.7	7.6	3.0	12.1	53.0	1.5	66
	60～69歳	0.0	11.5	9.6	5.8	11.5	61.5	0.0	52
	70歳以上	0.0	16.1	9.7	4.3	15.1	52.7	2.2	93

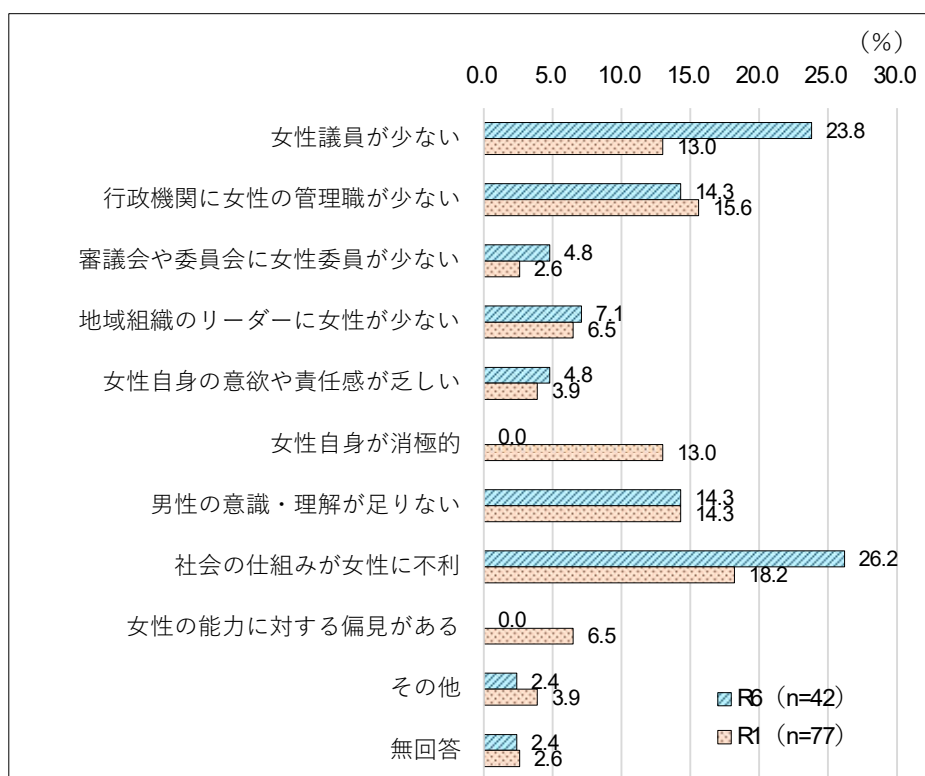
問25-1 問25で「3. あまり反映されていない」または「4. ほとんど反映されていない」と答えた方にお聞きします。そう思う理由は何ですか。次の中から、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 女性議員が少ない | 6. 女性自身が消極的 |
| 2. 行政機関に女性の管理職が少ない | 7. 男性の意識・理解が足りない |
| 3. 審議会や委員会に女性委員が少ない | 8. 社会の仕組みが女性に不利 |
| 4. 地域組織のリーダーに女性が少ない | 9. 女性の能力に対する偏見がある |
| 5. 女性自身の意欲や責任感が乏しい | 10. その他(具体的に) |

女性の意見や考え方が反映されていないと思う理由は、「社会の仕組みが女性に不利」が26.2%、「女性議員が少ない」が23.8%となっています。

令和元年度調査と比較すると、「社会の仕組みが女性に不利」は8ポイント増加し、「女性議員が少ない」も10.8ポイント増加しています。

性別では、男性は「女性議員が少ない」が30.0%、女性は「社会の仕組みが女性に不利」が27.3%で、それぞれ最も多くなっています。



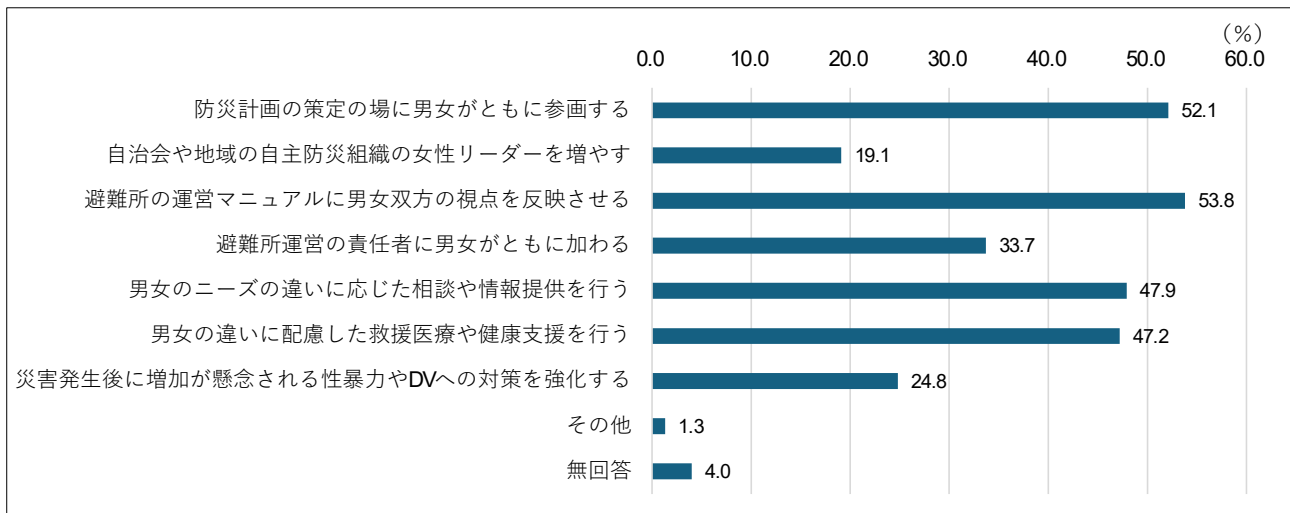
問25-1 反映されていないと思う理由	1 女性議員が少ない	2 行政機関に女性の管理職が少ない	3 審議会や委員会に女性委員が少ない	4 地域組織のリーダーに女性が少ない	5 女性自身の意欲や責任感が乏しい	6 女性自身が消極的	7 男性の意識・理解が足りない	8 社会の仕組みが女性に不利	9 女性の能力に対する偏見がある	10 その他	無回答	回答者数	
全体	23.8	14.3	4.8	7.1	4.8	0.0	14.3	26.2	0.0	2.4	2.4	42	
性別	男性	30.0	10.0	5.0	10.0	5.0	0.0	10.0	25.0	0.0	5.0	0.0	20
	女性	18.2	18.2	4.5	4.5	4.5	0.0	18.2	27.3	0.0	0.0	4.5	22
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	4
	30～39歳	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
	40～49歳	22.2	0.0	0.0	22.2	11.1	0.0	0.0	22.2	0.0	11.1	11.1	9
	50～59歳	42.9	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0	7
	60～69歳	12.5	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0	12.5	50.0	0.0	0.0	0.0	8
70歳以上	15.4	38.5	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	30.8	0.0	0.0	0.0	13	

(9) 防災について

問26 防災・災害対策において、男女共同参画を推進するために、どのようなことが必要だと思いますか。
次の中から、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 防災計画の策定の場に男女がともに参画する
2. 自治会や地域の自主防災組織の女性リーダーを増やす
3. 避難所の運営マニュアルに男女双方の視点を反映させる
4. 避難所運営の責任者に男女がともに加わる
5. 男女のニーズの違いに応じた相談や情報提供を行う
6. 男女の違いに配慮した救援医療や健康支援を行う
7. 災害発生後に増加が懸念される性暴力やDVへの対策を強化する
8. その他(具体的に)

防災・災害対策で男女共同参画を推進するためには、「避難所の運営マニュアルに男女双方の視点を反映させる」が53.8%、「防災計画の策定の場に男女がともに参画する」が52.1%などとなっています。



(n=303)

問26 防災・災害対策への男女共同参画	1 すに防 災計 画が とも 策 に 参 画 の 画 場	2 防 災 計 画 を 組 織 や の 地 域 の 自 主	3 点 を 反 映 さ せ る 視 点	4 に 避 難 所 が 運 営 の 責 任 者	5 提 供 を 行 う 相 談 や 情 報 提 供	6 援 助 を 行 う 医 療 や 健 康 支 援	7 す る 懸 念 の 対 策 を 強 化 す る	8 そ の 他	無 回 答	回 答 者 数
全体	52.1	19.1	53.8	33.7	47.9	47.2	24.8	1.3	4.0	303
性別										
男性	57.3	25.8	50.0	33.1	47.6	46.0	21.0	0.8	4.8	124
女性	48.9	14.0	56.7	33.7	48.3	48.3	27.5	1.7	3.4	178
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
年齢										
18～29歳	42.1	5.3	63.2	21.1	68.4	63.2	42.1	5.3	0.0	19
30～39歳	57.9	15.8	63.2	42.1	57.9	68.4	36.8	0.0	5.3	19
40～49歳	53.7	18.5	55.6	31.5	42.6	48.1	31.5	0.0	1.9	54
50～59歳	57.6	19.7	59.1	34.8	59.1	43.9	24.2	1.5	1.5	66
60～69歳	55.8	21.2	55.8	32.7	50.0	53.8	26.9	0.0	1.9	52
70歳以上	46.2	21.5	44.1	35.5	35.5	37.6	14.0	2.2	8.6	93

(10) DV（ドメスティック・バイオレンス）／女性に対する暴力について

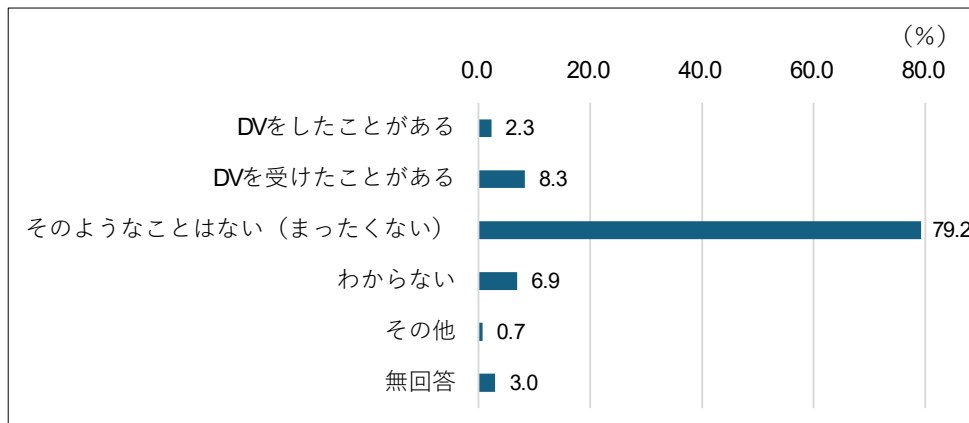
問27 あなたはこれまでに、パートナーに DV をしたこと、もしくは DV を受けたことがありますか。次の中から、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. DV をしたことがある
2. DV を受けたことがある
3. そのようなことはない(まったくない)
4. わからない
5. その他(具体的に)

※ DV とは、「夫婦間や恋人などの親しい間柄での身体的・性的・精神的な暴力」のことをいいます。

パートナーにDV（ドメスティック・バイオレンス）をしたこと、されたことの有無について、「そのようなことはない（まったくない）」が79.2%、「DVを受けたことがある」が8.3%、「DVをしたことがある」が2.3%となっています。

「DVを受けたことがある」を性別で見ると、女性は14.0%、男性は0%となっています。



(n=303)

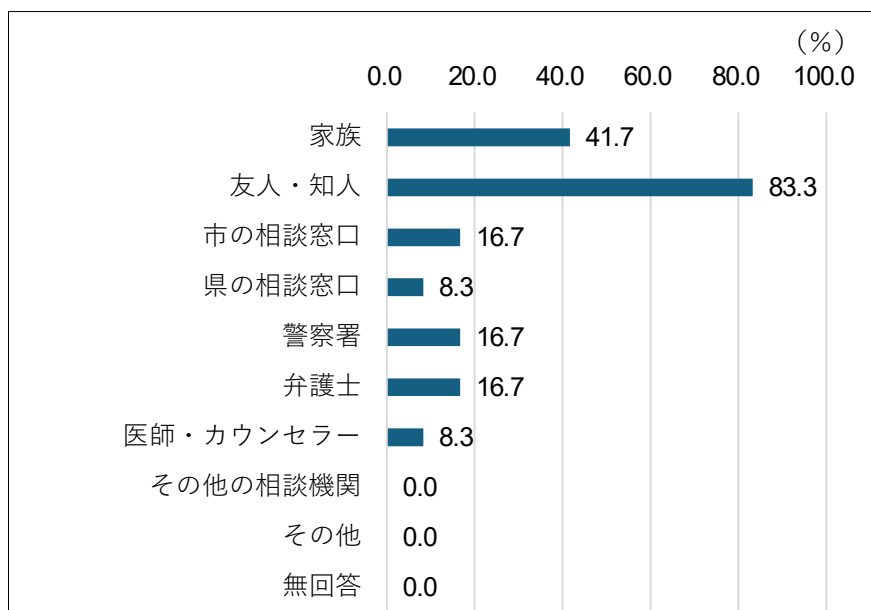
問27 DVを受けたこと、したこと	1 るDVをしたことがある	2 あるDVを受けたことがある	3 いそのよう(まったくない)	4 わからない	5 その他	無回答	回答者数
全体	2.3	8.3	79.2	6.9	0.7	3.0	303
性別	男性	4.0	84.7	8.1	0.8	2.4	124
	女性	1.1	14.0	75.8	6.2	0.6	178
	その他	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	0.0	5.3	94.7	0.0	0.0	19
	30～39歳	0.0	5.3	94.7	0.0	0.0	19
	40～49歳	1.9	5.6	79.6	9.3	0.0	54
	50～59歳	0.0	9.1	80.3	6.1	1.5	66
	60～69歳	3.8	13.5	75.0	9.6	0.0	52
	70歳以上	4.3	7.5	74.2	7.5	1.1	93

問28-1 問28で「1. 相談した」と答えた方にお聞きます。相談した相手等はどちらですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|-----------|---------------|
| 1. 家族 | 4. 県の相談窓口 | 7. 医師・カウンセラー |
| 2. 友人・知人 | 5. 警察署 | 8. その他の相談機関 |
| 3. 市の相談窓口 | 6. 弁護士 | 9. その他(具体的に) |

パートナーから受けた行為に関する相談相手については、「友人・知人」が83.3%、「家族」が41.7%となっています。

※回答者数は12名であり、基数が不足しているため参考扱いとする。



(n=12)

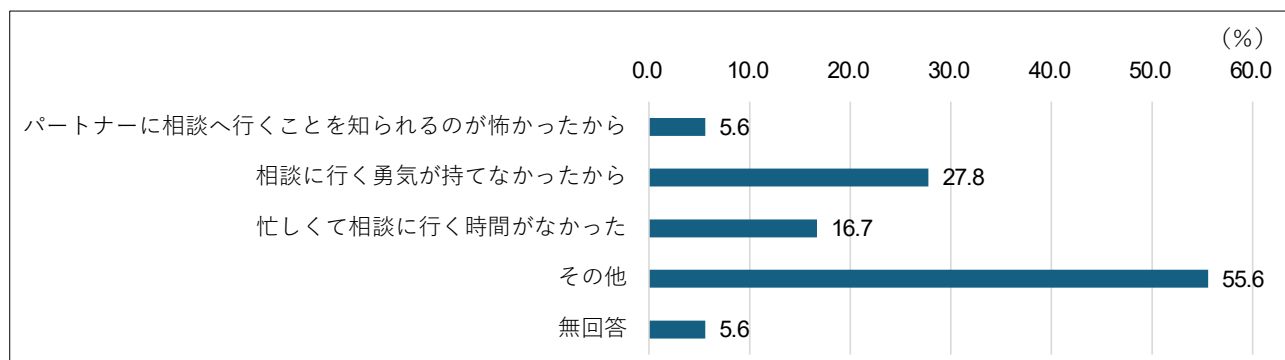
問28-1 DVの相談相手	1 家族	2 友人・知人	3 市の相談窓口	4 県の相談窓口	5 警察署	6 弁護士	7 医師・カウンセラー	8 その他の相談機関	9 その他	無回答	回答者数
全体	41.7	83.3	16.7	8.3	16.7	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	12
性別	男性	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
	女性	45.5	81.8	18.2	9.1	18.2	18.2	9.1	0.0	0.0	11
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
	30～39歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	40～49歳	50.0	100.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	2
	50～59歳	33.3	66.7	0.0	0.0	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	3
	60～69歳	66.7	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3
	70歳以上	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3

問28-2 問28で「2 . 相談できなかった」または「3 . 相談しようと思わなかった」と回答した方にお聞きします。相談しなかった理由はなんですか。次の中から、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. パートナーに相談へ行くことを知られるのが怖かったから
2. 相談に行く勇気が持てなかったから
3. 忙しくて相談に行く時間がなかった
4. その他(具体的に)

相談していない理由については、「その他」が最も割合が高く 55.6%となっており、「他人に相談するほどのことではない」などが挙げられています。

※回答者数は 18 名であり、基数が不足しているため参考扱いとする。



(n=18)

問28-2 DVを相談しなかった理由	1	2	3	4	無回答	回答者数	
全体の理由	5.6	27.8	16.7	55.6	5.6	18	
性別	男性	0.0	25.0	0.0	50.0	25.0	4
	女性	7.1	28.6	21.4	57.1	0.0	14
	その他	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	-	-	-	-	-	0
	30～39歳	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	1
	40～49歳	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	2
	50～59歳	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	3
	60～69歳	0.0	25.0	25.0	75.0	0.0	4
	70歳以上	0.0	50.0	12.5	37.5	12.5	8

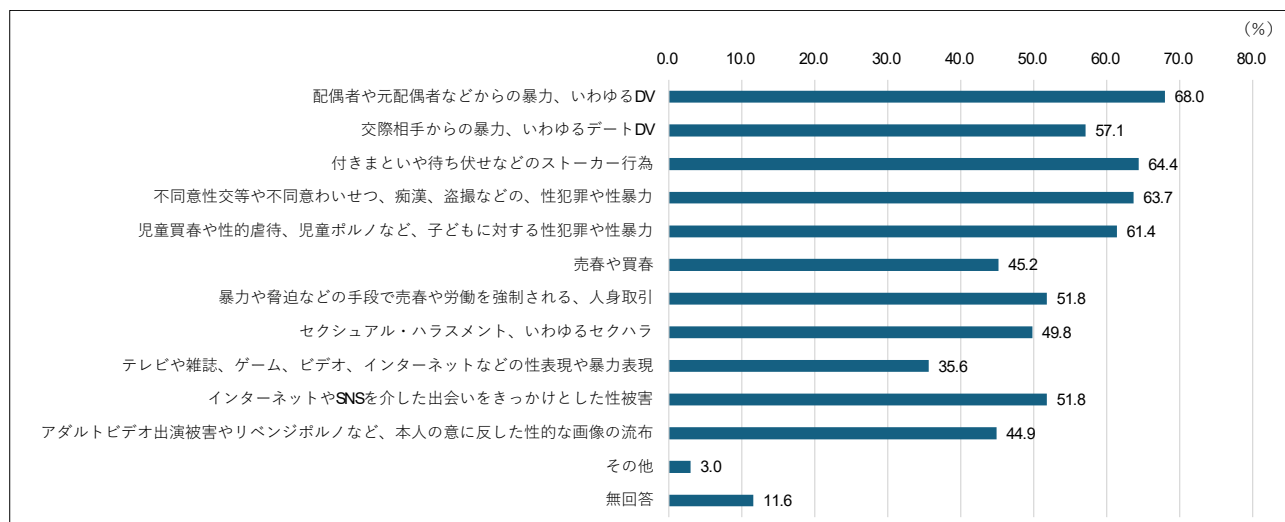
【相談しなかった理由「その他」の記述内容 (抄)】

- ・ ひんぱんに行われていたわけではなかったから。
- ・ 特別に強いDVとは考えないから
- ・ 軽度?の言葉の暴力だったので。
- ・ 自分の行動に問題があった
- ・ 相手にお返しした!
- ・ 相談する場所がわからなかった。
- ・ 相談するものだとは知らなかった
- ・ DVの認識がなかった
- ・ 暴力ではなく精神的なものだったから

問29 女性に対する暴力の根絶を図るため、あなたが、対策が必要だと考えるのはどれですか。次の中から、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 配偶者や元配偶者などからの暴力、いわゆるDV
2. 交際相手からの暴力、いわゆるデートDV
3. 付きまといや待ち伏せなどのストーカー行為
4. 不同意性交等や不同意わいせつ、痴漢、盗撮などの、性犯罪や性暴力
5. 児童買春や性的虐待、児童ポルノなど、子どもに対する性犯罪や性暴力
6. 売春や買春
7. 暴力や脅迫などの手段で売春や労働を強制される、人身取引
8. セクシュアル・ハラスメント、いわゆるセクハラ
9. テレビや雑誌、ゲーム、ビデオ、インターネットなどの性表現や暴力表現
10. インターネットやSNSを介した出会いをきっかけとした性被害
11. アダルトビデオ出演被害やリベンジポルノなど、本人の意に反した性的な画像の流布
12. その他(具体的に)

女性に対する暴力根絶のため必要な対策は、「配偶者や元配偶者などからの暴力、いわゆるDV」が68.0%、「付きまといや待ち伏せなどのストーカー行為」が64.4%、「不同意性交等や不同意わいせつ、痴漢、盗撮などの、性犯罪や性暴力」が63.7%で比較的多くなっていますが、各対策とも35%以上となっています。



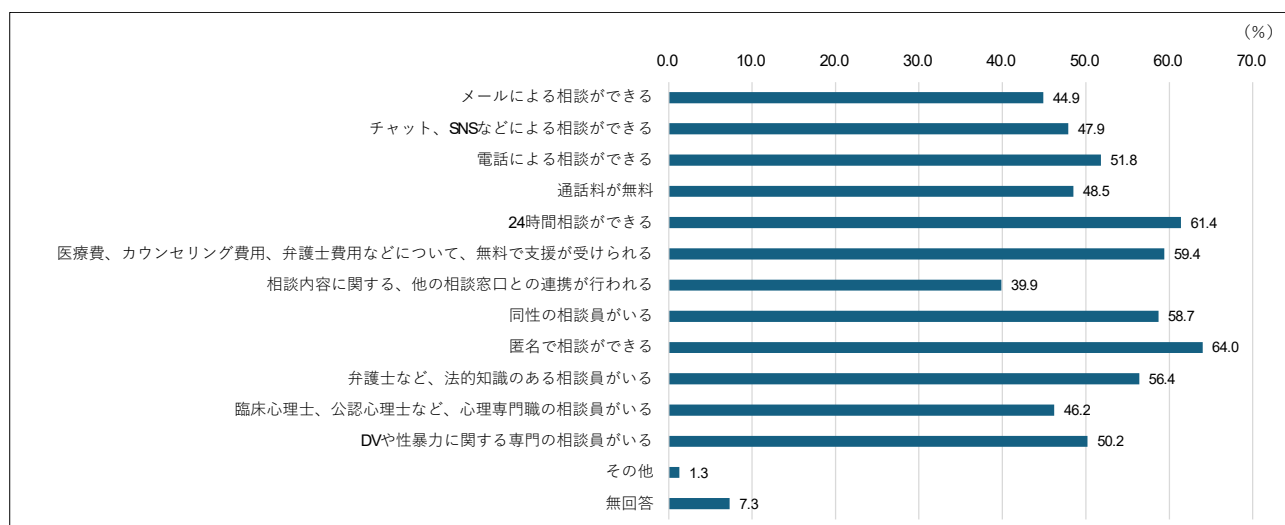
(n=303)

問29 女性への暴力をなくすため必要なこと	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	無回答	回答者数	
	配偶者の暴力、元配偶者などからDVを受ける	交際相手からの暴力、いわゆるデートDV	付きまといや待ち伏せなどのストーーカー行為	不同意性交等や不同意わいのせつ、痴漢、盗撮など	児童買春や性的虐待、児童ポルノなど、子どもに対する性犯罪や性暴力	売春や買春	暴力や脅迫などの手段で、売春や労働を強制される、人身取引	セクシュアル・ハラースメント、いわゆるセクハラ	テレビや雑誌、ゲーム、ビデオ、インターネットなどの性表現や暴力表現	インターネットやSNSを介した出会いをきっかけとした被害	画像の流布に反した性的な	アダルトビデオ出演被害	その他		
全体	68.0	57.1	64.4	63.7	61.4	45.2	51.8	49.8	35.6	51.8	44.9	3.0	11.6	303	
性別	男性	69.4	53.2	63.7	66.1	59.7	41.1	54.0	46.0	26.6	48.4	40.3	1.6	9.7	124
	女性	67.4	60.1	65.2	62.4	62.9	48.3	50.6	52.8	42.1	54.5	48.3	3.9	12.4	178
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	78.9	73.7	84.2	89.5	78.9	52.6	63.2	73.7	21.1	52.6	52.6	0.0	0.0	19
	30～39歳	84.2	84.2	89.5	84.2	78.9	68.4	63.2	63.2	47.4	52.6	57.9	0.0	0.0	19
	40～49歳	85.2	72.2	77.8	72.2	72.2	61.1	64.8	63.0	37.0	59.3	55.6	3.7	7.4	54
	50～59歳	75.8	71.2	66.7	62.1	62.1	43.9	53.0	53.0	27.3	48.5	47.0	1.5	9.1	66
	60～69歳	73.1	59.6	71.2	71.2	71.2	50.0	57.7	55.8	55.8	63.5	59.6	5.8	7.7	52
	70歳以上	44.1	28.0	41.9	46.2	41.9	28.0	35.5	29.0	30.1	43.0	24.7	3.2	22.6	93

問30 あなたは、女性に対する暴力や様々な悩みなどに関する相談窓口などで対応が必要と考えることは何ですか。次の中から、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. メールによる相談ができる
2. チャット、SNS などによる相談ができる
3. 電話による相談ができる
4. 通話料が無料
5. 24 時間相談ができる
6. 医療費、カウンセリング費用、弁護士費用などについて、無料で支援が受けられる
7. 相談内容に関する、他の相談窓口との連携が行われる
8. 同性の相談員がいる
9. 匿名で相談ができる
10. 弁護士など、法的知識のある相談員がいる
11. 臨床心理士、公認心理士など、心理専門職の相談員がいる
12. DV や性暴力に関する専門の相談員がいる
13. その他(具体的に)

相談窓口などで対応が必要なことは、「匿名で相談ができる」が64.0%、「24時間相談ができる」が61.4%で比較的多くなっていますが、各対策とも約40%以上となっています。



(n=303)

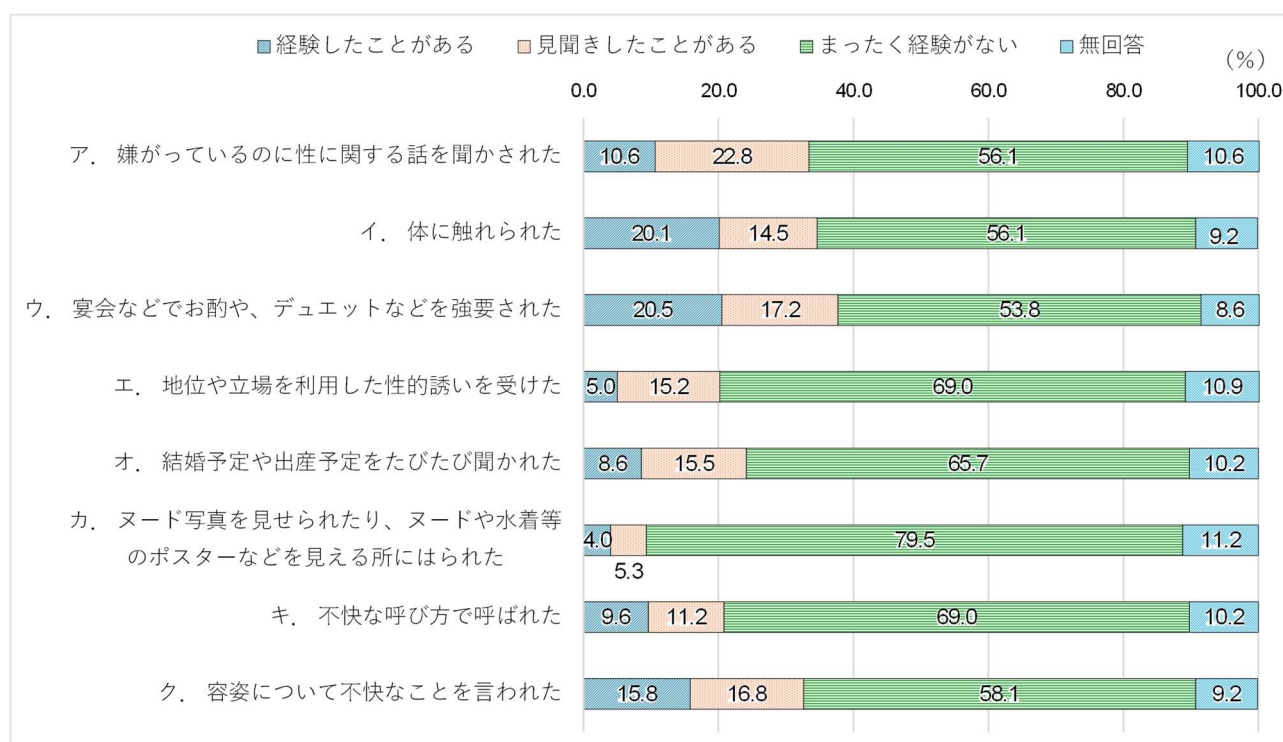
問30 相談窓口 で必要な対応	1 メールによる 相談ができる	2 チャット、SNS などによる 相談ができる	3 電話による 相談ができる	4 通話料が無料	5 24時間 相談ができる	6 医療費、 カウンセリング 費用など 無料で支 援が受け られる	7 相談内容 との連携が 行われる	8 同性の 相談員が いる	9 匿名で 相談がで きる	10 弁護士 など、法 的知識の ある相談 員がいる	11 臨床心 理士、公 認心理士 など、専 門職の相 談員が いる	12 DVや性 暴力に関 する専門 の相談員 がいる	13 その他	無 回 答	回 答 者 数	
全体	44.9	47.9	51.8	48.5	61.4	59.4	39.9	58.7	64.0	56.4	46.2	50.2	1.3	7.3	303	
性別	男性	46.8	47.6	53.2	46.0	59.7	56.5	40.3	58.9	62.9	58.9	46.0	50.8	1.6	5.6	124
	女性	43.8	48.3	51.1	50.6	62.9	61.8	39.9	59.0	65.2	55.1	46.6	50.0	1.1	7.9	178
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	36.8	63.2	31.6	47.4	84.2	78.9	31.6	84.2	78.9	57.9	52.6	57.9	0.0	0.0	19
	30～39歳	57.9	73.7	47.4	47.4	78.9	78.9	42.1	68.4	78.9	68.4	57.9	63.2	0.0	0.0	19
	40～49歳	46.3	66.7	53.7	61.1	70.4	64.8	46.3	72.2	66.7	57.4	51.9	61.1	1.9	3.7	54
	50～59歳	60.6	62.1	45.5	48.5	62.1	62.1	40.9	71.2	71.2	63.6	56.1	60.6	1.5	4.5	66
	60～69歳	51.9	50.0	63.5	53.8	61.5	61.5	50.0	57.7	73.1	69.2	57.7	59.6	3.8	3.8	52
	70歳以上	28.0	17.2	53.8	38.7	47.3	45.2	31.2	35.5	46.2	40.9	25.8	26.9	0.0	16.1	93

(11) セクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）について

問31 あなたはこれまでに、職場や学校などでセクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)を受けたり、見聞きしたことがありますか。

次のア～ケの項目ごとに、あてはまるものを1つずつ選んで○をつけてください。

職場や学校などでのセクシュアル・ハラスメント（性的嫌がらせ）について、「経験したことがある」は、「宴会などでお酌や、デュエットなどを強要された」が20.5%「体に触れられた」が20.1%、「容姿について不快なことを言われた」が15.8%となっています。



(n=303)

※「ケ その他」については、回答は0件でした。

■ア 嫌がっているのに性に関する話を聞かされた

問31 ア. 嫌がっているのに性に関する話を聞かされた		1 経験したことがある	2 見る見聞きしたことがある	3 まったく経験がない	無回答	回答者数
全体		10.6	22.8	56.1	10.6	303
性別	男性	2.4	25.8	58.9	12.9	124
	女性	16.3	20.8	54.5	8.4	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	15.8	10.5	73.7	0.0	19
	30～39歳	5.3	31.6	63.2	0.0	19
	40～49歳	14.8	24.1	57.4	3.7	54
	50～59歳	9.1	33.3	54.5	3.0	66
	60～69歳	15.4	23.1	51.9	9.6	52
	70歳以上	6.5	15.1	53.8	24.7	93

■イ 体に触れられた

問31 イ. 体に触れられた		1 経験したことがある	2 見る見聞きしたことがある	3 まったく経験がない	無回答	回答者数
全体		20.1	14.5	56.1	9.2	303
性別	男性	3.2	17.7	68.5	10.5	124
	女性	32.0	12.4	47.8	7.9	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	26.3	21.1	52.6	0.0	19
	30～39歳	26.3	26.3	47.4	0.0	19
	40～49歳	29.6	11.1	55.6	3.7	54
	50～59歳	22.7	13.6	60.6	3.0	66
	60～69歳	17.3	19.2	59.6	3.8	52
	70歳以上	11.8	10.8	53.8	23.7	93

■ウ 宴会などでお酌やデュエットなどを強要された

問31 ウ. 宴会などでお酌や、デュエットなどを強要された		1 経験したことがある	2 見る見聞きしたことがある	3 まったく経験がない	無回答	回答者数
全体		20.5	17.2	53.8	8.6	303
性別	男性	4.8	26.6	58.9	9.7	124
	女性	31.5	10.7	50.6	7.3	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	15.8	0.0	84.2	0.0	19
	30～39歳	15.8	15.8	68.4	0.0	19
	40～49歳	20.4	16.7	59.3	3.7	54
	50～59歳	25.8	19.7	53.0	1.5	66
	60～69歳	32.7	21.2	42.3	3.8	52
	70歳以上	11.8	17.2	48.4	22.6	93

■エ 地位や立場を利用した性的誘いを受けた

問31 エ. 地位や立場を利用した性的誘いを受けた		1 経験したことがある	2 見る見聞きしたことがある	3 まったく経験がない	無回答	回答者数
全体		5.0	15.2	69.0	10.9	303
性別	男性	0.8	16.1	71.0	12.1	124
	女性	7.9	14.6	68.0	9.6	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	0.0	15.8	84.2	0.0	19
	30～39歳	10.5	10.5	78.9	0.0	19
	40～49歳	5.6	14.8	75.9	3.7	54
	50～59歳	7.6	16.7	71.2	4.5	66
	60～69歳	3.8	25.0	65.4	5.8	52
	70歳以上	3.2	9.7	60.2	26.9	93

■オ 結婚予定や出産予定をたびたび聞かれた

問31 オ. 結婚予定や出産予定をたびたび聞かれた		1 経験したことがある	2 見る見聞きしたことがある	3 まったく経験がない	無回答	回答者数
全体		8.6	15.5	65.7	10.2	303
性別	男性	0.8	18.5	68.5	12.1	124
	女性	14.0	13.5	64.0	8.4	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	15.8	5.3	78.9	0.0	19
	30～39歳	5.3	26.3	68.4	0.0	19
	40～49歳	14.8	16.7	63.0	5.6	54
	50～59歳	12.1	16.7	68.2	3.0	66
	60～69歳	7.7	23.1	63.5	5.8	52
	70歳以上	2.2	9.7	63.4	24.7	93

■カ ノード写真を見せられたり、ノードや水着等のポスターなどを見える所にはられた

問31 カ. ノード写真を見せられたり、ノードや水着等のポスターなどを見える所にはられた		1 経験したことがある	2 見る見聞きしたことがある	3 まったく経験がない	無回答	回答者数
全体		4.0	5.3	79.5	11.2	303
性別	男性	2.4	6.5	79.0	12.1	124
	女性	5.1	4.5	80.3	10.1	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	0.0	5.3	94.7	0.0	19
	30～39歳	0.0	5.3	89.5	5.3	19
	40～49歳	5.6	5.6	83.3	5.6	54
	50～59歳	4.5	3.0	89.4	3.0	66
	60～69歳	5.8	3.8	82.7	7.7	52
	70歳以上	3.2	7.5	63.4	25.8	93

■キ 不快な呼び方で呼ばれた

問31 キ. 不快な呼び方で呼ばれた		1 経験したことがある	2 見る見聞きしたことがある	3 まったく経験がない	無回答	回答者数
全体		9.6	11.2	69.0	10.2	303
性別	男性	4.8	16.1	66.9	12.1	124
	女性	12.9	7.9	70.8	8.4	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	15.8	5.3	78.9	0.0	19
	30～39歳	21.1	15.8	63.2	0.0	19
	40～49歳	11.1	11.1	72.2	5.6	54
	50～59歳	9.1	16.7	71.2	3.0	66
	60～69歳	11.5	13.5	71.2	3.8	52
	70歳以上	4.3	6.5	63.4	25.8	93

■ク 容姿について不快なことを言われた

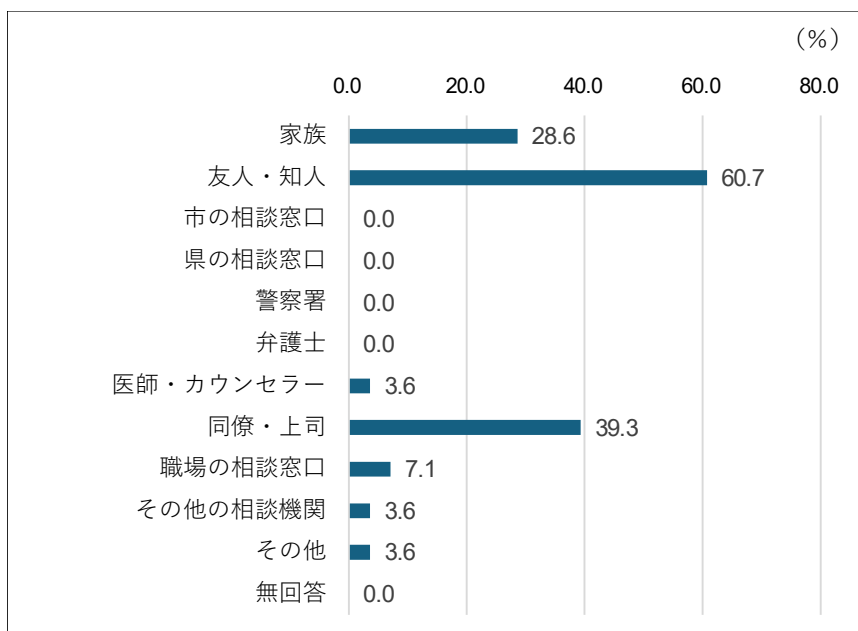
問31 ク. 容姿について不快なことを言われた		1 経験したことがある	2 見る見聞きしたことがある	3 まったく経験がない	無回答	回答者数
全体		15.8	16.8	58.1	9.2	303
性別	男性	7.3	21.0	61.3	10.5	124
	女性	21.9	14.0	56.2	7.9	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	21.1	10.5	68.4	0.0	19
	30～39歳	31.6	5.3	63.2	0.0	19
	40～49歳	18.5	13.0	63.0	5.6	54
	50～59歳	21.2	21.2	56.1	1.5	66
	60～69歳	13.5	28.8	53.8	3.8	52
	70歳以上	7.5	12.9	55.9	23.7	93

問32-1 問32で「1.相談した」と回答した方にお聞きします。相談した相手等はどちらですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|--------------|--------------|
| 1. 家族 | 5. 警察署 | 9. 職場の相談窓口 |
| 2. 友人・知人 | 6. 弁護士 | 10. その他の相談機関 |
| 3. 市の相談窓口 | 7. 医師・カウンセラー | 11. その他 |
| 4. 県の相談窓口 | 8. 同僚・上司 | (具体的に) |

セクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)をされたことについての相談相手は、「友人・知人」が60.7%となっています。

※回答者数は28名であり、基数が不足しているため参考扱いとする。



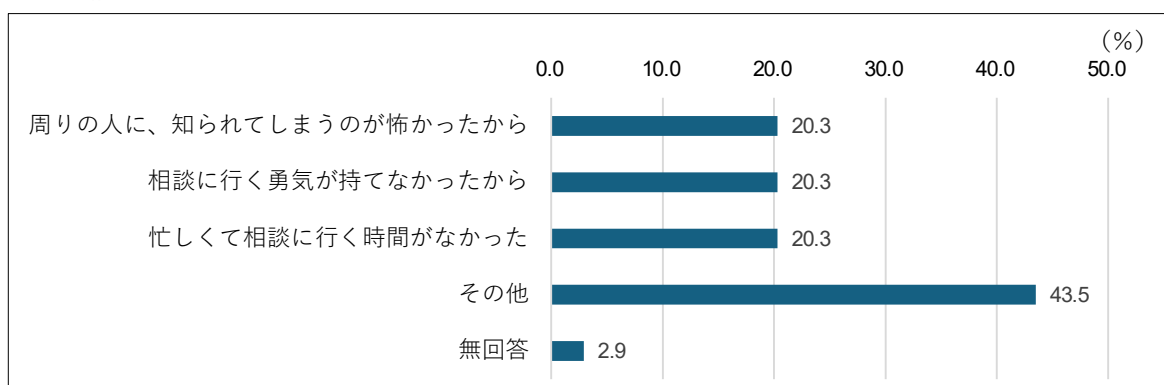
(n=28)

問32-1 セクハラ相談相手	1 家族	2 友人・知人	3 市の相談窓口	4 県の相談窓口	5 警察署	6 弁護士	7 医師・カウンセラー	8 同僚・上司	9 職場の相談窓口	10 その他の相談機関	11 その他	無回答	回答者数
全体	28.6	60.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	39.3	7.1	3.6	3.6	0.0	28
性別	男性	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3
	女性	32.0	64.0	0.0	0.0	0.0	0.0	36.0	8.0	4.0	4.0	0.0	25
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
年齢	18~29歳	66.7	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	6
	30~39歳	33.3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	3
	40~49歳	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	5
	50~59歳	22.2	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	55.6	0.0	11.1	11.1	9
	60~69歳	25.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4
	70歳以上	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1

問32-2 問32で「2. 相談できなかった」または「3. 相談しようと思わなかった」と回答した方にお聞きします。相談しなかった理由はなんですか。次の中から、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 周りの人に、知られてしまうのが怖かったから
2. 相談に行く勇気が持てなかったから
3. 忙しくて相談に行く時間がなかった
4. その他(具体的に)

相談していない理由については、「その他」が43.5%となっており、「昔はあたり前な雰囲気があったから」、「自分で解決した」、「職場を辞めた」、「どこに相談すれば良いのか、わからなかった」などの記述がありました。



(n=69)

問32-2 セクハラを相談しなかった理由	1	2	3	4	無回答	回答者数	
全体	20.3	20.3	20.3	43.5	2.9	69	
性別	男性	18.2	27.3	0.0	36.4	18.2	11
	女性	20.7	19.0	24.1	44.8	0.0	58
	その他	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	-	-	-	-	-	0
	30～39歳	16.7	0.0	33.3	33.3	16.7	6
	40～49歳	35.3	11.8	23.5	35.3	5.9	17
	50～59歳	13.3	26.7	20.0	46.7	0.0	15
	60～69歳	15.4	15.4	15.4	61.5	0.0	13
70歳以上	16.7	33.3	16.7	38.9	0.0	18	

【相談しなかった理由「その他」の記述内容 (抄)】

- ・昔はあたり前な雰囲気があったから
- ・職場を辞めた。
- ・自分自身で気にしないようにした
- ・自分で解決した。
- ・どこに相談すれば良いのか、わからなかった。
- ・そこまで深刻に考えていなかった。
- ・相談しても問題は解決されないから
- ・相談するほどではなかったから
- ・面倒だから
- ・相談して不当な扱いを受けたくなかったから (相談しても改善しないから)

(12) 人権・相談について

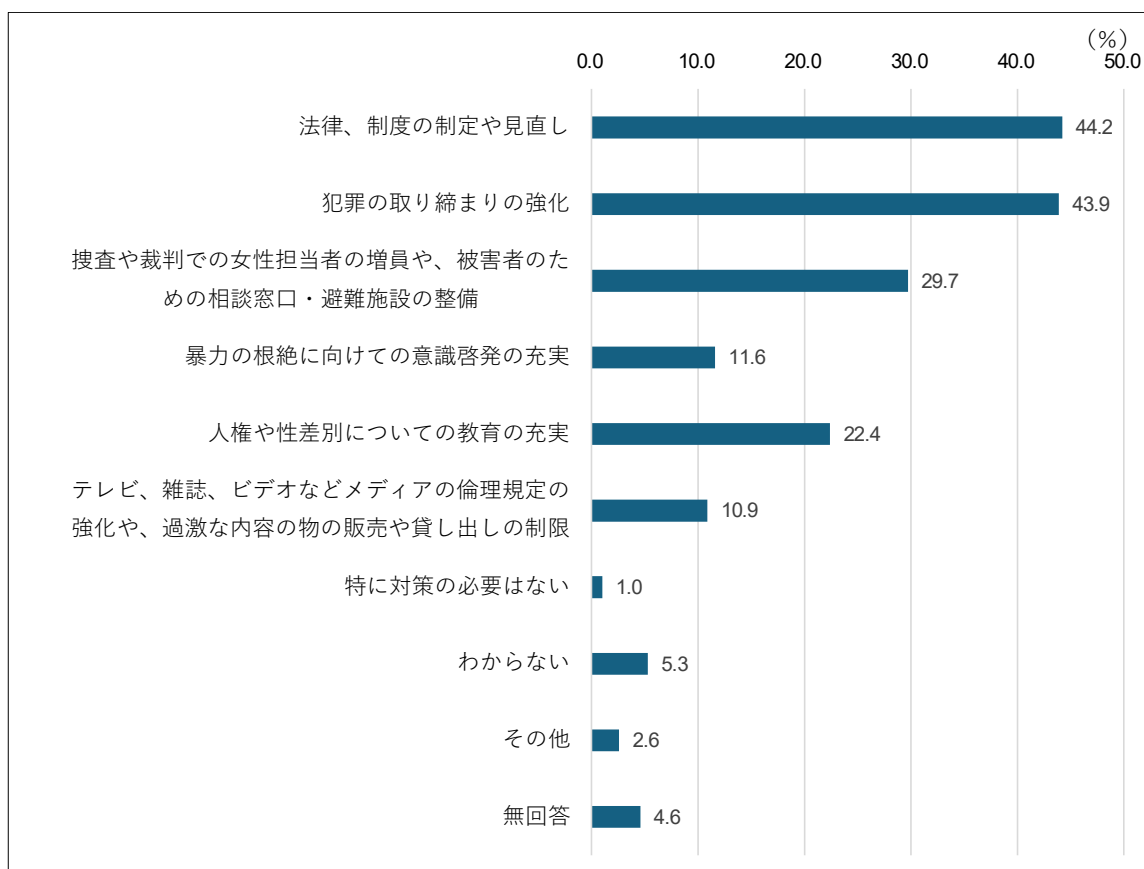
問33 性犯罪やDV(ドメスティック・バイオレンス)、セクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)など、人権を無視した行為をなくすためには、どのようにしたらよいと思いますか。

次の中から、すぐに講じてほしいと思うものを2つまで選んで○をつけてください。

1. 法律、制度の制定や見直し
2. 犯罪の取り締まりの強化
3. 捜査や裁判での女性担当者の増員や、被害者のための相談窓口・避難施設の整備
4. 暴力の根絶に向けての意識啓発の充実
5. 人権や性差別についての教育の充実
6. テレビ、雑誌、ビデオなどメディアの倫理規定の強化や、過激な内容の物の販売や貸し出しの制限
7. 特に対策の必要はない
8. わからない
9. その他(具体的に)

性犯罪やDV等の行為をなくすために必要なことについては、「法律、制度の制定や見直し」が44.2%、「犯罪の取り締まりの強化」が43.9%となっています。

性別では、男性は「犯罪の取り締まりの強化」が52.4%、女性は「法律、制度の制定や見直し」が41.0%で、それぞれ多くなっています。



(n=303)

問33 人権を無視した行為をなくすため	1 し法律、制度の制定や見直し	2 犯罪の取り締まりの強化	3 の整備 の増員や、被害者の対応	4 識暴力の根絶に向けての意識啓発の充実	5 教人権や性差別についての教育の充実	6 の強化や、過激な内容の制限 の販売や貸し出しの内容の制限	7 特に対策の必要はない	8 わからない	9 その他	無回答	回答者数
全体	44.2	43.9	29.7	11.6	22.4	10.9	1.0	5.3	2.6	4.6	303
性別	男性	49.2	52.4	25.0	11.3	17.7	1.6	7.3	0.8	2.4	124
	女性	41.0	38.2	33.1	11.8	25.8	0.6	3.9	3.9	5.6	178
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	47.4	68.4	52.6	0.0	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	19
	30～39歳	57.9	31.6	42.1	0.0	26.3	0.0	5.3	5.3	10.5	19
	40～49歳	59.3	51.9	27.8	18.5	13.0	5.6	0.0	3.7	0.0	54
	50～59歳	51.5	47.0	30.3	9.1	25.8	6.1	1.5	3.0	4.5	66
	60～69歳	38.5	44.2	30.8	17.3	28.8	7.7	0.0	1.9	5.8	52
70歳以上	30.1	34.4	22.6	10.8	22.6	21.5	1.1	10.8	0.0	10.8	93

問34 あなたは「セクシュアル・マイノリティ(性的少数者)」という言葉を知っていますか。

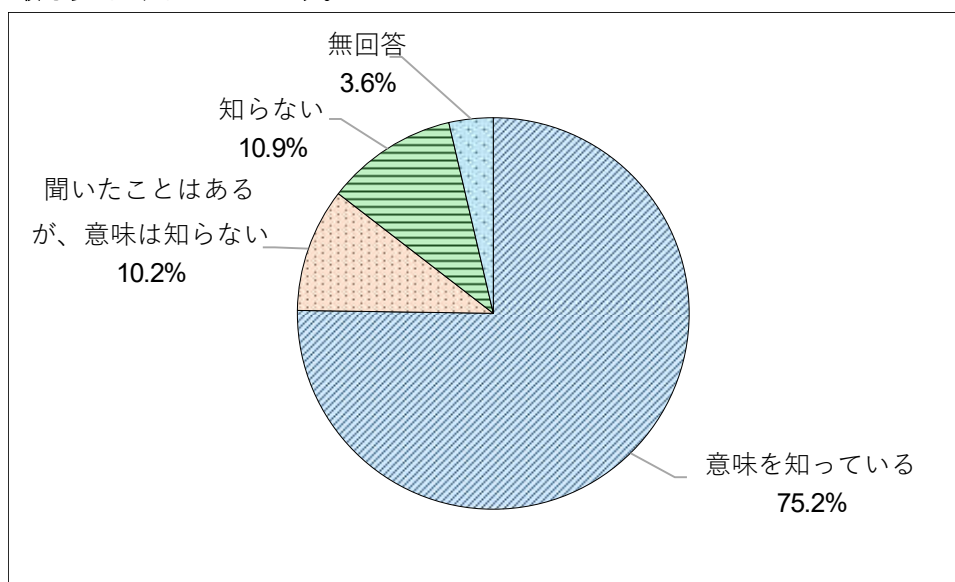
次の中から、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- 1. 意味を知っている
- 2. 聞いたことはあるが、意味は知らない
- 3. 知らない

※セクシュアル・マイノリティ(性的少数者)とは、身体の性と自分が認識する性が一致しない人や、恋愛感情などの性的な意識が同性または両性に向かう人などのことをいいます。

「セクシュアル・マイノリティ (性的少数者)」という言葉の認識については、「意味を知っている」が最も割合が高く 75.2%となっています。

「意味を知っている」の割合を年代別で見ると、60～69 歳が 90.4%で最も多く、70 歳以上が 55.9%で最も少なくなっています。



(n=303)

問34 セクシュアル・マイノリティという言葉の認知		1 意味を知っている	2 が聞いたことは知らない	3 知らない	無回答	回答者数
全体		75.2	10.2	10.9	3.6	303
性別	男性	78.2	8.1	10.5	3.2	124
	女性	73.6	11.8	11.2	3.4	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	89.5	5.3	5.3	0.0	19
	30～39歳	84.2	10.5	5.3	0.0	19
	40～49歳	77.8	7.4	11.1	3.7	54
	50～59歳	81.8	4.5	10.6	3.0	66
	60～69歳	90.4	5.8	3.8	0.0	52
	70歳以上	55.9	19.4	17.2	7.5	93

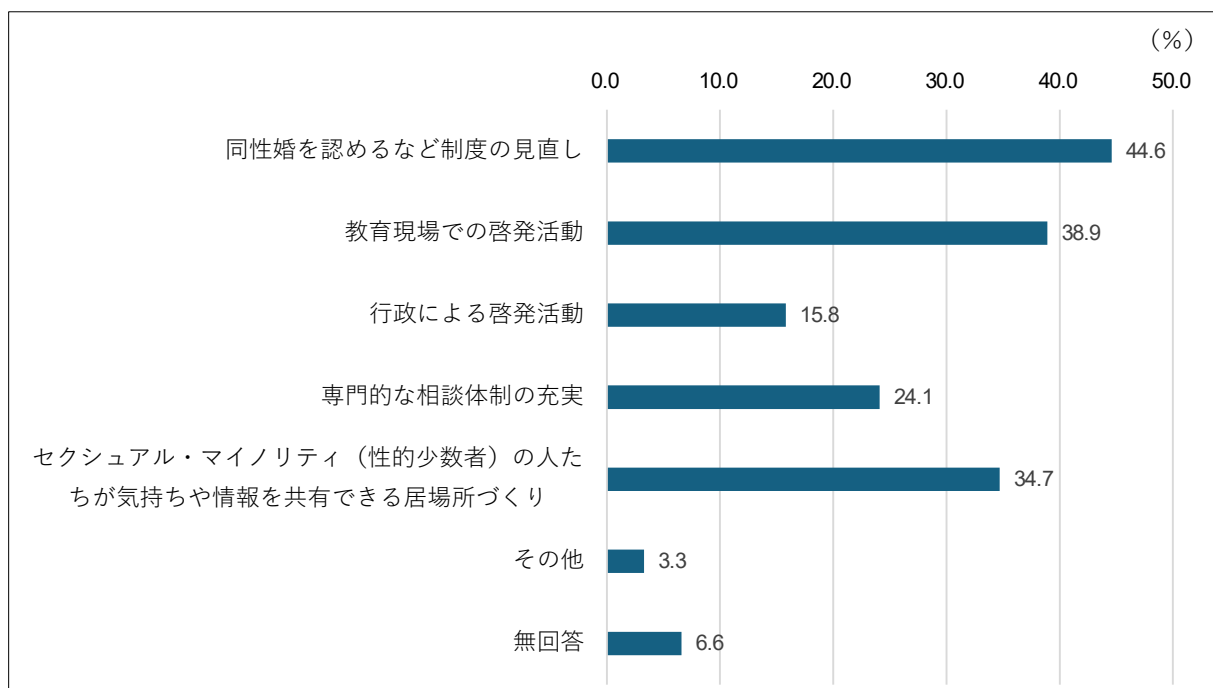
問36 あなたは「セクシュアル・マイノリティ(性的少数者)」の人たちが暮らしやすい社会を目指すために、どのようなことが必要だと思いますか。

次の中から、あてはまるものを2つまで選んで○をつけてください。

1. 同性婚を認めるなど制度の見直し
2. 教育現場での啓発活動
3. 行政による啓発活動
4. 専門的な相談体制の充実
5. セクシュアル・マイノリティ(性的少数者)の人たちが気持ちや情報を共有できる居場所づくり
6. その他(具体的に)

「セクシュアル・マイノリティ(性的少数者)」の人たちが暮らしやすい社会を目指すために必要なことについては、「同性婚を認めるなど制度の見直し」が44.6%、「教育現場での啓発活動」が38.9%となっています。

「同性婚を認めるなど制度の見直し」を年代別で見ると、40歳未満では70%前後、40歳以上では40%前後となっています。



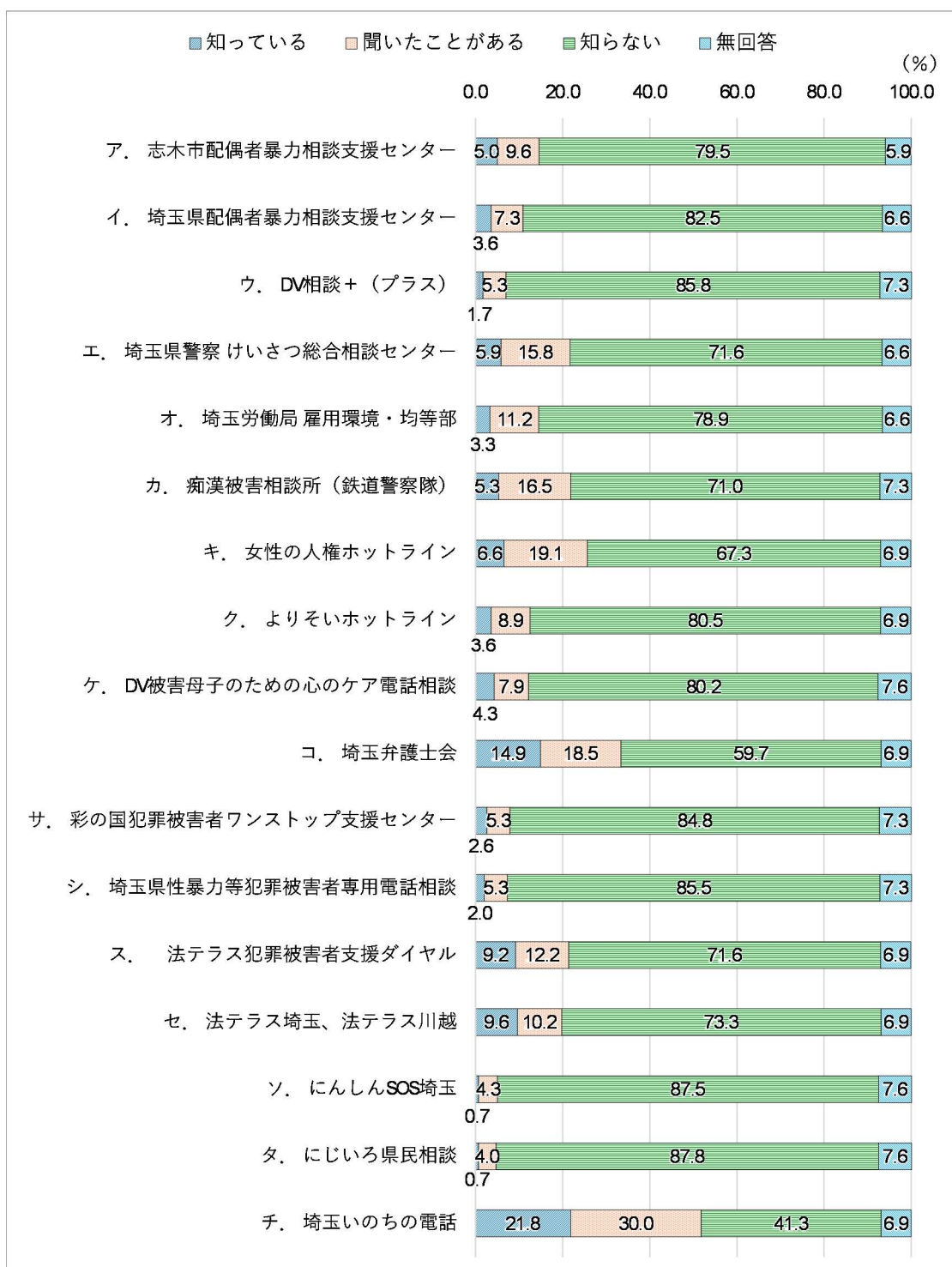
(n=303)

問36 セクシュアル・マイノリティの人たちが暮らしやすい社会	1 同性婚を認めるなど制度の見直し	2 教育現場での啓発活動	3 行政による啓発活動	4 専門的な相談体制の充実	5 セクシュアル・マイノリティ（性的少数者）の気持ちや情報を共有する居場所づくり	6 その他	無回答	回答者数	
全体	44.6	38.9	15.8	24.1	34.7	3.3	6.6	303	
性別	男性	38.7	36.3	25.0	25.8	29.0	3.2	4.0	124
	女性	48.9	41.0	9.6	23.0	38.8	3.4	7.9	178
	その他	-	-	-	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	73.7	26.3	5.3	15.8	31.6	21.1	0.0	19
	30～39歳	68.4	57.9	15.8	21.1	31.6	0.0	0.0	19
	40～49歳	40.7	48.1	18.5	24.1	35.2	1.9	5.6	54
	50～59歳	37.9	37.9	18.2	27.3	34.8	1.5	6.1	66
	60～69歳	44.2	42.3	9.6	36.5	30.8	3.8	1.9	52
	70歳以上	40.9	31.2	18.3	17.2	37.6	2.2	12.9	93

問37 DV やセクシュアル・ハラスメント、女性の抱える様々な悩み等に関する相談窓口等が設置されています。あなたは、これらの相談窓口等をご存知ですか。

次のア～チの項目ごとに、あてはまるものを1つずつ選んで○をつけてください。

DVやセクシュアル・ハラスメント、女性の抱える様々な悩み等に関する相談窓口等について「知っている」のは、「埼玉いのちの電話」が21.8%、「埼玉弁護士会」が14.9%、「法テラス埼玉、法テラス川越」が9.6%などとなっています。



(n=303)

■ア. 志木市配偶者暴力相談支援センター

問37 ア. 志木市配偶者暴力相談支援センター		1 知っている	2 聞いたことがある	3 知らない	無回答	回答者数
全体		5.0	9.6	79.5	5.9	303
性別	男性	4.8	9.7	81.5	4.0	124
	女性	5.1	9.6	78.7	6.7	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	0.0	10.5	89.5	0.0	19
	30～39歳	0.0	10.5	89.5	0.0	19
	40～49歳	5.6	1.9	88.9	3.7	54
	50～59歳	9.1	10.6	77.3	3.0	66
	60～69歳	7.7	5.8	86.5	0.0	52
	70歳以上	2.2	15.1	67.7	15.1	93

■イ. 埼玉県配偶者暴力相談支援センター

問37 イ. 埼玉県配偶者暴力相談支援センター		1 知っている	2 聞いたことがある	3 知らない	無回答	回答者数
全体		3.6	7.3	82.5	6.6	303
性別	男性	4.0	6.5	84.7	4.8	124
	女性	3.4	7.9	81.5	7.3	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	0.0	10.5	89.5	0.0	19
	30～39歳	0.0	5.3	94.7	0.0	19
	40～49歳	3.7	1.9	88.9	5.6	54
	50～59歳	7.6	10.6	77.3	4.5	66
	60～69歳	5.8	1.9	92.3	0.0	52
	70歳以上	1.1	10.8	73.1	15.1	93

■ウ. DV相談+ (プラス)

問37 ウ. DV相談+ (プラス)		1 知っている	2 聞いたことがある	3 知らない	無回答	回答者数
全体		1.7	5.3	85.8	7.3	303
性別	男性	1.6	3.2	90.3	4.8	124
	女性	1.7	6.7	83.1	8.4	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	0.0	5.3	94.7	0.0	19
	30～39歳	0.0	5.3	94.7	0.0	19
	40～49歳	1.9	1.9	92.6	3.7	54
	50～59歳	1.5	6.1	86.4	6.1	66
	60～69歳	1.9	5.8	90.4	1.9	52
	70歳以上	2.2	6.5	75.3	16.1	93

■エ. 埼玉県警察 けいさつ総合相談センター

問37 エ. 埼玉県警察 けいさつ総合相談センター		1 知っている	2 聞いたことがある	3 知らない	無回答	回答者数
全体		5.9	15.8	71.6	6.6	303
性別	男性	8.1	17.7	70.2	4.0	124
	女性	4.5	14.6	73.0	7.9	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	0.0	5.3	94.7	0.0	19
	30～39歳	0.0	5.3	94.7	0.0	19
	40～49歳	11.1	9.3	75.9	3.7	54
	50～59歳	9.1	9.1	77.3	4.5	66
	60～69歳	1.9	26.9	69.2	1.9	52
	70歳以上	5.4	22.6	57.0	15.1	93

■オ. 埼玉労働局 雇用環境・均等部

問37 オ. 埼玉労働局 雇用環境・均等部		1 知っている	2 聞いたことがある	3 知らない	無回答	回答者数
全体		3.3	11.2	78.9	6.6	303
性別	男性	4.0	15.3	76.6	4.0	124
	女性	2.8	8.4	80.9	7.9	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	0.0	5.3	94.7	0.0	19
	30～39歳	0.0	5.3	94.7	0.0	19
	40～49歳	5.6	9.3	81.5	3.7	54
	50～59歳	4.5	12.1	78.8	4.5	66
	60～69歳	3.8	7.7	86.5	1.9	52
	70歳以上	2.2	16.1	66.7	15.1	93

■カ. 痴漢被害相談所（鉄道警察隊）

問37 カ. 痴漢被害相談所（鉄道警察隊）		1 知っている	2 聞いたことがある	3 知らない	無回答	回答者数
全体		5.3	16.5	71.0	7.3	303
性別	男性	4.8	24.2	66.1	4.8	124
	女性	5.6	11.2	74.7	8.4	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	0.0	10.5	89.5	0.0	19
	30～39歳	0.0	10.5	89.5	0.0	19
	40～49歳	9.3	9.3	77.8	3.7	54
	50～59歳	7.6	18.2	68.2	6.1	66
	60～69歳	3.8	26.9	67.3	1.9	52
	70歳以上	4.3	16.1	63.4	16.1	93

■キ. 女性の人権ホットライン（さいたま地方法務局人権擁護課）

問37 キ. 女性 の人権ホットラ イン		1 知 つ て い る	2 聞 い た こ と が あ る	3 知 ら な い	無 回 答	回 答 者 数
全体		6.6	19.1	67.3	6.9	303
性 別	男性	4.0	17.7	73.4	4.8	124
	女性	8.4	20.2	63.5	7.9	178
	その他	-	-	-	-	0
年 齢	18～29歳	10.5	31.6	57.9	0.0	19
	30～39歳	0.0	15.8	78.9	5.3	19
	40～49歳	0.0	22.2	74.1	3.7	54
	50～59歳	15.2	19.7	60.6	4.5	66
	60～69歳	5.8	17.3	75.0	1.9	52
	70歳以上	5.4	16.1	63.4	15.1	93

■ク. よりそいホットライン

問37 ク. より そいホットライ ン		1 知 つ て い る	2 聞 い た こ と が あ る	3 知 ら な い	無 回 答	回 答 者 数
全体		3.6	8.9	80.5	6.9	303
性 別	男性	4.8	5.6	84.7	4.8	124
	女性	2.8	11.2	78.1	7.9	178
	その他	-	-	-	-	0
年 齢	18～29歳	5.3	15.8	78.9	0.0	19
	30～39歳	5.3	10.5	84.2	0.0	19
	40～49歳	3.7	7.4	85.2	3.7	54
	50～59歳	3.0	13.6	78.8	4.5	66
	60～69歳	1.9	3.8	90.4	3.8	52
	70歳以上	4.3	7.5	73.1	15.1	93

■ケ. DV被害母子のための心のケア電話相談

問37 ケ. DV被害母子のための心のケア電話相談		1 知っている	2 聞いたことがある	3 知らない	無回答	回答者数
全体		4.3	7.9	80.2	7.6	303
性別	男性	4.0	7.3	84.7	4.0	124
	女性	4.5	8.4	77.5	9.6	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	5.3	5.3	89.5	0.0	19
	30～39歳	5.3	5.3	84.2	5.3	19
	40～49歳	1.9	7.4	85.2	5.6	54
	50～59歳	7.6	7.6	78.8	6.1	66
	60～69歳	3.8	5.8	88.5	1.9	52
	70歳以上	3.2	10.8	71.0	15.1	93

■コ. 埼玉弁護士会

問37 コ. 埼玉弁護士会		1 知っている	2 聞いたことがある	3 知らない	無回答	回答者数
全体		14.9	18.5	59.7	6.9	303
性別	男性	17.7	21.0	57.3	4.0	124
	女性	12.9	16.9	61.8	8.4	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	0.0	5.3	89.5	5.3	19
	30～39歳	10.5	5.3	84.2	0.0	19
	40～49歳	13.0	11.1	72.2	3.7	54
	50～59歳	16.7	15.2	63.6	4.5	66
	60～69歳	19.2	30.8	48.1	1.9	52
	70歳以上	16.1	23.7	45.2	15.1	93

■サ. 彩の国犯罪被害者ワンストップ支援センター

問37 サ. 彩の国犯罪被害者ワンストップ支援センター		1 知っている	2 聞いたことがある	3 知らない	無回答	回答者数
全体		2.6	5.3	84.8	7.3	303
性別	男性	3.2	4.8	87.9	4.0	124
	女性	2.2	5.6	83.1	9.0	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	5.3	5.3	89.5	0.0	19
	30～39歳	0.0	5.3	94.7	0.0	19
	40～49歳	3.7	1.9	88.9	5.6	54
	50～59歳	1.5	9.1	83.3	6.1	66
	60～69歳	0.0	3.8	94.2	1.9	52
	70歳以上	4.3	5.4	75.3	15.1	93

■シ. 埼玉県性暴力等犯罪被害者専用電話相談（アイリスホットライン）

問37 シ. 埼玉県性暴力等犯罪被害者専用電話相談		1 知っている	2 聞いたことがある	3 知らない	無回答	回答者数
全体		2.0	5.3	85.5	7.3	303
性別	男性	4.0	4.8	86.3	4.8	124
	女性	0.6	5.6	85.4	8.4	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	0.0	10.5	89.5	0.0	19
	30～39歳	0.0	5.3	94.7	0.0	19
	40～49歳	1.9	7.4	87.0	3.7	54
	50～59歳	3.0	6.1	84.8	6.1	66
	60～69歳	1.9	1.9	94.2	1.9	52
	70歳以上	2.2	4.3	77.4	16.1	93

■ス. 法テラス犯罪被害者支援ダイヤル

問37 ス. 法テラス犯罪被害者支援ダイヤル		1 知っている	2 聞いたことがある	3 知らない	無回答	回答者数
全体		9.2	12.2	71.6	6.9	303
性別	男性	10.5	16.1	68.5	4.8	124
	女性	8.4	9.6	74.2	7.9	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	5.3	5.3	89.5	0.0	19
	30～39歳	10.5	15.8	73.7	0.0	19
	40～49歳	9.3	14.8	72.2	3.7	54
	50～59歳	13.6	13.6	68.2	4.5	66
	60～69歳	11.5	9.6	76.9	1.9	52
	70歳以上	5.4	11.8	66.7	16.1	93

■セ. 法テラス埼玉、法テラス川越

問37 セ. 法テラス埼玉、法テラス川越		1 知っている	2 聞いたことがある	3 知らない	無回答	回答者数
全体		9.6	10.2	73.3	6.9	303
性別	男性	8.9	12.9	72.6	5.6	124
	女性	10.1	8.4	74.2	7.3	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	0.0	10.5	89.5	0.0	19
	30～39歳	5.3	10.5	84.2	0.0	19
	40～49歳	14.8	5.6	75.9	3.7	54
	50～59歳	13.6	15.2	65.2	6.1	66
	60～69歳	11.5	11.5	76.9	0.0	52
	70歳以上	5.4	8.6	69.9	16.1	93

■ソ. にんしん SOS 埼玉

問37 ソ. にんしんSOS埼玉		1 知っている	2 聞いたことがある	3 知らない	無回答	回答者数
全体		0.7	4.3	87.5	7.6	303
性別	男性	0.8	3.2	91.1	4.8	124
	女性	0.6	5.1	85.4	9.0	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	0.0	5.3	89.5	5.3	19
	30～39歳	0.0	15.8	84.2	0.0	19
	40～49歳	0.0	3.7	92.6	3.7	54
	50～59歳	0.0	7.6	87.9	4.5	66
	60～69歳	0.0	0.0	98.1	1.9	52
	70歳以上	2.2	2.2	78.5	17.2	93

■タ. にじいろ県民相談（埼玉県性的マイノリティ県民相談）

問37 タ. にじいろ県民相談		1 知っている	2 聞いたことがある	3 知らない	無回答	回答者数
全体		0.7	4.0	87.8	7.6	303
性別	男性	0.8	2.4	91.1	5.6	124
	女性	0.6	5.1	86.0	8.4	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	0.0	5.3	94.7	0.0	19
	30～39歳	0.0	5.3	94.7	0.0	19
	40～49歳	0.0	1.9	92.6	5.6	54
	50～59歳	0.0	9.1	86.4	4.5	66
	60～69歳	0.0	0.0	96.2	3.8	52
	70歳以上	2.2	3.2	78.5	16.1	93

■チ. 埼玉いのちの電話

問37 チ. 埼玉 いのちの電話		1 知 つ て い る	2 聞 い た こ と が あ る	3 知 ら な い	無 回 答	回 答 者 数
全体		21.8	30.0	41.3	6.9	303
性 別	男性	14.5	35.5	45.2	4.8	124
	女性	27.0	26.4	38.8	7.9	178
	その他	-	-	-	-	0
年 齢	18～29歳	26.3	26.3	47.4	0.0	19
	30～39歳	15.8	47.4	36.8	0.0	19
	40～49歳	22.2	14.8	59.3	3.7	54
	50～59歳	31.8	28.8	34.8	4.5	66
	60～69歳	25.0	30.8	42.3	1.9	52
	70歳以上	12.9	36.6	34.4	16.1	93

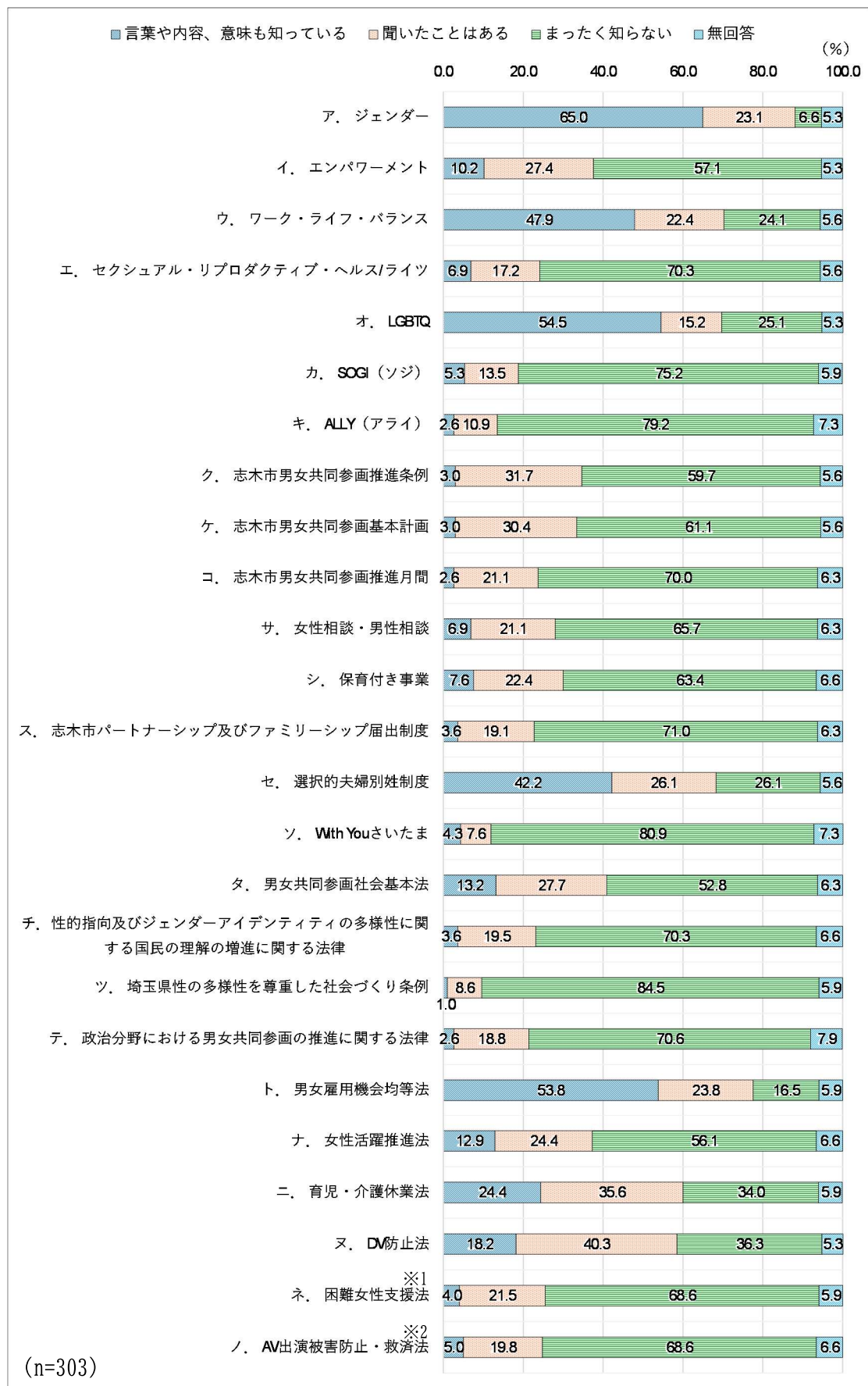
(13) 男女共同参画社会実現のための施策について

問38 あなたは次にあげる言葉について、知っていますか。次のア～ノの項目ごとに、あてはまるものを1つずつ選んで○をつけてください。

男女共同参画に関する言葉の認識について、「言葉や内容、意味も知っている」では、「ジェンダー」が65.0%、「LGBTQ」が54.5%、「男女雇用機会均等法」が53.8%、「ワーク・ライフ・バランス」が47.9%などとなっています。

令和元年度調査と比較すると、「ジェンダー」について、「言葉や内容、意味も知っている」の割合が特に増加（約25ポイント増）しています。しかし、「育児・介護休業法」をはじめとして、大幅に減少した項目も見受けられます。

年代別に見ると、40歳未満で高く、40～69歳では70%台、70歳以上で約40%となっています。

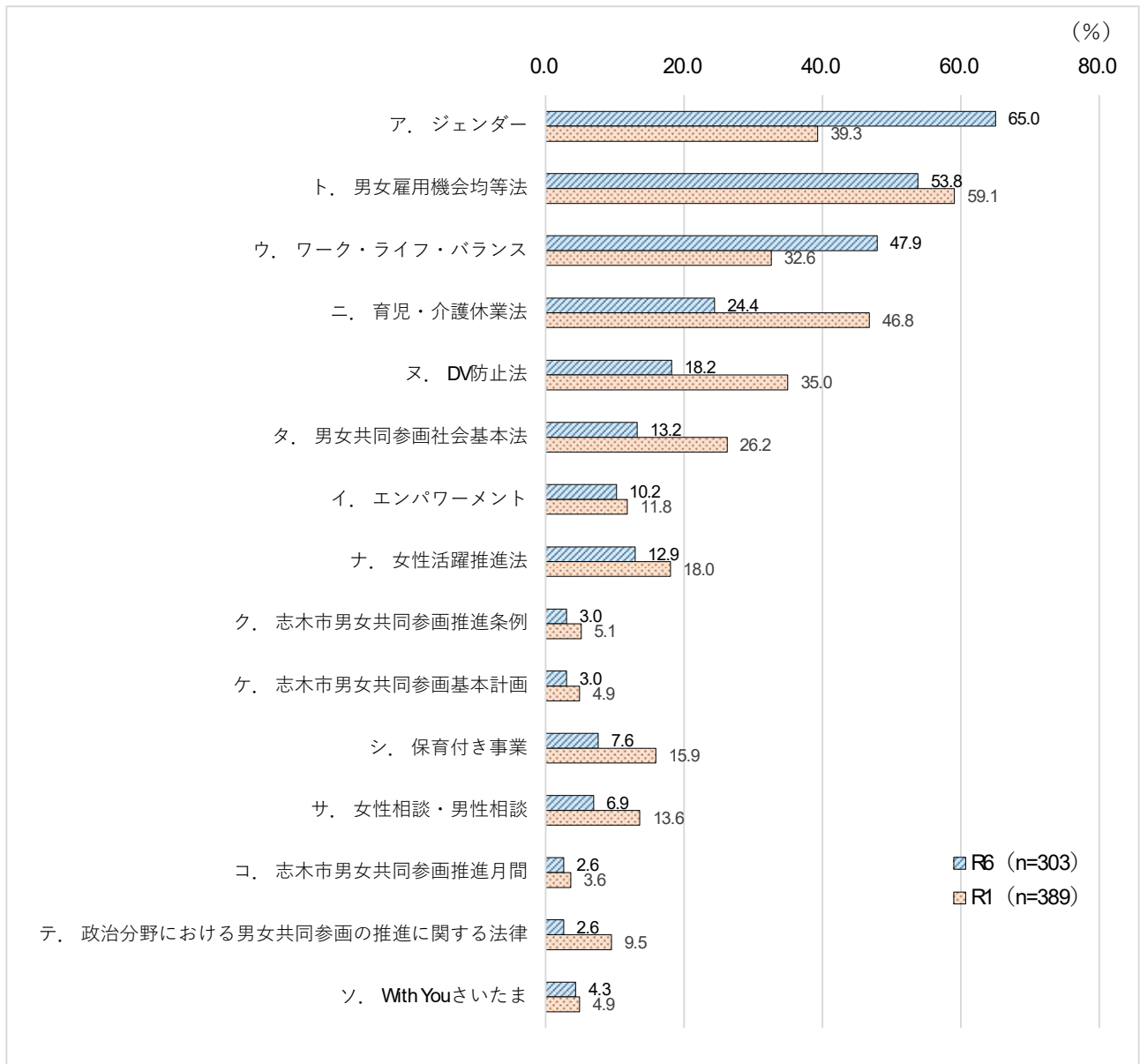


※1 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律は、令和6年4月1日に施行されました。「女性の福祉」「人権の尊重や擁護」「男女平等」といった視点を明確にし、女性支援強化を推進するものです。

※2 正式名は、「性をめぐる個人の尊厳が重んぜられる社会の形成に資するために性行為映像制作物への出演に係る被害の防止を図り及び出演者の救済に資するための出演契約等に関する特別等に関する法律」

(R1 調査との比較)

「言葉や内容、意味も知っている」の割合



※前回調査と比較可能な項目のみ表示。R6 調査の多い順。

■ア. ジェンダー

問38 ア. ジェンダー		1 言葉や内容、 知っている 意味も	2 聞いたことはある	3 まったく知らない	無回答	回答者数
全体		65.0	23.1	6.6	5.3	303
性別	男性	62.1	30.6	4.8	2.4	124
	女性	67.4	17.4	7.9	7.3	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	94.7	5.3	0.0	0.0	19
	30～39歳	84.2	15.8	0.0	0.0	19
	40～49歳	70.4	25.9	1.9	1.9	54
	50～59歳	72.7	19.7	4.5	3.0	66
	60～69歳	76.9	19.2	3.8	0.0	52
	70歳以上	39.8	31.2	15.1	14.0	93

■イ. エンパワーメント

問38 イ. エンパワーメント		1 言葉や内容、 知っている 意味も	2 聞いたことはある	3 まったく知らない	無回答	回答者数
全体		10.2	27.4	57.1	5.3	303
性別	男性	15.3	31.5	50.0	3.2	124
	女性	6.7	24.2	62.4	6.7	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	10.5	47.4	42.1	0.0	19
	30～39歳	15.8	31.6	52.6	0.0	19
	40～49歳	11.1	27.8	59.3	1.9	54
	50～59歳	10.6	31.8	54.5	3.0	66
	60～69歳	9.6	21.2	69.2	0.0	52
	70歳以上	8.6	22.6	54.8	14.0	93

■ウ. ワーク・ライフ・バランス

問38 ウ. ワーク・ライフ・バランス		1 言葉や内容、 知っている 意味も	2 聞いたことはある	3 まったく知らない	無回答	回答者数
全体		47.9	22.4	24.1	5.6	303
性別	男性	49.2	24.2	22.6	4.0	124
	女性	47.2	20.8	25.3	6.7	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	78.9	10.5	5.3	5.3	19
	30～39歳	84.2	15.8	0.0	0.0	19
	40～49歳	61.1	20.4	16.7	1.9	54
	50～59歳	60.6	19.7	16.7	3.0	66
	60～69歳	53.8	25.0	21.2	0.0	52
	70歳以上	14.0	28.0	44.1	14.0	93

■エ. セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (性と生殖に関する健康と権利)

問38 エ. SRHR		1 言葉や内容、 知っている 意味も	2 聞いたことはある	3 まったく知らない	無回答	回答者数
全体		6.9	17.2	70.3	5.6	303
性別	男性	7.3	22.6	66.1	4.0	124
	女性	6.7	12.9	73.6	6.7	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	31.6	21.1	47.4	0.0	19
	30～39歳	10.5	15.8	73.7	0.0	19
	40～49歳	9.3	22.2	64.8	3.7	54
	50～59歳	7.6	15.2	74.2	3.0	66
	60～69歳	3.8	15.4	80.8	0.0	52
	70歳以上	1.1	16.1	68.8	14.0	93

■オ. LGBTQ

問38 オ. LGBTQ		1 言葉や内容、 知っ っている 意味も	2 聞いた ことは ある	3 まっ たく 知ら ない	無 回 答	回 答 者 数
全体		54.5	15.2	25.1	5.3	303
性 別	男性	56.5	17.7	22.6	3.2	124
	女性	53.4	12.9	27.0	6.7	178
	その他	-	-	-	-	0
年 齢	18～29歳	94.7	0.0	5.3	0.0	19
	30～39歳	89.5	10.5	0.0	0.0	19
	40～49歳	63.0	11.1	24.1	1.9	54
	50～59歳	62.1	18.2	16.7	3.0	66
	60～69歳	65.4	19.2	15.4	0.0	52
	70歳以上	22.6	17.2	46.2	14.0	93

■カ. SOGI (ソジ) ※性的指向・性自認

問38 カ. SOGI (ソジ)		1 言葉や内容、 知っ っている 意味も	2 聞いた ことは ある	3 まっ たく 知ら ない	無 回 答	回 答 者 数
全体		5.3	13.5	75.2	5.9	303
性 別	男性	4.0	16.9	75.0	4.0	124
	女性	6.2	10.7	75.8	7.3	178
	その他	-	-	-	-	0
年 齢	18～29歳	21.1	21.1	57.9	0.0	19
	30～39歳	15.8	21.1	63.2	0.0	19
	40～49歳	3.7	3.7	90.7	1.9	54
	50～59歳	6.1	21.2	69.7	3.0	66
	60～69歳	1.9	17.3	78.8	1.9	52
	70歳以上	2.2	8.6	74.2	15.1	93

■キ. ALLY (アライ) ※セクシュアル・マイノリティ当事者の理解者・支援者

問38 キ. ALLY (アライ)		1 言葉や内容、 知っ っている 意味も	2 聞いた ことは ある	3 ま った く 知 ら な い	無 回 答	回 答 者 数
全体		2.6	10.9	79.2	7.3	303
性 別	男性	1.6	13.7	77.4	7.3	124
	女性	3.4	9.0	80.3	7.3	178
	その他	-	-	-	-	0
年 齢	18～29歳	10.5	26.3	57.9	5.3	19
	30～39歳	10.5	21.1	68.4	0.0	19
	40～49歳	0.0	7.4	88.9	3.7	54
	50～59歳	3.0	10.6	83.3	3.0	66
	60～69歳	0.0	9.6	90.4	0.0	52
	70歳以上	2.2	8.6	71.0	18.3	93

■ク. 志木市男女共同参画推進条例

問38 ク. 志木市男女共同参画推進条例		1 言葉や内容、 知っ っている 意味も	2 聞いた ことは ある	3 ま った く 知 ら な い	無 回 答	回 答 者 数
全体		3.0	31.7	59.7	5.6	303
性 別	男性	4.0	30.6	61.3	4.0	124
	女性	2.2	32.0	59.0	6.7	178
	その他	-	-	-	-	0
年 齢	18～29歳	5.3	31.6	63.2	0.0	19
	30～39歳	0.0	21.1	78.9	0.0	19
	40～49歳	0.0	25.9	72.2	1.9	54
	50～59歳	9.1	39.4	47.0	4.5	66
	60～69歳	0.0	30.8	69.2	0.0	52
	70歳以上	2.2	32.3	51.6	14.0	93

■ケ. 志木市男女共同参画基本計画

問38 ケ. 志木市男女共同参画基本計画		1 知言葉や内容、 意味も 知っている	2 聞いたことはある	3 まったく知らない	無回答	回答者数
全体		3.0	30.4	61.1	5.6	303
性別	男性	5.6	28.2	62.1	4.0	124
	女性	1.1	31.5	60.7	6.7	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	0.0	31.6	68.4	0.0	19
	30～39歳	0.0	21.1	78.9	0.0	19
	40～49歳	0.0	25.9	72.2	1.9	54
	50～59歳	9.1	36.4	51.5	3.0	66
	60～69歳	1.9	26.9	71.2	0.0	52
	70歳以上	2.2	32.3	50.5	15.1	93

■コ. 志木市男女共同参画推進月間（毎年6月）

問38 コ. 志木市男女共同参画推進月間		1 知言葉や内容、 意味も 知っている	2 聞いたことはある	3 まったく知らない	無回答	回答者数
全体		2.6	21.1	70.0	6.3	303
性別	男性	4.0	19.4	71.8	4.8	124
	女性	1.7	21.9	69.1	7.3	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	0.0	15.8	84.2	0.0	19
	30～39歳	0.0	21.1	78.9	0.0	19
	40～49歳	0.0	18.5	75.9	5.6	54
	50～59歳	9.1	27.3	60.6	3.0	66
	60～69歳	0.0	23.1	76.9	0.0	52
	70歳以上	2.2	18.3	64.5	15.1	93

■サ. 女性相談・男性相談

問38 サ. 女性 相談・男性相談		1 言葉や内容、 知っ っている 意味も	2 聞いた ことは ある	3 ま った く 知 ら な い	無 回 答	回 答 者 数
全体		6.9	21.1	65.7	6.3	303
性 別	男性	5.6	21.0	68.5	4.8	124
	女性	7.9	20.8	64.0	7.3	178
	その他	-	-	-	-	0
年 齢	18～29歳	10.5	21.1	68.4	0.0	19
	30～39歳	0.0	10.5	89.5	0.0	19
	40～49歳	11.1	24.1	61.1	3.7	54
	50～59歳	12.1	22.7	62.1	3.0	66
	60～69歳	5.8	19.2	75.0	0.0	52
	70歳以上	2.2	21.5	60.2	16.1	93

■シ. 保育付き事業

問38 シ. 保育 付き事業		1 言葉や内容、 知っ っている 意味も	2 聞いた ことは ある	3 ま った く 知 ら な い	無 回 答	回 答 者 数
全体		7.6	22.4	63.4	6.6	303
性 別	男性	5.6	20.2	69.4	4.8	124
	女性	9.0	23.6	59.6	7.9	178
	その他	-	-	-	-	0
年 齢	18～29歳	21.1	42.1	36.8	0.0	19
	30～39歳	5.3	15.8	78.9	0.0	19
	40～49歳	11.1	22.2	64.8	1.9	54
	50～59歳	10.6	27.3	59.1	3.0	66
	60～69歳	5.8	21.2	69.2	3.8	52
	70歳以上	2.2	17.2	64.5	16.1	93

■ス. 志木市パートナーシップ及びファミリーシップ届出制度

問38 ス. 志木市パートナーシップ等届出制度		1 知言葉や内容、意味も	2 聞いたことはある	3 まったく知らない	無回答	回答者数
全体		3.6	19.1	71.0	6.3	303
性別	男性	4.0	16.1	75.0	4.8	124
	女性	3.4	21.3	68.0	7.3	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	0.0	21.1	78.9	0.0	19
	30～39歳	5.3	21.1	73.7	0.0	19
	40～49歳	1.9	18.5	77.8	1.9	54
	50～59歳	7.6	25.8	62.1	4.5	66
	60～69歳	3.8	15.4	80.8	0.0	52
	70歳以上	2.2	16.1	65.6	16.1	93

■セ. 選択的夫婦別姓制度

問38 セ. 選択的夫婦別姓制度		1 知言葉や内容、意味も	2 聞いたことはある	3 まったく知らない	無回答	回答者数
全体		42.2	26.1	26.1	5.6	303
性別	男性	46.8	27.4	21.8	4.0	124
	女性	39.3	25.3	28.7	6.7	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	57.9	15.8	26.3	0.0	19
	30～39歳	52.6	36.8	10.5	0.0	19
	40～49歳	51.9	16.7	29.6	1.9	54
	50～59歳	51.5	21.2	24.2	3.0	66
	60～69歳	46.2	28.8	25.0	0.0	52
	70歳以上	22.6	33.3	29.0	15.1	93

■ソ. With You さいたま (埼玉県男女共同参画推進センター)

問38 ソ. With You さいたま		1 知言葉や内容、 意味も	2 聞いたことはある	3 まったく知らない	無回答	回答者数
全体		4.3	7.6	80.9	7.3	303
性別	男性	3.2	7.3	83.9	5.6	124
	女性	5.1	7.3	79.2	8.4	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	5.3	5.3	84.2	5.3	19
	30～39歳	0.0	5.3	89.5	5.3	19
	40～49歳	1.9	1.9	92.6	3.7	54
	50～59歳	9.1	13.6	74.2	3.0	66
	60～69歳	5.8	3.8	90.4	0.0	52
	70歳以上	2.2	9.7	71.0	17.2	93

■タ. 男女共同参画社会基本法

問38 タ. 男女共同参画社会基本法		1 知言葉や内容、 意味も	2 聞いたことはある	3 まったく知らない	無回答	回答者数
全体		13.2	27.7	52.8	6.3	303
性別	男性	16.9	33.1	46.0	4.0	124
	女性	10.7	23.6	57.9	7.9	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	52.6	15.8	31.6	0.0	19
	30～39歳	26.3	42.1	31.6	0.0	19
	40～49歳	11.1	20.4	66.7	1.9	54
	50～59歳	18.2	27.3	51.5	3.0	66
	60～69歳	11.5	34.6	53.8	0.0	52
	70歳以上	1.1	28.0	53.8	17.2	93

■チ. 性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律

問38 チ. 性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律		1 知言葉 つ葉 てや いる 内容、 意味も	2 聞いた こと はあ る	3 ま つ た く 知 ら な い	無 回 答	回 答 者 数
全体		3.6	19.5	70.3	6.6	303
性別	男性	4.0	21.8	70.2	4.0	124
	女性	3.4	18.0	70.2	8.4	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	21.1	31.6	47.4	0.0	19
	30～39歳	5.3	10.5	78.9	5.3	19
	40～49歳	1.9	18.5	75.9	3.7	54
	50～59歳	3.0	25.8	68.2	3.0	66
	60～69歳	1.9	25.0	73.1	0.0	52
	70歳以上	2.2	11.8	69.9	16.1	93

■ツ. 埼玉県性の多様性を尊重した社会づくり条例

問38 ツ. 埼玉県性の多様性を尊重した社会づくり条例		1 知言葉 つ葉 てや いる 内容、 意味も	2 聞いた こと はあ る	3 ま つ た く 知 ら な い	無 回 答	回 答 者 数
全体		1.0	8.6	84.5	5.9	303
性別	男性	0.8	8.1	87.1	4.0	124
	女性	1.1	8.4	83.1	7.3	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	5.3	21.1	73.7	0.0	19
	30～39歳	0.0	5.3	94.7	0.0	19
	40～49歳	0.0	9.3	88.9	1.9	54
	50～59歳	1.5	15.2	80.3	3.0	66
	60～69歳	1.9	3.8	94.2	0.0	52
	70歳以上	0.0	4.3	79.6	16.1	93

■テ. 政治分野における男女共同参画の推進に関する法律

問38 テ. 政治分野における男女共同参画の推進に関する法律		1 知言葉や内容、意味も	2 聞いたことはある	3 まったく知らない	無回答	回答者数
全体		2.6	18.8	70.6	7.9	303
性別	男性	2.4	20.2	69.4	8.1	124
	女性	2.8	17.4	71.9	7.9	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	15.8	31.6	52.6	0.0	19
	30～39歳	10.5	10.5	78.9	0.0	19
	40～49歳	3.7	13.0	79.6	3.7	54
	50～59歳	1.5	24.2	66.7	7.6	66
	60～69歳	0.0	23.1	75.0	1.9	52
	70歳以上	0.0	15.1	67.7	17.2	93

■ト. 男女雇用機会均等法

問38 ト. 男女雇用機会均等法		1 知言葉や内容、意味も	2 聞いたことはある	3 まったく知らない	無回答	回答者数
全体		53.8	23.8	16.5	5.9	303
性別	男性	58.9	25.0	12.9	3.2	124
	女性	50.6	22.5	19.1	7.9	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	63.2	26.3	10.5	0.0	19
	30～39歳	63.2	21.1	15.8	0.0	19
	40～49歳	59.3	16.7	20.4	3.7	54
	50～59歳	62.1	21.2	12.1	4.5	66
	60～69歳	65.4	23.1	11.5	0.0	52
	70歳以上	34.4	30.1	21.5	14.0	93

■ナ. 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）

問38 ナ. 女性 活躍推進法		1 知言葉や内容、 意味も	2 聞いたことはある	3 まったく知らない	無回答	回答者数
全体		12.9	24.4	56.1	6.6	303
性別	男性	14.5	24.2	56.5	4.8	124
	女性	11.8	24.2	56.2	7.9	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	26.3	15.8	57.9	0.0	19
	30～39歳	10.5	21.1	68.4	0.0	19
	40～49歳	20.4	24.1	53.7	1.9	54
	50～59歳	13.6	30.3	53.0	3.0	66
	60～69歳	15.4	26.9	55.8	1.9	52
	70歳以上	4.3	21.5	57.0	17.2	93

■ニ. 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律（育児・介護休業法）

問38 ニ. 育児 ・介護休業法		1 知言葉や内容、 意味も	2 聞いたことはある	3 まったく知らない	無回答	回答者数
全体		24.4	35.6	34.0	5.9	303
性別	男性	25.8	37.9	33.1	3.2	124
	女性	23.6	33.7	34.8	7.9	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	26.3	26.3	47.4	0.0	19
	30～39歳	26.3	42.1	26.3	5.3	19
	40～49歳	25.9	35.2	37.0	1.9	54
	50～59歳	31.8	33.3	31.8	3.0	66
	60～69歳	28.8	44.2	26.9	0.0	52
	70歳以上	15.1	33.3	36.6	15.1	93

■ヌ. 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）

問38 ヌ. DV防止法		1 知言葉や内容、 意味も	2 聞いたことはある	3 まったく知らない	無回答	回答者数
全体		18.2	40.3	36.3	5.3	303
性別	男性	18.5	45.2	33.1	3.2	124
	女性	18.0	36.5	38.8	6.7	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	21.1	47.4	31.6	0.0	19
	30～39歳	21.1	31.6	47.4	0.0	19
	40～49歳	20.4	40.7	37.0	1.9	54
	50～59歳	24.2	42.4	30.3	3.0	66
	60～69歳	19.2	50.0	30.8	0.0	52
	70歳以上	10.8	33.3	41.9	14.0	93

■ネ. 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律（困難女性支援法） ※1

問38 ネ. 困難女性支援法		1 知言葉や内容、 意味も	2 聞いたことはある	3 まったく知らない	無回答	回答者数
全体		4.0	21.5	68.6	5.9	303
性別	男性	1.6	21.8	73.4	3.2	124
	女性	5.6	20.8	65.7	7.9	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	10.5	36.8	52.6	0.0	19
	30～39歳	10.5	10.5	73.7	5.3	19
	40～49歳	1.9	25.9	70.4	1.9	54
	50～59歳	7.6	27.3	62.1	3.0	66
	60～69歳	3.8	21.2	75.0	0.0	52
	70歳以上	0.0	14.0	71.0	15.1	93

■ノ. AV 出演被害防止・救済法 ※2

問38 ノ. AV出演被害防止・救済法		1 言葉や内容、 知っ っている 意味も	2 聞いた ことは ある	3 ま った く 知 ら な い	無 回 答	回 答 者 数
全体		5.0	19.8	68.6	6.6	303
性別	男性	7.3	24.2	64.5	4.0	124
	女性	3.4	16.3	71.9	8.4	178
	その他	-	-	-	-	0
年齢	18～29歳	5.3	42.1	52.6	0.0	19
	30～39歳	5.3	15.8	78.9	0.0	19
	40～49歳	5.6	27.8	63.0	3.7	54
	50～59歳	10.6	28.8	57.6	3.0	66
	60～69歳	3.8	19.2	76.9	0.0	52
	70歳以上	1.1	5.4	76.3	17.2	93

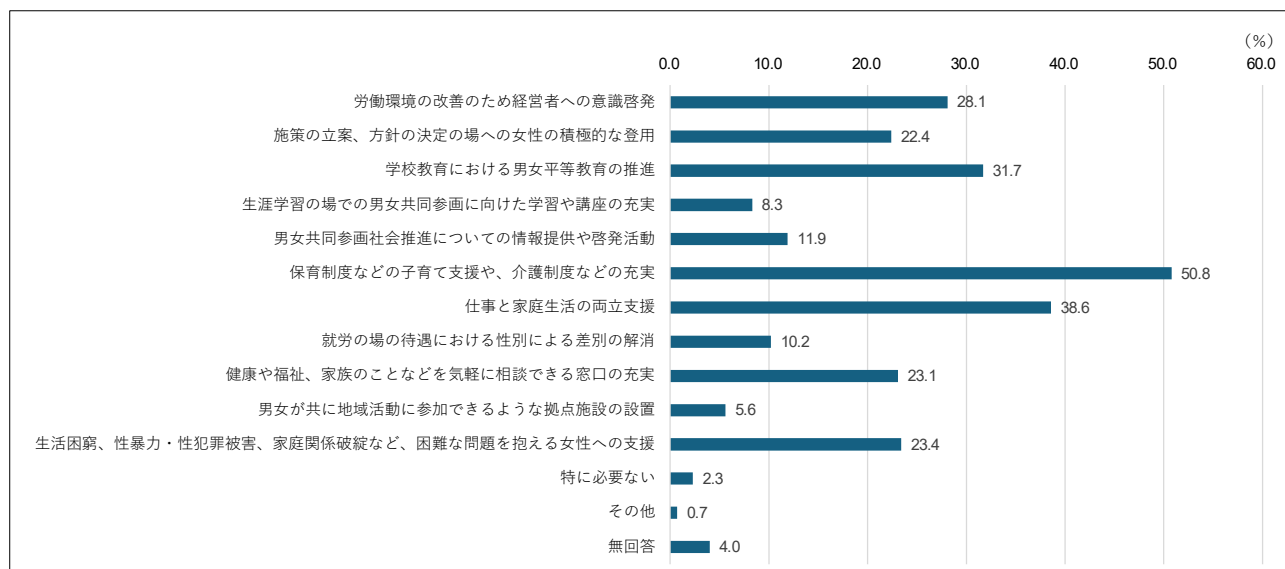
問39 あなたは男女が共にいきいきと暮らせる「男女共同参画社会の実現」を目指すために、今後、志木市ではどのようなことに力を入れていけばいいと思いますか。

次の中から、優先的に行った方がよいと思うものを3つまで選んで○をつけてください。

1. 労働環境の改善のため経営者への意識啓発
2. 施策の立案、方針の決定の場への女性の積極的な登用
3. 学校教育における男女平等教育の推進
4. 生涯学習の場での男女共同参画に向けた学習や講座の充実
5. 男女共同参画社会推進についての情報提供や啓発活動
6. 保育制度などの子育て支援や、介護制度などの充実
7. 仕事と家庭生活の両立支援
8. 就労の場の待遇における性別による差別の解消
9. 健康や福祉、家族のことなどを気軽に相談できる窓口の充実
10. 男女が共に地域活動に参加できるような拠点施設の設置
11. 生活困窮、性暴力・性犯罪被害、家庭関係破綻など、困難な問題を抱える女性への支援
12. 特に必要ない
13. その他(具体的に)

「男女共同参画社会の実現」を目指すための施策については、「保育制度などの子育て支援や、介護制度などの充実」が50.8%、「仕事と家庭生活の両立支援」が38.6%、「学校教育における男女平等教育の推進」が31.7%などとなっています。

「保育制度などの子育て支援や、介護制度などの充実」の割合を性別で見ると、男性が46.8%、女性が53.9%であり、女性のほうが多くなっています。



(n=303)

問39 男女共同参画社会を実現するため	1 労働環境の改善のため経営者への意識啓発	2 施策への立案、方針の積極的な登用の場への女性の積極的な登用の	3 学校教育における男女平等の推進	4 生涯学習の場での男女共同参画に向けた学習や講座の充実	5 男女共同参画社会推進についての情報提供や啓発活動	6 保育制度などの子育て支援や介護制度などの充実	7 仕事と家庭生活の両立支援	8 就労の場の待遇における性別による差別の解消	9 健康や福祉、家族のことなどを気軽に相談できる窓口の充実	10 男女が共に地域活動に参加できるような拠点施設の設置	11 性被害、犯罪、生活困窮、性暴力・性犯罪、家庭問題を抱える女性への支援	12 特に必要ない	13 その他	無回答	回答者数	
全体	28.1	22.4	31.7	8.3	11.9	50.8	38.6	10.2	23.1	5.6	23.4	2.3	0.7	4.0	303	
性別	男性	31.5	28.2	34.7	9.7	46.8	41.1	11.3	19.4	5.6	22.6	3.2	0.0	2.4	124	
	女性	25.8	18.5	29.8	7.3	53.9	37.1	9.6	25.8	5.6	24.2	1.7	1.1	4.5	178	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
年齢	18～29歳	31.6	10.5	21.1	0.0	68.4	52.6	21.1	31.6	0.0	26.3	0.0	5.3	0.0	19	
	30～39歳	15.8	31.6	47.4	5.3	5.3	73.7	47.4	0.0	5.3	26.3	5.3	0.0	0.0	19	
	40～49歳	37.0	25.9	33.3	9.3	11.1	50.0	46.3	9.3	13.0	5.6	20.4	3.7	0.0	54	
	50～59歳	27.3	28.8	27.3	7.6	10.6	48.5	40.9	10.6	24.2	1.5	31.8	1.5	0.0	66	
	60～69歳	28.8	17.3	36.5	11.5	21.2	50.0	32.7	5.8	25.0	11.5	25.0	1.9	1.9	0.0	52
	70歳以上	24.7	19.4	30.1	8.6	10.8	45.2	31.2	12.9	29.0	6.5	17.2	2.2	0.0	9.7	93

(14) 男女共同参画推進についてのご意見

最後に、市の男女共同参画推進について、日頃感じていることなどがありましたら自由にお書きください。

男女共同参画推進に関する意見は多岐に渡り、制度・意識改革、情報発信、市民参加、子育て支援、その他多岐にわたります。

これらの意見を踏まえ、男女共同参画社会実現に向けた取り組みが求められています。

なお、記述のあった意見は以下のとおり。(調査の趣旨から離れる意見の掲載は割愛しています。)

性	年齢	男女共同参画推進についてのご意見
女性	18～29	やはり男女平等を謳っていても、どうしても女性の方が多く産休・育休を取るイメージが強いです。少しずつ変わっているかもしれませんが、ひとりひとりの意識を変えるには上に立つ人が会社の制度を見直し変更、時代に合った法律に変えるなどアップデートが必要だと感じます。見直しだけでなく行動に移すまでです。私もこのアンケートを通じ学んだことがあったのもっと若い世代からなにか学びの場があればより男女平等について意識しやすいと思いました。まだまだ知識不足などところがあるので自ら学ぶところから始めていきたいです。行動に移すいいきっかけになりました。
女性	30～39	市のHPは見づらい。志木市で妊娠・出産をする際の手続きや補助を知りたいが、HP上で内容が見づらい。不妊検査→母子手帳→入院→出産のように、わかりやすく並べてほしい。
女性	30～39	男女共同参画推進のために、小学生から(学生をメインに)意見を募った方が、新しい考え方や案が出ると思われる。また、学生時代から講演・講義を受けることで、男女共同参画推進の概念など、理解されやすいと思う。
女性	30～39	男女共同参画推進についてほぼ初めて内容に触れたのですが、自分の想像以上に子育てや社会進出に悩む女性がいることに驚きました。そういった女性からの意見を積極的に吸い上げて、必要な政策を立てていくことが重要だと思います。
女性	30～39	目に触れる機会が少ない。日常的に目に入る所に何かあれば調べてみようかなという機会につながる。駅のホームの看板とか。
男性	40～49	現代社会の労働環境に合わせようとするから、どうしても女性の労働環境の改善についての議論になってしまう。そもそもの労働環境を見直して、男女共に余白(どうしたいか)をもてる状況にすることが必要。
男性	40～49	育事、家事をサポートして頂きたい、サービス拡大をお願いしたい。具体的には料理代行、お迎え、おくり、病児保育等のサービス拡大と費用補助。物価上昇、賃金ガリニアに上昇していく中で、女性の活躍がmust。男性も家事・育事が出来る会社の制度見直し、成果見直し、行政の補助が求められる。
男性	40～49	男女共同参画といいながら、女性の方にかたよってると思います。女性への支援も大切ですが、同じ支援を男性がうけられるようにしてほしいです。
男性	40～49	何をやってるのかよくわかんない
女性	40～49	さまざまな課題に取り組んでいるとの事ですがどんな課題ですか?なぜ志木市が取り組むのか、何を目指してるのか、志木市に住んでいても職場は志木市ではないし、自営の方への推進条例?もう少し何に向かっているのかが冒頭の話で知りたかったです。でも、アンケートをとることは賛成です。
男性	50～59	市民の多くが都内などで雇用され、職場があるという現実から、日中に相談すべき行政

性	年齢	男女共同参画推進についてのご意見
		窓口をどうすべきかという問題がある。(この点がよく分からない) 例えば、都内の職場でセクハラ・パワハラなどを受けた場合の相談フローを周知すべきではないかという気がしている。
男性	50～59	男女の記入をするものをなくしたらどうでしょう？互いに認め合う社会に区別はないですね。
男性	50～59	取り組みが伝わってこない！
女性	50～59	取りくみされている実態が、まだわかりません。今後に期待しております。
女性	50～59	特に感じることはない。普通の生活をする中で、男女共同参画という事を意識している者は少ないと感じる。平等、公平など理想上の理念を挙げるのは簡単だが、実際見聞きすることは、全くもって公平とは程遠い。このアンケートが意味を成すものとなれることを期待する
女性	50～59	男性中心が多い感じがします
女性	50～59	議員の女性の人数を最低でも1／3以上とする。
女性	50～59	男女平等も大事ですが、それ以前にうちに出会いも無く、給料が少なくて結婚なんてできないよ。っていう息子がいます。ちゃんとした出会いの場があったらいいのに、って思います。
女性	50～59	男が偉いという感覚のお年寄りが多いので、これからはそうじゃない男女平等なんだという事を、教えて頂きたい。
女性	50～59	アンケートの企画に感謝します。
女性	50～59	どう頑張っても男女平等にはならないだろうという気持ちが自分の根底にあり、諦めている。
男性	60～69	男女平等を急に実現するのは難しいから、その施策を行いながら、世代交代による、古い意識の人の退場を待つ。
男性	60～69	「男女共同参画」という言葉や活字は、時々見聞きしますが、具体的にどんな活動しているのか？が、良く理解できていない。理解しようとしていなかった？のかも知れません。という意味では、市の活動そのものが、あまり表面化していないのかと感じます。積極的に「良く観える化」が必要かと思えます。
男性	60～69	活動が見えない
男性	60～69	妊娠・出産・育児という一連の流れを、特別な期間とするのでは無く、通常の世界生活の一部と捉え、家庭・会社・社会・行政(国)が支援出来る仕組みを整えなければ、共同参画というものは実現性が低い。産休・育休等という言葉自体から変えてゆかなくてはならない。社会生活の一部、会社生活の一部と考え、休職ではなく「出産中・育児中」として、会社と国・自治体が協同して8割程度の報酬を支払う(育児に関しては一定期迄)
男性	60～69	仕事と生活の調和と、社会全体の意識改革が充分とは思えない。今以上にそれぞれの立場、目線で、取り組む必要がある。予算に限りがあるので、細かい調査のうえで、確実な支援を行っていただきたい。
男性	60～69	質問が多すぎて疲れました。また内容も難しすぎます。
女性	60～69	子育て・家事等の負担については、それぞれの夫婦の考え方や環境に違いがある。男女では、やはり得意とする事が違う。実際、子育てや家事に専念したいと思う女性も多い。共働きの家庭は、夫婦共に大変だと思う。1日の大半を保育園で過ごす子どもも大変だと思う。育休をより長い期間にできるといいと思う。夫婦どちらかの収入で暮らせるようになると、より男女共同参画の推進になるのではないかなど、勝手に思っています。

性	年齢	男女共同参画推進についてのご意見
女性	60～69	市の男女共同参画推進、そのものを知らなかった。広報が届かないので、市の活動はほぼ知らない。
女性	60～69	市に条例や推進計画などあることも知らず、相談機関等についても、ほとんど知らなかったので、啓発活動も必要なのかなと思いました。アンケート内容は、さっと読んで判断できる感じではなく、抽象的なので、具体的にひとつひとつの選択項目の意味が、わかりにくく感じました。しかし、こういったアンケートを行うことは、意味あるのではないのでしょうか。いくら法律や条例を作っても、人の意識を変えていくことは難しいですが、頑張ってください。
女性	60～69	世代別、世帯タイプ別など、特に力点を置くべき処を定めて、重点的に弱い部分の対策を行う。若者より、中・高齢者に焦点を当てるべき。(若者の意識の方が高いだろうという前提)
女性	60～69	サポート制度の充実(告知含)
女性	60～69	税金を払っているのに市が何をやろうとしているのか全然知らない もっと知る機会が欲しい
男性	70以上	何事も、他人(人)の話しを聞いてやる事。(聞く耳をもつ事)
男性	70以上	男女共同参画推進についての進捗状況等を、広報しきで知らせてほしい。特集なども企画してほしい。
男性	70以上	男女共同参画推進、あまり関心がないので、よくわかりませんでした。アンケートに答えました。あまり参考にならないと思いますが、よろしくお願いします。人にやさしい政治してほしいと思います。(兵庫県の知事さんのような政治はしてほしいありません)
男性	70以上	題目だけは、いろいろ聞か、解決策がどこに提示されているのか、わからない。
男性	70以上	ぼんやり見えるかな?
女性	70以上	このタイミングで、このアンケートしているのか。兵庫県市長の問題とかぶり、仕方ありません。このアンケートは市長ご自身で作成されたものですか。結果に目を通されるのでしょうか。部下の方が作成し、市長は見るだけ、聞くだけなのでは?もうこの年なので、男女共同参画と言っても、具体的には言えませんが、いろんなサークルに議員さんが参加されているので、その点、身近に感じています。若い世代の方が頑張っているのは、たのもしい限りです。
女性	70以上	全く男と女の思考が違うと思う。昔の男と今の若い男とも思考が違う。→根底にあるもの。男は女が守る強さ、女は男を頼る。心の中に根底の考え方も必要だ。それを基礎として共同作業をして欲しい。俺が私がではなく。それぞれの生まれ持った心を持って、協力してやって欲しい。自分だけが前に出るのではなく、人を立てて行って欲しい
女性	70以上	そもそも(言葉は知っていても)どんな内容かイマイチわからない。近所の同年令の人に聞いても皆、答えは同じ(わからないと...)。年寄りにもわかるように(かんでふくめて...)啓発があればと思う。
女性	70以上	「女性の活躍」って何ですか?専業主婦は活躍していないというのですか?すべての女性が、活躍しないとダメですか?別に活躍したくない人、静かに暮らしたい人もいます。すべて、ひとくりにすることがおかしい。互いを思いやる気持ちがあれば、男だの女だの関係ないです。男たちが、もっとしっかりしてくれればいいです。
無回答	無回答	男が偉いなんて同じ人間なのだからそもそもその考えがおかしい。
無回答	無回答	上にたつ人が女性の方が良い場合もあるはずです。

「志木市男女共同参画に関する市民意識調査」

～調査ご協力をお願い～

市民の皆様には、日頃から市政の推進につきまして、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

現在、志木市では、「志木市男女共同参画推進条例」及び「志木市男女共同参画基本計画」に基づき、男性も女性も性別にとらわれることなく、能力と個性を生かして共にいきいきと暮らせる「男女共同参画社会の実現」を目指し、さまざまな課題に取り組んでいるところです。

本調査は、令和7年度に策定する第7次の「志木市男女共同参画基本計画」の基礎資料とするため、また、男女共同参画推進の参考とするため、市内にお住まいの18歳以上の方の中から1,000人(男性・女性各500人)を無作為に選び、調査票をお送りしております。

なお、回答は統計的に処理いたしますので、個人を特定することや、収集した個人情報を調査の目的以外に使用することは一切ございません。率直なご意見を聞かせくださいますようお願い申し上げます。

また、結果の公表につきましては、集計・分析の上、市ホームページ、市長公室人権推進室などを通じてお知らせいたします。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

令和6年9月 志木市長 香川 武文

ご回答にあたってのお願い

【回答期限】 **令和6年10月18日(金)まで** 【回答方法】 **郵送** 又は **web**

回答方法

- 宛名のご本人がお答えください。
- 回答は、設問の指示に沿ってあてはまる番号に○をしてください。「その他」を選択する場合は、番号に○をした上で具体的な内容を()内に記入してください。

郵送 で回答する場合

- 回答を調査票に直接記入し、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて封をし、回答期限までにポストに投函してください。

web で回答する場合

- 以下の URL 又は二次元コードから回答用ウェブサイトへアクセスしてください。アンケート用紙と同じ画面が表示されます。
- 回答入力にあたっては、郵送回答との重複集計を防止するため、**最初に右下に記載の【web回答用コード】(5桁数字)を入力してください。**
- 回答の途中保存はできませんので、お時間のある時に回答してください。**



《回答用ウェブサイト URL》 <https://forms.gle/oQK6vvrCTcJ8a5EGA>

【本調査の問合せ先】

志木市 市長公室 人権推進室
電話 048-456-6020(直通) / FAX 048-474-4384

【web 回答用コード】

※郵送回答との重複を防止するためのもので、個人を特定するものではありません。

1 あなた自身のことについてお聞きします。あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。 調査結果を統計的に処理するため、下記のことについておたずねします。

問1 あなたの性別をお聞かせください。

1. 男性 2. 女性 3. その他()

※多様性の観点から「3. その他」を選択肢に加えています。

問2 あなたの年齢は次のどれにあたりますか。

1. 18～29 歳 3. 40～49 歳 5. 60～69 歳
2. 30～39 歳 4. 50～59 歳 6. 70 歳以上

問3 あなたは志木市に何年間住んでいますか。

1. 3 年未満 4. 10 年以上～20 年未満
2. 3 年以上～5 年未満 5. 20 年以上
3. 5 年以上～10 年未満

問4 あなたの主な職業は次のどれにあたりますか。

1. 自由業・自営業・家業(農業・会社経営など)
2. 正社員・正職員で勤務している
3. 非正規雇用で勤務している(臨時・派遣などであるが常勤とほぼ同様な勤務条件である)
4. アルバイト・パートなどで勤務している(常勤とは異なる勤務条件である)
5. 内職
6. 専業主婦・専業主夫 8. 無職
7. 学生 9. その他(具体的に)

問5 あなたは現在、結婚(事実婚も含む)していますか。

1. 結婚している 3. 死別または離別している
2. 未婚である 4. その他(具体的に)

問5-1 問5で「1. 結婚している」と答えた方のみに伺います。

あなたのパートナーの職業は次のどれにあたりますか。

1. 自由業・自営業・家業(農業・会社経営など)
2. 正社員・正職員で勤務している
3. 非正規雇用で勤務している(臨時・派遣などであるが常勤とほぼ同様な勤務条件である)
4. アルバイト・パートなどで勤務している(常勤とは異なる勤務条件である)
5. 内職
6. 専業主婦・専業主夫 8. 無職
7. 学生 9. その他(具体的に)

問6 あなたが現在一緒に住んでいるご家族の構成は次のどれにあたりますか。

1. 単身世帯
2. 配偶者と同居
3. 親子2世代
4. 親・子・孫の3世代
5. その他(具体的に)

問7 あなたには子どもが何人いますか(同居、別居を問いません)。

- | | | | |
|-------|-------|---------|------------|
| 1. 1人 | 3. 3人 | 5. 5人 | 7. 子どもはいない |
| 2. 2人 | 4. 4人 | 6. 6人以上 | |

問7-1 問7で1～6と答えた、子どもがいる方のみにお聞きします。

あなたの一番下の子どもは次のどれにあたりますか。

- | | | |
|---------------|------------------|------------------|
| 1. 就学前の乳幼児 | 4. 中学生 | 7. 学校を終えた子ども(既婚) |
| 2. 小学生(1～3年生) | 5. 高校生以上の学生 | 8. その他 |
| 3. 小学生(4～6年生) | 6. 学校を終えた子ども(未婚) | (具体的に) |

2 男女平等感について

問8 あなたは次にあげるア～キの分野とクの社会全体について、男女の地位は平等になっていると思いますか。ア～クの項目ごとに、1から6の中からあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

	平等になっている	やや平等になっている	どちらともいえない	やや不平等になっている	不平等になっている	わからない
ア. 家庭の中では	1	2	3	4	5	6
イ. 学校の中では	1	2	3	4	5	6
ウ. 職場の中では	1	2	3	4	5	6
エ. 政治の場では	1	2	3	4	5	6
オ. 地域活動の場では	1	2	3	4	5	6
カ. 社会通念や風潮では	1	2	3	4	5	6
キ. 法律や制度の上では	1	2	3	4	5	6
ク. ア～キを含め、社会全体では	1	2	3	4	5	6

問9 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方について、あなたはどのように思いますか。

次の中から、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------|--------------|
| 1. そう思う | 3. どちらともいえない |
| 2. そうは思わない | 4. わからない |

問9-1 問9で「1. そう思う」と答えた方にお聞きします。

そう思う理由は何ですか。次の中から、あてはまるものを2つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 男性は仕事、女性は家事・育児に向いているから | 5. 夫婦の役割をはっきり分ける方が仕事も家庭
もうまくいくから |
| 2. 家族を養うのは男性の責任で、家事・育児は女
性の責任だから | 6. 社会全体にそのような風潮があるから |
| 3. 子どもの頃からそのような教育をされているから | 7. わからない |
| 4. 一般的に男性の方が収入が多いから | 8. その他(具体的に) |

問9-2 問9で「2. そうは思わない」と答えた方にお聞きします。

そう思わない理由は何ですか。次の中から、あてはまるものを2つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|----------------------|
| 1. 男女ともに仕事を持つのは当然だから | 5. 社会全体にそのような風潮があるから |
| 2. 家事・育児は男女で協力してやるべきだから | 6. 夫婦で働いた方が収入が増えるから |
| 3. 仕事と家庭は男女のどちらかが分担してもよいから | 7. わからない |
| 4. 家庭にだけいると視野が狭くなるから | 8. その他(具体的に) |

3 子育てや介護について

問10 子育てや介護は、女性に負担が偏る傾向にあります。あなたはこれについてどのように思いますか。次の中から、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 当然だと思う | 4. わからない |
| 2. 現実にはやむをえないと思う | 5. その他(具体的に) |
| 3. おかしいと思う | |

問11 現在の法律では、男性も育児休業や介護休業を女性と同様に取得できるようになっています。あなたは男性が育児休業や介護休業を取得することについて、どのように思いますか。あなた自身、またはあなたの家族のこととしてお答えください。次の中から、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 取得すべきだ | 4. 取得すべきではない |
| 2. どちらかといえば取得した方がよい | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば取得しない方がよい | 6. その他(具体的に) |

問11-1 問11で「3. どちらかといえば取得しない方がよい」または「4. 取得すべきではない」と答えた方にお聞きします。そう思う理由は何ですか。次の中から、あてはまるものを2つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 休業後現職に復帰しにくい | 5. 仕事が忙しい |
| 2. 代替要員の確保が困難である | 6. 昇進・昇給の際に不利になる |
| 3. 休業期間中無給あるいは減収となる | 7. 子育てや介護はやはり女性の方が向いている |
| 4. 職場の人たちに迷惑をかける | 8. その他(具体的に) |

4 家事について

問12 あなたはご家庭の家事や育児・介護をどの程度行っていますか。

ア～クの項目ごとに、1 から 4、または、1 から 5 の中からあてはまる番号を 1 つ選んで○をつけてください。

	いつも してい る	ときど きして いる	ほとん どしな い	まった くしな い	対象と なる人 はいな い	
ア. 掃除	1	2	3	4		
イ. 洗濯	1	2	3	4		
ウ. 買い物(日用品)	1	2	3	4		
エ. 食事のしたく	1	2	3	4		
オ. 食事の後片づけ(食器洗いなど)	1	2	3	4		
カ. 子どもの教育	1	2	3	4	5	子どもはいない
キ. 乳幼児の世話	1	2	3	4	5	乳幼児はいない
ク. 親族の介護	1	2	3	4	5	介護する人はいない

(問13-1～問13-3 は、すべての方がお答えください)

問13-1 男性の生き方として、あなたが望ましいと思うのはどのような生き方ですか。次の中から、あてはまるものを 1 つ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 性別による生き方の違いはない | 5. 家庭や地域活動を優先する生き方 |
| 2. 仕事だけに専念する生き方 | 6. 家庭や地域活動だけに専念する生き方 |
| 3. 仕事を優先する生き方 | 7. わからない |
| 4. 家庭や地域活動と仕事を両立させる生き方 | 8. その他(具体的に) |

問13-2 女性の生き方として、あなたが望ましいと思うのはどのような生き方ですか。次の中から、あてはまるものを 1 つ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 性別による生き方の違いはない | 5. 家庭や地域活動を優先する生き方 |
| 2. 仕事だけに専念する生き方 | 6. 家庭や地域活動だけに専念する生き方 |
| 3. 仕事を優先する生き方 | 7. わからない |
| 4. 家庭や地域活動と仕事を両立させる生き方 | 8. その他(具体的に) |

問13-3 現在のあなた自身の生き方は、下記のどの項目に一番近いと思いますか。次の中から、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 仕事だけに専念する生き方 | 5. 家庭や地域活動だけに専念する生き方 |
| 2. 仕事を優先する生き方 | 6. わからない |
| 3. 家庭や地域活動と仕事を両立させる生き方 | 7. その他(具体的に) |
| 4. 家庭や地域活動を優先する生き方 | |

問14 あなたは男女が共に仕事と家庭を両立していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から、あてはまるものを2つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|---------------------------------|----------------|
| 1. 学校等、教育の場での男女平等意識教育の充実 | |
| 2. 男女共同参画社会を目指した啓発活動・相談業務の充実 | |
| 3. 育児・介護休業制度の一層の普及 | |
| 4. 男性が家事をすることについて男性自身が抵抗感をなくすこと | |
| 5. 男性が家事をすることについて女性が抵抗感をなくすこと | |
| 6. 仕事と家庭の両立ができる職場環境の整備 | |
| 7. 労働時間の短縮 | 9. わからない |
| 8. フレックス勤務や在宅勤務の普及 | 10. その他(具体的に) |

問15 あなたは女性が就業などの社会参画をしていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から、あてはまるものを2つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|---------------------------------|----------------|
| 1. 学校等、教育の場での男女平等意識教育の充実 | |
| 2. 男女共同参画社会を目指した啓発活動・相談業務の充実 | |
| 3. 育児・介護休業制度の一層の普及 | |
| 4. 男性が家事をすることについて男性自身が抵抗感をなくすこと | |
| 5. 男性が家事をすることについて女性が抵抗感をなくすこと | |
| 6. 仕事と家庭の両立ができる職場環境の整備 | |
| 7. 労働時間の短縮 | 9. わからない |
| 8. フレックス勤務や在宅勤務の普及 | 10. その他(具体的に) |

問16 育児や介護、家事などに女性のほうがより多くの時間を費やしていることが、職業生活において女性の活躍が進まない要因の一つだという意見がありますが、あなたはこの意見について、どう思いますか。次の中から、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そうは思わない |

問17 育児や介護、家事などに費やす時間を男女間でバランスのとれたものとし、職業生活における女性の活躍をさらに推進するためには、特にどのような支援が必要だと思えますか。次の中から、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

1. 長時間労働慣行の是正やテレワークの推進など、育児や介護、家事などに用いることができる時間を増やすための勤務環境の整備
2. 育児や介護のための休業制度や短時間勤務制度など、仕事との両立を支援するための施策の整備
3. 保育施設や介護施設の整備など、育児や介護をサポートする設備やサービスの整備
4. その他(具体的に)

5 子どもの教育について

問18 あなた自身が子育てをする場合、「男の子の育て方」と「女の子の育て方」を区別した方がいいと思いますか。次の中から、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

1. 男の子と女の子の育て方は区別するべきだ
2. 男の子と女の子の育て方はやや区別するべきだ
3. 男の子と女の子の育て方は区別するべきではない
4. どちらともいえない
5. わからない
6. その他(具体的に)

6 就業について

問19 あなたは女性が職業を持つことについてどのように思いますか。あなた自身、またはあなたの家族のこととしてお答えください。

次の中から、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

1. 結婚や出産にかかわらず職業を持つ方がよい
2. 結婚するまでは職業を持ち、結婚したらやめた方がよい
3. 出産するまでは職業を持ち、出産したらやめた方がよい
4. 子育ての時期だけは一時やめて、その前後は職業を持つ方がよい
5. 女性は一生仕事を持たない方がよい
6. わからない
7. その他(具体的に)

問20 あなたは現在、仕事に就いていますか。

次の中から、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

1. 現在、働いている(常勤、パート、派遣、自営業等いずれも含む)
2. 以前は働いていたが今は働いていない
3. 今まで働いたことがない

問20-1 問20で「1. 現在、働いている」と答えた方にお聞きます。あなたは今までに、仕事をやめたり中断したり、あるいは転職したことはありますか。どちらかに○をつけてください。

1. ある
2. ない

問20-1-ア 問20-1 で「1. ある」と答えた方にお聞きます。その主な理由は何ですか。次の中から、あてはまるものを2つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1. 結婚・出産のため(自分の意思) | 8. パートナー(配偶者や恋人など)の転職のため |
| 2. 結婚・出産のため(会社の意思) | 9. 自分の定年退職のため |
| 3. 家事・育児との両立が難しかった | 10. 自分の健康上の理由のため |
| 4. 仕事が自分に合っていなかった | 11. 家族の都合のため |
| 5. 人間関係がうまくいかなかった | 12. 自分のキャリアアップのため |
| 6. 勤務先の都合のため | 13. その他(具体的に) |
| 7. 自分の転職のため | |

問20-2 問20で「2. 以前は働いていたが今は働いていない」または「3. 今まで働いたことがない」と答えた方にお聞きます。あなたは今後どのような仕事や活動に従事したいと思いますか。次の中から、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 正社員として働きたい | 6. 学業につきたい |
| 2. パート・アルバイトとして働きたい | 7. NPO や地域活動に従事したい |
| 3. 起業等、独立した仕事をもちたい | 8. 働くつもりはない |
| 4. 内職など自宅で仕事をしたい | 9. わからない |
| 5. 家業で働きたい | 10. その他(具体的に) |

問21 あなたの職場では、仕事の内容や待遇面で、女性に対して不平等なことがありますか(ありましたか)。次の中から、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|----------------------------------|
| 1. 就労経験はない | 8. 女性は、結婚や出産を機に退職しなければならない雰囲気がある |
| 2. 同期同年齢の社員で賃金に男女差がある | 9. 女性が長く就労することを歓迎しない雰囲気がある |
| 3. 男性に比べて女性の採用が少ない | 10. 有給休暇や育児・介護休業が取得しにくい |
| 4. 昇進、昇給に男女差がある | 11. 短時間勤務が認められない |
| 5. 女性が就けないポスト・職種がある | 12. 教育・研修の内容・機会に男女に差がある |
| 6. 女性は補助的な仕事が多い | 13. その他(具体的に) |
| 7. 意思決定の場に女性が参加できない傾向がある | 14. 不平等はない |

問22 あなたは結婚や出産などで退職した女性が、再就職しやすい環境をつくるためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から、あてはまるものを2つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|------------------------------|--------------------------|
| 1. 再就職のための講座やセミナー、技能訓練の充実 | 5. 再就職することへの家族の理解と協力 |
| 2. 再雇用制度などを改正、充実させる | 6. パート・派遣等、非正規労働の労働条件の改善 |
| 3. 求人情報の提供や女性が働ける新しい職場、職域の拡充 | 7. わからない |
| 4. 保育所、学童保育などの育児環境の充実 | 8. その他(具体的に) |

問23 女性の方にお聞きします。該当しない方は、問 24へお進みください。

あなたは職場において、管理職など組織の意思決定に加わる立場になりたいと思いますか。次の中から、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | | |
|-------------|---------------|----------|
| 1. すでになっている | 3. そう思わない | 5. わからない |
| 2. そう思う | 4. そう思うが、なれない | |

問23-1 問23で「3. そう思わない」または「4. そう思うが、なれない」と答えた方にお聞きします。その主な理由は何ですか。次の中から、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 職場にそのような環境がない | 5. そのような立場は男性の役割だと思う |
| 2. 家庭の環境が整っていない | 6. 非常勤やパートなので、その立場にない |
| 3. 周囲の理解が得られない | 7. その他(具体的に) |
| 4. そのような立場になりたいと思わない | |

7 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)について

問24 あなたは男女が共に仕事と家庭を両立していくためには、どのようなことが最も必要だと思いますか。次の中から、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

1. パートナーが互いに協力し合い家事・子育てを行う
2. 保育園、学童保育などの子育てしやすい環境を整える
3. 介護ヘルパーなど福祉施策を充実させる
4. 労働時間の短縮やフレックスタイム制を導入する
5. 介護や子育てのための休暇を取りやすくする
6. 職場や家族などの周囲が、女性が働くことへの理解を深める
7. わからない
8. その他(具体的に)

8 社会参画について

問25 あなたは市の施策について女性の意見や考え方がどの程度反映されていると思いますか。次の中から、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 十分反映されている | 4. ほとんど反映されていない |
| 2. ある程度反映されている | 5. どちらともいえない |
| 3. あまり反映されていない | 6. わからない |

問25-1 問25で「3. あまり反映されていない」または「4. ほとんど反映されていない」と答えた方にお聞きします。そう思う理由は何ですか。次の中から、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 女性議員が少ない | 6. 女性自身が消極的 |
| 2. 行政機関に女性の管理職が少ない | 7. 男性の意識・理解が足りない |
| 3. 審議会や委員会に女性委員が少ない | 8. 社会の仕組みが女性に不利 |
| 4. 地域組織のリーダーに女性が少ない | 9. 女性の能力に対する偏見がある |
| 5. 女性自身の意欲や責任感が乏しい | 10. その他(具体的に) |

9 防災について

問26 防災・災害対策において、男女共同参画を推進するために、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 防災計画の策定の場に男女がともに参画する
2. 自治会や地域の自主防災組織の女性リーダーを増やす
3. 避難所の運営マニュアルに男女双方の視点を反映させる
4. 避難所運営の責任者に男女がともに加わる
5. 男女のニーズの違いに応じた相談や情報提供を行う
6. 男女の違いに配慮した救援医療や健康支援を行う
7. 災害発生後に増加が懸念される性暴力やDVへの対策を強化する
8. その他(具体的に)

10 DV(ドメスティック・バイオレンス)※/女性に対する暴力について

問27 あなたはこれまでに、パートナーにDVをしたこと、もしくはDVを受けたことがありますか。次の中から、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1. DVをしたことがある | 4. わからない |
| 2. DVを受けたことがある | 5. その他(具体的に) |
| 3. そのようなことはない(まったくない) | |

※ DVとは、「夫婦間や恋人などの親しい間柄での身体的・性的・精神的な暴力」のことをいいます。

問28 問27で「1. DVをしたことがある」または「2. DVを受けたことがある」と答えた方にお聞きします。あなたはこれまでに、パートナーにDVをしたこと、もしくはDVを受けたことについて誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。次の中から、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | | |
|---------|-------------|-----------------|
| 1. 相談した | 2. 相談できなかった | 3. 相談しようと思わなかった |
|---------|-------------|-----------------|

問28-1 問28で「1. 相談した」と答えた方にお聞きします。相談した相手等はどちらですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | |
|-----------|-----------|---------------|
| 1. 家族 | 4. 県の相談窓口 | 7. 医師・カウンセラー |
| 2. 友人・知人 | 5. 警察署 | 8. その他の相談機関 |
| 3. 市の相談窓口 | 6. 弁護士 | 9. その他(具体的に) |

問28-2 問28で「2.相談できなかった」または「3.相談しようと思わなかった」と回答した方にお聞きします。相談しなかった理由はなんですか。次の中から、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. パートナーに相談へ行くことを知られるのが怖かったから
2. 相談に行く勇気が持てなかったから
3. 忙しくて相談に行く時間がなかった
4. その他(具体的に)

問29 女性に対する暴力の根絶を図るため、あなたが、対策が必要だと考えるのはどれですか。次の中から、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 配偶者や元配偶者などからの暴力、いわゆるDV
2. 交際相手からの暴力、いわゆるデートDV
3. 付きまといや待ち伏せなどのストーカー行為
4. 不同意性交等や不同意わいせつ、痴漢、盗撮などの、性犯罪や性暴力
5. 児童買春や性的虐待、児童ポルノなど、子どもに対する性犯罪や性暴力
6. 売春や買春
7. 暴力や脅迫などの手段で売春や労働を強制される、人身取引
8. セクシュアル・ハラスメント、いわゆるセクハラ
9. テレビや雑誌、ゲーム、ビデオ、インターネットなどの性表現や暴力表現
10. インターネットや SNS を介した出会いをきっかけとした性被害
11. アダルトビデオ出演被害やリベンジポルノなど、本人の意に反した性的な画像の流布
12. その他(具体的に)

問30 あなたは、女性に対する暴力や様々な悩みなどに関する相談窓口などで対応が必要と考えることは何ですか。次の中から、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. メールによる相談ができる
2. チャット、SNS などによる相談ができる
3. 電話による相談ができる
4. 通話料が無料
5. 24 時間相談ができる
6. 医療費、カウンセリング費用、弁護士費用などについて、無料で支援が受けられる
7. 相談内容に関する、他の相談窓口との連携が行われる
8. 同性の相談員がいる
9. 匿名で相談ができる
10. 弁護士など、法的知識のある相談員がいる
11. 臨床心理士、公認心理士など、心理専門職の相談員がいる
12. DV や性暴力に関する専門の相談員がいる
13. その他(具体的に)

12 人権・相談について

問33 性犯罪や DV(ドメスティック・バイオレンス)、セクシュアル・ハラスメント(性的嫌がらせ)など、人権を無視した行為をなくすためには、どのようにしたらよいと思いますか。

次の中から、すぐに講じてほしいと思うものを 2 つまで選んで○をつけてください。

1. 法律、制度の制定や見直し
2. 犯罪の取り締まりの強化
3. 捜査や裁判での女性担当者の増員や、被害者のための相談窓口・避難施設の整備
4. 暴力の根絶に向けての意識啓発の充実
5. 人権や性差別についての教育の充実
6. テレビ、雑誌、ビデオなどメディアの倫理規定の強化や、過激な内容の物の販売や貸し出しの制限
7. 特に対策の必要はない
8. わからない
9. その他(具体的に)

問34 あなたは「セクシュアル・マイノリティ(性的少数者)」という言葉を知っていますか。

次の中から、あてはまるものを 1 つ選んで○をつけてください。

1. 意味を知っている
2. 聞いたことはあるが、意味は知らない
3. 知らない

※セクシュアル・マイノリティ(性的少数者)とは、身体の性と自分が認識する性が一致しない人や、恋愛感情などの性的な意識が同性または両性に向かう人などのことをいいます。

問35 あなたは今までに自分の性別や恋愛対象などについて悩んだことがありますか。

1. ある
2. ない

問36 あなたは「セクシュアル・マイノリティ(性的少数者)」の人たちが暮らしやすい社会を目指すために、どのようなことが必要だと思えますか。

次の中から、あてはまるものを 2 つまで選んで○をつけてください。

1. 同性婚を認めるなど制度の見直し
2. 教育現場での啓発活動
3. 行政による啓発活動
4. 専門的な相談体制の充実
5. セクシュアル・マイノリティ(性的少数者)の人たちが気持ちや情報を共有できる居場所づくり
6. その他(具体的に)

問37 DV やセクシュアル・ハラスメント、女性の抱える様々な悩み等に関する相談窓口等が設置されています。あなたは、これらの相談窓口等をご存知ですか。

次のア～チの項目ごとに、あてはまるものを1つずつ選んで○をつけてください。

	知っている	聞いたことがある	知らない
ア. 志木市配偶者暴力相談支援センター	1	2	3
イ. 埼玉県配偶者暴力相談支援センター	1	2	3
ウ. DV 相談+(プラス)	1	2	3
エ. 埼玉県警察 けいさつ総合相談センター	1	2	3
オ. 埼玉労働局 雇用環境・均等部	1	2	3
カ. 痴漢被害相談所(鉄道警察隊)	1	2	3
キ. 女性の人権ホットライン(さいたま地方法務局人権擁護課)	1	2	3
ク. よりそいホットライン	1	2	3
ケ. DV 被害母子のための心のケア電話相談	1	2	3
コ. 埼玉弁護士会	1	2	3
サ. 彩の国犯罪被害者ワンストップ支援センター	1	2	3
シ. 埼玉県性暴力等犯罪被害者専用電話相談(アイリスホットライン)	1	2	3
ス. 法テラス犯罪被害者支援ダイヤル	1	2	3
セ. 法テラス埼玉、法テラス川越	1	2	3
ソ. にんしん SOS 埼玉	1	2	3
タ. にじいろ県民相談(埼玉県性的マイノリティ県民相談)	1	2	3
チ. 埼玉いのちの電話	1	2	3

13 男女共同参画社会実現のための施策について

問38 あなたは次にあげる言葉について、知っていますか。次のア～ノの項目ごとに、あてはまるものを1つずつ選んで○をつけてください。

	言葉や内容、意味も知っている	聞いたことはある	まったく知らない
ア. ジェンダー	1	2	3
イ. エンパワーメント	1	2	3
ウ. ワーク・ライフ・バランス	1	2	3
エ. セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康と権利)	1	2	3
オ. LGBTQ	1	2	3
カ. SOGI(ソジ) ※性的指向・性自認	1	2	3
キ. ALLY(アライ) ※セクシュアル・マイノリティ当事者の理解者・支援者	1	2	3
ク. 志木市男女共同参画推進条例	1	2	3
ケ. 志木市男女共同参画基本計画	1	2	3
コ. 志木市男女共同参画推進月間(毎年6月)	1	2	3
サ. 女性相談・男性相談	1	2	3
シ. 保育付き事業	1	2	3
ス. 志木市パートナーシップ及びファミリーシップ届出制度	1	2	3
セ. 選択的夫婦別姓制度	1	2	3
ソ. With You さいたま(埼玉県男女共同参画推進センター)	1	2	3
タ. 男女共同参画社会基本法	1	2	3
チ. 性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律	1	2	3
ツ. 埼玉県性の多様性を尊重した社会づくり条例	1	2	3
テ. 政治分野における男女共同参画の推進に関する法律	1	2	3
ト. 男女雇用機会均等法	1	2	3
ナ. 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)	1	2	3
ニ. 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律(育児・介護休業法)	1	2	3
ヌ. 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(DV防止法)	1	2	3
ネ. 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律(困難女性支援法) ※1	1	2	3
ノ. AV出演被害防止・救済法 ※2	1	2	3

※1 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律は、令和6年4月1日に施行されました。「女性の福祉」「人権の尊重や擁護」「男女平等」といった視点を明確にし、女性支援強化を推進するものです。

※2 正式名は、「性をめぐる個人の尊厳が重んぜられる社会の形成に資するために性行為映像制作物への出演に係る被害の防止を図り及び出演者の救済に資するための出演契約等に関する特則等に関する法律」

問39 あなたは男女が共にいきいきと暮らせる「男女共同参画社会の実現」を目指すために、今後、志木市ではどのようなことに力を入れていけばいいと思いますか。

次の中から、優先的に行った方がよいと思うものを3つまで選んで○をつけてください。

1. 労働環境の改善のため経営者への意識啓発
2. 施策の立案、方針の決定の場への女性の積極的な登用
3. 学校教育における男女平等教育の推進
4. 生涯学習の場での男女共同参画に向けた学習や講座の充実
5. 男女共同参画社会推進についての情報提供や啓発活動
6. 保育制度などの子育て支援や、介護制度などの充実
7. 仕事と家庭生活の両立支援
8. 就労の場の待遇における性別による差別の解消
9. 健康や福祉、家族のことなどを気軽に相談できる窓口の充実
10. 男女が共に地域活動に参加できるような拠点施設の設置
11. 生活困窮、性暴力・性犯罪被害、家庭関係破綻など、困難な問題を抱える女性への支援
12. 特に必要ない
13. その他(具体的に)

14 男女共同参画推進についてのご意見

最後に、市の男女共同参画推進について、日頃感じていることなどがありましたら自由にお書きください。

質問は以上で終了です。ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて、

10月18日(金)までにご返送ください(切手は不要です)。

**令和6年度
志木市男女共同参画に関する市民意識調査報告書**

令和7年3月発行

志木市 市長公室 人権推進室
〒 353-8501 埼玉県志木市中宗岡 1-1-1
TEL (048) 473-1111 (代表)

この冊子は、再生紙を使用しています。